

大分県の国際交流・協力の現状

令和2年度版

大分県企画振興部
国際政策課

目 次

○県・市町村の国際化推進の取組	
1 大分県の国際化関連事業（令和2年度）	1
2 県内市町村の国際化関連事業（令和2年度）	10
○多文化共生社会づくりの状況	
3 在留外国人登録の状況	34
4 留学生の状況	35
5 大分県芸術文化スポーツ振興財団（国際交流プラザ）の事業	37
6 大分県外国人総合相談センター概要	38
7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの事業	39
8 おおいた留学生ビジネスセンター概要	41
○国際交流の状況	
9 姉妹都市・友好都市提携、友好交流協定の状況	42
10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況	45
11 語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）の状況	46
12 海外の大分県人会の状況	48
13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況	49
14 大分県の地域間交流の状況	
①アジア	50
②北米	64
③中南米	65
④欧州	67
⑤大洋州	70
⑥中東	72
⑦アフリカ	72
15 多様な分野での国際交流の状況	
①芸術・文化交流	74
②スポーツ交流	
・日独スポーツ少年団交流事業	76
・高校生日韓スポーツ活動交流事業	76
・大分国際車いすマラソン大会	76
③教育・学術交流等	
・高校生の海外留学等	77
・教職員の海外派遣	78
④青少年交流	
・学校交流	78
○国際協力・国際貢献の状況	
16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況	79
○産業・経済交流の状況	
17 貿易の状況	
①輸入	81
②輸出	81
③国際見本市への参加	83
18 産業技術交流の状況	
①海外技術・文化研修員受入事業	84
②自治体職員協力交流事業	84
③海外派遣事業（農業関係）	85
19 観光の状況	
①外国人宿泊客数の動向	86
②旅券発行・海外渡航	87
〔付属資料〕	
1 国際交流関係機関等	
①国等の国際交流関係機関	90
②県内市町村の国際交流担当課	91
③県内国際交流団体一覧	92
2 大分県海外戦略	101

県・市町村の 国際化推進の取組

1 大分県の国際化関連事業（令和2年度）

●企画振興部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
国際政策課	海外戦略加速化事業	<p>今後も成長が見込まれるアジアの活力を取り込み、本県産業の活性化を図るため、「大分県海外戦略」に基づき、重点国・地域において部局連携のもと体系的に各種事業を実施した。</p> <p>《海外プロモーション等》</p> <p>①タイプロモーション 新型コロナウイルス感染拡大の影響のため中止</p> <p>《海外フェア等》</p> <p>①上海フェア 新型コロナウイルス感染症の収束後を見据え、上海市長寧区にある九州居酒屋「竿屋」において、大分県を集中的にPRする「温泉大分美食月」（温泉大分グルメマンス）を開催し、大分県の認知度向上を図った。 期間：12月1日～31日（31日間） 内容：中津唐揚げ、日田焼きそば、佐伯あつ飯等大分県メニューの提供、観光PR（店内ポスター、パンフレット配布等）</p> <p>②台湾フェア 新型コロナウイルス感染症収束後のインバウンド誘客や本県物産の販売促進を目的として、小売店及びレストランにおいて県産品の販売・提供やSNS等による観光PRを行った。 日程：3月15日～21日（7日間） 会場：①北回帰線和牛専売 ②和牛賀高雄美術館店、和牛賀台中大塚店</p> <p>内容：①実店舗及びFacebookのライブ販売での「おおいた和牛」購入者に、おおいた和牛、乾しいたけ、椎茸お吸物、柚子胡椒、珍珠米のいずれかをプレゼント ②「おおいた和牛」コース注文者に、おおいた和牛、椎茸お吸物、乾しいたけ、柚子胡椒、県産酒を提供</p> <p>《海外展開サポート事業》</p> <p>①アジアビジネス研究会 アジア各国への事業展開に意欲的な県内企業等の有益な情報交換の場を設け、県内企業等の連携を図った。 会員数177社 ・第1回（10月2日） 「越境ECの課題とポイント」 日本工芸(株) 代表取締役 松澤斉之氏 (株)いつも グローバルEC事業部アドバイザー 大海勝也氏 ・第2回（11月11日） 「オンライン海外展示会Alibaba.comを活用したBtoB海外販路開拓」 アリババ(株)グローバル B2B事業部マネージャー 江村謙氏 ・第3回（12月11日） 「これからのビジネスのあり方、考え方」 立命館アジア太平洋大学 学長 出口治明氏 ・第4回（12月22日） 「上海におけるコロナ後の経済活動と今後」</p>

	<p>ジェトロ上海 海外投資アドバイザー 王艶氏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第5回（2月9日）※オンライン 「台湾のコロナ対応とその後の対日ビジネス」 国際経済研究所主任研究員 伊藤信悟氏 三菱総合研究所アジア事業グループリーダー 河村憲子氏 ・第6回（2月25日）※オンライン 「ASEANを通してみるアジア」 神奈川大学法学部教授 大庭三枝氏 ・第7回（3月16日）※オンライン 「製造業・ヘルスケア分野の最新情勢と今後の展望」 ジェトロバンコク事務所 海外投資アドバイザー 高谷浩一氏 ディレクター 平林拓朗氏
トビタテ！留学 JAPAN	<p>産業界を中心に社会で求められる人材、世界を視野に入れて地域で活躍できるグローバル人材を育成することを目的として、各関係機関と連携し官民協働海外留学支援制度「トビタテ！留学 JAPAN」の地域人材コースを大分県で実施し、県内の大学生を海外留学に派遣する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の国際的な拡大により中止。</p> <p>（当初予定）</p> <p>派遣分野：ものづくり、林業、観光</p> <p>派遣人数：6名</p>
外国人留学生支援事業	<p>将来、母国と大分県との交流の懸け橋となる人材の育成を図る目的で、県内の大学等に在学する私費外国人留学生に対して、奨学金の交付を行うとともに、大分県への理解を深めるための講座やスタディツアーを実施した。</p> <p>①私費外国留学生奨学金 支給額：月額30,000円 支給人数：80名</p> <p>②大分県講座 座学（3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大分県の基礎知識、おおいた防災アプリ（講師：国際政策課） ・大分県での就職・起業 （講師：おおいた留学生ビジネスセンター等） ・先端技術への挑戦とインバウンドの取り組み （講師：先端技術挑戦課等） <p>スタディツアー（4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回 宇佐市、豊後高田市（企業訪問、昭和の町ほか） ・第2回 臼杵市（工場見学、臼杵石仏ほか） ・第3回 竹田市、九重町（タデ原湿原、TAOの丘ほか） ・第4回 日田市（酒蔵巡りほか）
外国人受入環境整備事業	<p>多文化共生社会を推進し、外国人住民が日常生活や社会生活を円滑に営み、安全に安心して暮らすことのできる受入れ環境を整備するため、各種事業を実施した。</p> <p>（1）大分県外国人総合相談センターの運営 目的：外国人住民や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、多言語相談を行うもの。（詳細は38頁）</p> <p>（2）多文化共生研修等の実施</p> <p>①日本語教室ネットワーク会議の開催（計2回） 目的：日本語教室間の連携を構築し、教室の活動の底上げを図るため実施。</p> <p>日時：令和2年10月11日（日） 令和3年3月17日（水）</p> <p>対象：県内日本語教室代表者等</p>

		<p>②日本語教室ボランティア研修（計13回） 目 的：日本語教室ボランティア人材の確保及びスキルアップを支援するため実施。 実施期間：令和2年10月～令和3年3月 実施場所：中部地区、県北地区 講 師：立命館アジア太平洋大学 言語教育センターセンター長（教授）本田 明子 氏 内 容：ボランティアの役割、日本語教授法等の研修及び指導事例の紹介 等 受 講 者：延べ210名</p> <p>③災害時外国人支援セミナーの実施（計2回） 日 時：令和2年7月31日（金）、8月1日（土） 対象者：行政職員、地域の防災士、外国人支援関係者 等 内 容：県の災害対応及び災害時の外国人支援体制、やさしい日本語、災害時の外国人支援事例の紹介 等 講 師：・立命館アジア太平洋大学 言語教育センターセンター長（教授）本田 明子 氏 ・佐伯市あまべ商工会 谷口 里美 監理責任者 ・佐賀県国際交流協会 企画交流課長 矢富 明德 氏 ・熊本市国際校友振興事業団 事務局長 八木 浩光 氏</p>
芸術文化スポーツ振興課	大分アジア彫刻展	<p>近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた本県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門としての才能の発掘及び国際公募展を豊後大野市と共同で開催している。ビエンナーレ（2年に1回）で開催しており、令和2年度は本展を実施した。 実 施 日：令和2年10月10日～11月29日 実施主体：大分県、豊後大野市、大分アジア彫刻展実行委員会 内 容：入賞作品を含む入選27作品を展示。1,619名が来場。</p>
	国際スポーツ大会誘致推進事業	<p>東京2020オリンピック・パラリンピックに向け、国際スポーツ大会に参加するチームの事前キャンプやスポーツ合宿の誘致を行い、地域住民との交流や情報発信により、地域活性化に貢献する。 ○協定書の締結 カメルーン共和国NOCと「事前キャンプに関する協定書」を締結 ○事前キャンプの実施 コロナ禍のため実施なし</p>
広報広聴課	海外向け情報発信	<p>コロナ禍でもインバウンド対策を継続するため、RWC大分大会のレガシーを継承する情報発信を行い、海外における本県の認知度、魅力度の向上を図った。 実施時期：令和3年3月 実施内容：・本県のPR動画の配信（豪州地上波の公式サイト） ・本県をPRする記事広告をSNSで配信 ・RWC大分大会のドキュメンタリー動画の配信</p>
芸術文化短期大学	中国・江漢大学との交流事業	<p>従来実施している江漢大学からの留学生受け入れについては、新型コロナウイルス感染防止の観点から、両校で協議した結果、令和2年度は中止した。 併せて、教員の来学についても中止し、令和3年度実施に向けた協議を行った。</p>
	韓国・釜山外国語大学との交流事業	<p>①釜山外国語大学への編入 2年生4名が、釜山外国語大学及び高麗大学入学のため、令和3年2月に渡航し3月に入学。 ②釜山外国語大学教職員との交流 人的交流は実施できなかったが、オンラインにより令和3年度交流についての協議を行った。</p>

ボリビア・サンアンドレス大学との交流協定	人的交流は実施できなかった。
海外語学実習事業	<p>例年行っている学生による提携先の海外の大学（中国、イギリス、韓国、アメリカ、ニュージーランド、フランス）への海外語学実習については、新たな試みとしてオンライン形式による語学プログラムを実施（3言語）し、学生が積極的に参加した。</p> <p>韓国：釜山外国語大学韓国語学文化研究員 2－3月に約75時間 18名参加</p> <p>アメリカ：カリフォルニア大学デイビス校 2－3月に約100時間 4名参加</p> <p>中国：武漢市江漢大学 2－3月に約52時間 6名参加</p>

●福祉保健部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
医療政策課 (看護科学大学)	学術交流	<p>第22回看護国際フォーラムを大分県看護協会との共催で開催した。</p> <p>期 日：令和2年10月30日（オンライン開催）</p> <p>参加者数：207名</p> <p>内 容：「AI・ICTが創る医療・看護の可能性を語ろう」をテーマに、基調講演のほか、米国から2名の講師が特別講演を行った。</p>
高齢者福祉課	外国人介護福祉士候補者受入施設学習支援事業	<p>経済連携協定に基づき入国する外国人介護福祉士候補者が円滑に就労・研修できるように、候補者を受入れた施設における学習の支援を行うため、受入施設が実施する日本語学習や介護分野の専門学習に要する経費を助成した。</p> <p>(1) 助成対象 県内の介護施設及び介護福祉士養成施設</p> <p>(2) 助成内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語学校等利用時の受講料等 ・民間業者が実施する模擬試験や介護技術講習会への参加費用等 ・研修担当者の活動支援に係る諸手当等 <p>(3) 補助率 10/10以内</p> <p>(4) 助成実績 介護老人保健施設 1施設 (フィリピン人介護福祉士候補者2名の学習支援等、諸手当)</p>
	外国人介護人材確保対策事業	<p>県内の介護人材不足に対応するため、外国人介護人材が円滑に就労・定着できる取組を行った。</p> <p>(1) 外国人介護人材受入推進協議会の設置、研修会等の開催</p> <p>(2) 外国人介護人材受入研修会の開催</p> <p>(3) 外国人介護人材受入支援事業（集合研修等の実施）</p> <p>(4) 受入支援アドバイザー等による相談支援</p> <p>(5) ベトナムにおける外国人介護人材養成事業</p>

●生活環境部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
防災対策企画課 (国際政策課)	防災モニター活用推進事業	<p>大分県で災害が発生した際に、県内在留外国人（県内在住者及び観光客を含む）へ、「おおいた防災アプリ」を活用して、多言語で迅速かつ正確に災害情報を発信し、身を守るための適切な行動を促すため、次の対象言語を母語とする県内在住外国人に「外国人防災モニター」への登録を促すとともに、外国人防災モニター研修を行った。</p>

	<p>対象言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タイ語</p> <p>研修実施状況：大分県私費外国人留学生奨学生対象 県内日本語教室外国人対象 など 計6回</p>
--	---

●商工労働部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
商工観光労働 企画課	米日カウンシル知事 会議	<p>日本の中小企業の米国展開や現地技術の活用等を後押しするため、シリコンバレーにおけるビジネストレンドや、ヘルスケア市場に関するウェビナーを実施した。</p> <p>期 間 令和3年1月15日(金)、1月22日(金)</p> <p>内 容 ・シリコンバレービジネス概況・トレンド・事例紹介 ・シリコンバレー流の商談スキル ・アメリカ西海岸におけるヘルスケア市場</p> <p>参加者 県内3者 ・(株) ジャパンセミコンダクター ・旭化成メディカル(株) ・日本政策投資銀行大分支店</p>
工業振興課 (大分県産業 創造機構)	中小企業地域資源活 用等促進事業 ((公財) 全国中小企 業振興協会助成事業)	<p>県内の農林水産事業者・食品製造事業者等に国内外のバイヤーとの商談を提供するため、国際食品商談会「沖縄大交易会2020オンライン版」での商談を支援した。</p> <p>日 程：令和2年11月9日～令和3年2月26日</p> <p>場 所：オンライン商談</p> <p>参加企業数：7社</p>
工業振興課 (大分県 LSI クラスター形 成推進会議)	おおいた LSI クラス ター構想推進事業	<p>県内半導体関連企業の海外展開促進のため、海外とのビジネス交流等を実施した。</p> <p>・台湾との商談会(オンライン) 台湾企業とのビジネスマッチング</p> <p>日 程：令和2年10月22日</p> <p>場 所：大分、熊本、台北</p> <p>内 容：熊本県と連携しての開催 大分県14社、熊本県10社、台湾26社が参加 大分県企業は50商談実施</p>
新産業振興室 (大分県医療 ロボット・機 器産業協議 会)	医療機器産業参入加 速化事業	<p>県内医療関連機器産業のアジアを中心とした情報発信や販路開拓を支援した。</p> <p>・おおいた産医療関連機器海外販路開拓支援プラットフォーム運営委託</p> <p>①期 間：令和2年6月1日～令和3年3月20日 場 所：タイ(サムットサコーン県周辺地域) 受託者：株式会社エイビス 内 容：県内の医療関連機器企業による「おおいた産医療関連機器」の販路展開を進めるため、タイの現地情報や病院、施設等のニーズ調査及び機器のPR等を実施 (訪問病院、施設数 合計66件)</p> <p>②期 間：令和2年12月4日～令和3年8月31日 場 所：タイ(全エリア)及びマレーシア全域</p>

		<p>受託者：株式会社エイビス 内 容：県内の医療関連機器企業による「おおいた産医療関連機器」の販路展開を進めるため、タイ及びマレーシアの現地情報や病院、施設等のニーズ調査及び機器のPR等を実施</p>
商業・サービス振興課	県産加工食品海外展開支援事業	<p>①大分県上海事務所 日中経済協会上海事務所内に大分県経済交流室を設置し、企業のビジネス活動、中国人観光客誘致、青少年交流、文化・人的交流などを支援した。（平成18年～ジェトロ上海事務所内、24年度～日中経済協会上海事務所内）</p> <p>②物産展等の開催 海外における県産品の販路開拓・拡大を図るため、現地物産展や海外バイヤーとのオンライン商談会等を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外バイヤーオンライン商談会 期 間：令和2年11月 場 所：大分市内 出 品：菓子類、調味料等 ・マカオニューヤオハン「大分フェア」 期 間：令和2年10月 場 所：マカオニューヤオハン 出 品：菓子類、飲料等 ・九州貿易振興協議会「米国及び東南アジア向けオンライン商談会」 期 間：令和2年11月 場 所：オンライン 出 品：調味料等 ・マルカイ・ハワイ「九州フェア」 期 間：令和2年10月 場 所：マルカイ・ホールセール・マート（ハワイ） 出 品：菓子類、調味料等 ・台湾百貨店日本物産展 期 間：令和2年9月～12月 場 所：台北市内の商業施設、ホテル等 出 品：酒類 ・マルカイLA「九州フェア」 期 間：令和3年2月 場 所：マルカイ・ホールセール・マート（ロサンゼルス、ハワイ） 出 品：加工食品、飲料等
雇用労働政策課	外国人労働者受入対策支援事業	<p>新たな在留資格「特定技能」の創設により、今後、外国人労働者の更なる増加が見込まれるなか、企業等が必要とする外国人材を適正に受入れ、日本人と外国人が安心して安全に暮らせる地域社会の実現に向けた取組を推進した。</p> <p>○「大分県外国人材の受入れ・共生のための対応策協議会」開催 開催日：7月30日、3月11日 主な活動内容： <ul style="list-style-type: none"> ・市町村及び関係機関との連携強化 ・情報収集及び共有 ・「大分県外国人材の受入れ・共生のための対応策」改訂（3月26日） </p> <p>○外国人雇用セミナーの開催 開催日：2月3日 内容：外国人材の受入れを検討している企業・団体を対象に、必要</p>

	<p>な知識やノウハウについて実例を踏まえて説明した。 参加者：107名（会場参加35名、オンライン参加72名）</p> <p>○大分県外国人雇用に係る広報誌制作 外国人労働者の適正・円滑な受入れを促進する目的で、大分で働く魅力を伝えるための外国人向け広報誌、及び外国人雇用に必要な情報や事例を伝える企業向け広報誌の2種類を各5,000部作成。県内各市町村や監理団体へ送付した。</p>
--	---

●農林水産部

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
国東半島宇佐地域世界農業遺産推進協議会	FAO欧州・中央アジア地域事務所主催ウェビナー	<p>国際連合食糧農業機関（FAO）主催によるウェビナーが開催され、ブラジル、チュニジアなど世界農業遺産認定地域からそれぞれの取組について発表する中、日本の認定地域からは唯一、当推進協議会の林会長が出演し、国東半島宇佐地域におけるしいたけ生産とクヌギ林の循環についてプレゼンテーションを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体 国際連合食糧農業機関（FAO） ・実施日 令和2年12月1日（火） ・テーマ HAND IN HAND WITH NATURE: UNDERSTANDING NATURE-BASED SOLUTIONS IN AGRICULTURE THROUGH GIAHS
おおいたブランド推進課 (ブランドおおいた輸出促進協議会)	農林水産物輸出需要開拓事業	<p>成長する海外需要を取り込み、農林水産事業者の所得向上を図るため、ブランドおおいた輸出促進協議会を核とした県産農林水産物の輸出拡大の取組を支援した。</p> <p>(1) 現地販売促進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和2年9月～令和3年3月 ・相手国：中国、香港、マカオ、台湾、マレーシア、シンガポール、ベトナム、オーストラリア ・実施回数：20回 <p>(2) 商談会出展（オンライン含む）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施時期：令和2年6月～令和3年2月 ・相手国：マレーシア、タイ、インドネシア ・実施回数：4回 <p>(3) その他</p> <p>①PR動画の作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：消費者用、バイヤー用のPR動画作成 ・品目：梨、かんしょ、牛肉、乾しいたけ、養殖ブリ、養殖クロマグロ ・対応言語：英語、中国語（繁体字、簡体字） <p>②PRパンフレット（おおいたブランド食材大全）の更新</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字） <p>③「The おおいた」ホームページの多言語化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容：海外バイヤー向けページの作成 ・品目：24品目 ・対応言語：日本語、英語、中国語（繁体字、簡体字）

大分県立農業 大学校	海外農業体験研修	<p>農業大学校の学生が先進的な海外農業について研修することにより、先進技術や世界情勢などに関する見聞を広めるとともに、国際感覚を醸成し、農業者としての資質の向上を図る。</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス蔓延の影響により中止</p> <p>【参考】R2当初実施計画 研修先：オーストラリア 実施期間：令和2年5月28日～令和2年6月3日 7日間 事業内容：訪問国の農業視察研修、農業教育施設での研修 ファームステイによる農業体験や農業者との交流 参加者：農業大学校農学部2年生32名 指導職員2名</p>
---------------	----------	--

●教育庁

担当課 (事業主体)	事業名等	事業内容 (目的・実施時期・事業実施主体・事業内容・受入又は派遣人数等)
高校教育課	グローバル人材育成 推進事業	<p>◎グローバルリーダー育成塾 目的：世界に挑戦する気概を持つ人材の育成 時期：3回（9月・11月・12月） 場所：大分県教育センター 内容：①大学教員・起業家による講演 ②「世界の課題解決に向けて私ができること」をテーマとした生徒間の協議・発表 人数：延べ1246名（高校1・2年生）</p> <p>◎留学フェア 目的：留学意欲の喚起と留学情報の提供 時期：1回（10月） 場所：大分県教育センター 内容：①大学教員・領事館担当者による講演 ②留学経験者による体験発表 ③留学支援団体による相談会 人数：109名（中学生・保護者・教員）</p> <p>◎イングリッシュ・デイ・キャンプ 目的：多様な価値観を持った者と協働できる人材の育成 時期：1回（2月） 場所：大分県教育センター 内容：英語プレゼンテーション等 人数：18名（中学生1・2年生） ※ALT8名がオンライン・オフラインで参加</p> <p>◎オンライン・グローバル・キャンパス 目的：バーチャル留学を体験する機会の提供 時期：全10回（10月～3月） 場所：受講生の自宅 内容：立命館アジア太平洋大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム（テーマ：SDGs等） 人数：22名（高校1・2年生）</p>
	語学指導外国青年招 致事業	<p>目的：高等学校等における外国語教育の充実 時期：平成2年4月～令和3年3月 ※新型コロナウイルス感染症に伴い新規ALTの来日が延期</p>

		<p>場所：高校教育課及び県立23校に配置 ※令和2年9月以降は、県立16校に配置</p> <p>内容：①英語の授業における補助業務（ティームティーチング） ②国際理解教育の促進</p> <p>人数：26名 ※令和2年9月以降は、16名の体制</p>
	おおいたワールドワイド・アカデミー事業	<p>◎スタンフォード大学遠隔講座</p> <p>目的：世界と英語で渡り合える人材の育成</p> <p>時期：全10回（10月～3月）</p> <p>場所：受講生の自宅</p> <p>内容：スタンフォード大学と連携した同時双方向型のオンライン遠隔プログラム（テーマ：日米関係・起業家精神・SDGs等）</p> <p>人数：30名（高校1・2年生）</p>
人権教育・部落差別解消推進課	帰国・外国人児童生徒日本語教育推進事業	<p>帰国・外国人児童生徒等の日本語能力に応じた日本語指導の充実を図るため、大学等と連携して県立高校及び小・中学校に日本語指導支援員を派遣した。</p> <p>実施時期：令和2年4月～令和3年3月</p> <p>派遣人数：県立高校 1校 1名 県内小・中学校 18校 13名</p>
文化課	日韓文化活動交流事業	<p>「日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言」に基づき、本県の高校生と大韓民国忠清南道の高校生との文化交流を通じて、日韓友好の心情を培い、相互理解を深め、両国の文化の振興に寄与するとともに、本県高校生の文化活動の充実・発展に資する。</p> <p>隔年毎に高校生を派遣、招聘する。令和2年度は派遣事業。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業実施主体：大分県高等学校文化連盟（委託事業） ・実施時期：令和2年7月 3泊4日（中止） <p>※新型コロナウイルスの影響で中止。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交流種目：演劇 ・事業内容：演劇の合同練習・発表会のほか、県内文化施設等の見学やホームステイ等による交流。 ・派遣校：大分県立大分西高等学校 (生徒14名、引率指導者5名) ・受入校：大韓民国 忠清南道 錦山郡 錦山女子高等学校

2 市町村の国際化関連事業（令和2年度）

市町村	事業名	事業内容
大分市	語学派遣研修 (一般財団法人自治体国際化協会) オースチン市及び武漢市は中止	語学の習得及び国際的な視野と感覚を身に付けることにより、国際化に対応できる人材の育成を図ることを目的に、一般財団法人自治体国際化協会へ1名の職員を派遣した。 実施時期：令和2年4月～令和3年3月 場 所：一般財団法人自治体国際化協会（ニューヨーク事務所） 派遣人数：1名 実施時期：令和2年8月～令和3年8月 場 所：オースチン市 派遣人数：2名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 実施時期：令和2年9月～令和3年8月 場 所：武漢市 派遣人数：1名 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (職員厚生課)
大分市	武漢事務所運営事業	「大分市国際化推進計画」に基づき、市民との連携を推進する中でグローバル時代の都市間競争に資するため、友好都市である中国武漢市に設置している事務所を市民の交流サポート等に活用した。(国際課)
大分市	多言語対応防災ガイド	災害時に必要となる情報や分かりやすい対応策、地域ごとの避難所マップ等を掲載した多言語対応防災ガイド（やさしい日本語、英語、中国語、韓国語）を市内の留学生の在籍する大学や専門学校、生活オリエンテーション等で配布するとともに、窓口に設置・ホームページへの掲載により広く周知を図った。(国際課)
大分市	「多言語コールセンター」を設置	災害時に対応可能な「多言語コールセンター」を設置（委託）し、外国籍を有する市民や観光客を対象に、フリーダイヤルによる24時間365日19言語（英語、中国語、韓国語、タイ語、ベトナム語、インドネシア語、マレー語、ネパール語、ポルトガル語、スペイン語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ロシア語、タガログ語、ミャンマー語、クメール語、モンゴル語、シンハラ語）での避難誘導や災害情報の案内を行うことのできる体制を整えた。 設置回数：2回 (国際課)
大分市	「国際課公式Facebook」運用事業	外国籍市民への生活情報や国際交流情報の提供を目的に、国際課公式Facebookにて、情報発信を行った。 更新回数：101回 (国際課)
大分市	多文化共生出張講座	市職員および国際交流員（中国語・英語）が申込者の希望の場所に出向いて国際化・多文化共生に関する講座を行った。 実施時期：随時 開催回数：4回 参加人数：70名 (国際課)
大分市	国際化・国際交流イ	「大分市国際化推進計画」に基づき、国際交流・国際協力・多文化共生イ

大分市	ベント支援事業	トに対する助成を行った。 助成件数：3件 (国際課)
おでかけENGLISH ～留学生と英語で遊ぼう～	留学生が市内幼稚園、保育園を訪問し、4～5歳の子どもに対し簡単な英語を使った遊びや絵本の読み聞かせを実施し、海外の文化、言葉に触れ合う機会を創出する。 実施時期：6月～3月 場 所：大分市内の幼稚園、保育園（所）、こども園等 派遣回数：19回（園） 派遣留学生：163名 参加園児：563名 (国際課)	
ハーバード大学生との交流会 “SWIM”	大分市内の中学校（義務教育学校後期課程を含む）に通う生徒を対象に、世界の有名大学であるハーバード大学生との簡単な英語ワークショップを行う交流会を開催した。新型コロナウイルス感染症の影響により来日ができなかったため、動画を活用して開催した。 実施時期：8月23日 場 所：J:COMホルトホール大分 参加人数：54名 (国際課)	
国際協力啓発月間事業	「大分市国際化推進計画」に基づき、国際協力・国際理解の啓発を目的にJICA九州と国際協力啓発月間を共同開催し、市民活動団体等と協力して啓発事業を行った。 実施時期：10月6日～11月7日 場 所：大分市内各所 来場者数：計 142名 (国際課)	
おおいたワールドフェスタ2020オンライン	新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での「おおいたワールドフェスタ2020」開催を中止したが、多くの市民に気軽に国際化を感じてもらうために、「おおいたワールドフェスタ2020オンライン」と題し、大分県内の国際関係団体が作成した団体紹介等の動画や画像を大分市国際課公式Facebookページに掲載した。 実施時期：11月4日～27日 参加団体：16団体 (国際課)	
青少年国際理解推進事業（WORLD QUEST in OITA（ワールド・クエスト・イン・おおいた）～世界の仲間と謎を解こう！）	子どもたちが外国人と触れ合うことで異文化や多様性を理解し、世界に視野を広げる機会を創出するため、ALTや留学生と一緒にゲームなどのグループ活動を行うイベントを開催した。 実施時期：11月7日 参加人数：大分市内小学生（1～6年生）68名、外国人スタッフ 15名 場 所：コンパルホール (国際課)	

大分市

大分国際車いすマラソン選手受入事業 (中止)	<p>武漢市から第40回大分国際車いすマラソン大会に出場する選手を受入れ、マラソン出場選手や市民と親交を深める。</p> <p>実施時期：11月12日～16日</p> <p>参加者：2名</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (国際課)</p>
国際化・多文化共生講座	<p>市民に国際化・多文化共生への理解を深める機会を提供するために、Zoom (Web会議サービス) を使い留学生と一緒に外国料理を作りながら、日本語で交流するイベント「留学生と作る！オンライン料理交流会」を開催した。</p> <p>実施時期：3月20日</p> <p>参加者：10組 (国際課)</p>
国際交流員招聘事業 (延期)	<p>JETプログラムにより国際交流員を配置し、通訳業務、翻訳などの多言語化の推進や外国語による情報発信、外国籍を有する市民への支援と共生への体制整備を行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により来日延期 (国際課)</p>
オースチン市姉妹都市提携30周年記念事業 (中止)	<p>大分市とオースチン市は2020 (令和2) 年に姉妹都市提携30周年を迎えることから、オースチン市長を団長とする親善訪問団を受入れ、記念式典や共同宣言へのサイン等を実施する。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (国際課)</p>
海外姉妹友好都市交流	<p>○中国 武漢市 (友好都市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・武漢商学院における国際教育交流の一環として、大分市の紹介および両市のこれまでの交流についてオンラインで紹介した。 実施時期：10月 ・2020武漢琴台音楽祭へ大分市ミュージシャンが動画出演 実施時期：11月 実施内容：大分市民を対象に演奏動画を公募し、武漢市文化旅遊局の選考により1組のミュージシャン動画出演 <p>○アメリカ オースチン市 (姉妹都市)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現地姉妹都市委員会主催のオンラインイベント『30 Things to Celebrate 30 Years』における市長メッセージ動画交換および動画の提供 実施時期：4月 提供動画：市長メッセージ、観光PR動画、市内在住陶芸家作品制作動画 ・「おおいたワールドフェスタ2020オンライン」への現地姉妹都市委員会からの動画提供 実施時期：11月 動画内容：姉妹都市委員会会長メッセージ、現地在住ミュージシャンライブ動画 (国際課)
第13回アジア太平洋都市サミット	<p>アジア太平洋都市サミットは、アジア太平洋地域の諸都市の代表者が一堂に会し、各都市の課題やその解決に向けた取組みの共有、率直な意見交換等を行うこ</p>

<p>(延期)</p>	<p>とにより、都市問題の解決に向けた相互協力、さらには、相互の都市の一層の発展に向けたネットワークの構築を図ることを目的に開催された。</p> <p>実施時期：2020年11月9日～11日</p> <p>事業内容：「SDGsのローカライズ ～2030年に向けて～」をテーマとし、SDGsを巡る世界の動向や目標達成に向けて都市に求められる役割について参加都市や国際機関、企業等が情報を共有するとともに、SDGsのローカライズのための政策手段等について意見交換</p> <p>事業実施主体（提唱都市）：福岡市 派遣者：大分市からは大分市長および通訳職員が参加 (国際課)</p>																																																						
<p>市勢要覧の作成</p>	<p>英語を併記した市勢要覧を1,000部作成した。 (広聴広報課)</p>																																																						
<p>市長へひとこと (ホワイトボックス) 記載用紙の外国語表記</p>	<p>市内在住等の外国人の意見が届きやすい環境を作るため、「市長へひとこと」の記載用紙に英語を併記し、設置した。 (広聴広報課)</p>																																																						
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ (延期)</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会へ出場するイタリア（フェンシングサーブル競技）、フィジー（7人制ラグビーほか）、スイス（車いす陸上）代表選手の事前キャンプの受入を行う予定であったが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会延期に伴い令和3年度へ延期となった。</p> <p>実施時期：令和2年7～8月 場 所：コンパルホールほか (東京オリンピック・パラリンピック推進局)</p>																																																						
<p>東京2020オリンピック・パラリンピック事後交流 (延期)</p>	<p>東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会出場のために、来日したウルグアイの代表選手が競技後、来市し交流を通じて国際理解の推進を図る予定であったが、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会延期に伴い令和3年度へ延期となった。</p> <p>実施時期：令和2年8月 場 所：未定 (東京オリンピック・パラリンピック推進局)</p>																																																						
<p>英語で遊ぼう (中央公民館)</p>	<p>趣旨・目的：外国人講師の指導により、日常会話やゲームで英語に親しみながら、友だちや先生とコミュニケーションを図ろうとする子どもを育てる。</p> <p>実施場所：コンパルホール400号室</p> <table border="1" data-bbox="678 1568 1369 2004"> <thead> <tr> <th>回数</th> <th>実施日</th> <th>曜</th> <th>実施内容</th> <th>講師名(所属・会社名)</th> <th>参加者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>10月3日</td> <td>土</td> <td>園講式(新型コロナウイルス感染症対策を含む)パスポート作り</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>10月31日</td> <td>土</td> <td>ハロウィンカード作り</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>11月14日</td> <td>土</td> <td>ハロウィンに出てくる人や物の名前を英語でいう</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>11月21日</td> <td>土</td> <td>「Can you...?」→「Yes, I can.」「No, I can't」</td> <td>下川 博子</td> <td>18</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>12月5日</td> <td>土</td> <td>サンタクロースの折り紙作り</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>12月19日</td> <td>土</td> <td>クリスマスカードづくり</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>1月16日</td> <td>土</td> <td>クリスマスプレゼントは何をもらいましたか?</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>2月6日</td> <td>土</td> <td>園講式 働く人と働きをつないで英語で質問</td> <td>ジャルレガン・ブノフ 下川 博子</td> <td>21</td> </tr> </tbody> </table>	回数	実施日	曜	実施内容	講師名(所属・会社名)	参加者数	1	10月3日	土	園講式(新型コロナウイルス感染症対策を含む)パスポート作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	18	2	10月31日	土	ハロウィンカード作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	9	3	11月14日	土	ハロウィンに出てくる人や物の名前を英語でいう	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	25	4	11月21日	土	「Can you...?」→「Yes, I can.」「No, I can't」	下川 博子	18	5	12月5日	土	サンタクロースの折り紙作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21	6	12月19日	土	クリスマスカードづくり	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	23	7	1月16日	土	クリスマスプレゼントは何をもらいましたか?	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21	8	2月6日	土	園講式 働く人と働きをつないで英語で質問	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21
回数	実施日	曜	実施内容	講師名(所属・会社名)	参加者数																																																		
1	10月3日	土	園講式(新型コロナウイルス感染症対策を含む)パスポート作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	18																																																		
2	10月31日	土	ハロウィンカード作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	9																																																		
3	11月14日	土	ハロウィンに出てくる人や物の名前を英語でいう	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	25																																																		
4	11月21日	土	「Can you...?」→「Yes, I can.」「No, I can't」	下川 博子	18																																																		
5	12月5日	土	サンタクロースの折り紙作り	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21																																																		
6	12月19日	土	クリスマスカードづくり	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	23																																																		
7	1月16日	土	クリスマスプレゼントは何をもらいましたか?	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21																																																		
8	2月6日	土	園講式 働く人と働きをつないで英語で質問	ジャルレガン・ブノフ 下川 博子	21																																																		

	<p>※令和2年度は、新型コロナウイルスのため後期のみ実施 参加者数：延べ151名 (市民協働推進課)</p>
ジュニア英会話教室 (東部公民館)	<p>目的：外国人講師の指導により、アルファベットの基礎から歌やゲーム等の遊びを通して生きた英語を学ぶ。 (小学校3年生～6年生対象)</p> <p>実施時期：令和2年10月～令和3年1月 土曜日 計7回 対象：小学校3年生～6年生 7回講座 参加人数：10人(定員15名) 講師：外国人講師1名 協力者1名 (後期講座7回) (市民協働推進課)</p>
子ども国際交流教室 (前期) (西部公民館) (中止)	<p>外国人講師の指導で、歌やゲーム等を通して、生きた英語を体験するとともに、仲間づくりを目指す。 5月～7月 土曜日 10:00～12:00 小学1年生～3年生対象 7回講座 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (市民協働推進課)</p>
英語で遊ぼう A(小1～小3児童対象) ・英語で遊ぼう B(4歳～就学前 の子ども対象) (南部公民館)	<p>小学生(小1～小3)、幼児(4歳～就学前)を対象にクラスを分け、歌ったりゲームをしたりしながら英語に親しむとともに、講師や仲間とのコミュニケーションを楽しむ。日本人講師が指導に当たり、数回は外国人留学生が協力者を務める。 ○実施時期・回数：月1回実施(10月～2月)全5回 ○実施場所：大分南部公民館 和室 ○参加人数：小学生対象A 20名 就学前対象B 20名 延べ人数 210名 (市民協働推進課)</p>
子ども英会話教室 (鶴崎公民館)	<p>外国人講師と楽しく英語を学習することを通して外国人とのコミュニケーションを楽しむ。 実施回数：10回(土曜日) 場 所：鶴崎校区公民館 参加人数：延べ125名(小学1～4年生対象) 内 容：外国人講師による発音、書くこと、話すことを学ぶ講座 (市民協働推進課)</p>
子ども国際交流クラブ①② (大南公民館)	<p>外国人講師の指導によるレクリエーション・ゲーム等により、楽しく英語を学んだ。(①小学生1年～2年 ②小学生3年～6年) 実施時期：令和2年10月～令和3年3月 実施回数：全10回(第2・第4土曜日) 参加者数：延べ298人(教室生①20人②15人) 実施場所：大南公民館研修室 実施内容：色、数、天気、スポーツ、アルファベット、ハロウィン、クリスマスなどを英語で楽しくゲームを交えて実施 (市民協働推進課)</p>

<p>体験合宿in 大南 〈体験・楽習・すこやか講座〉 (大南公民館)</p>	<p>地域での様々な体験活動の中に、大分大学留学生との国際交流の時間を設定し、留学生の母国の文化や言葉を学んだ。(小学校4年～中学校1年対象) 実施時期：令和2年10月17日(土) 参加者数：小中学生10人・大分大学留学生3人 実施場所：大南公民館、竹中校区内 実施内容：国際交流、草木染体験、竹工作、森林観察等 (市民協働推進課)</p>
<p>留学生と交流を進める会 (大在公民館) (中止)</p>	<p>大在で暮らす留学生を中心に会員との交流はもとより、地区住民と留学生との交流を図った。 実施時期：①令和元年7月14日 ②令和元年10月20日 ③令和元年12月5日 場 所：①公民館集会室(ミニバレー) ②ニューさくら荘(グランドゴルフ) ③公民館ロビー・調理実習室 参加人数：①29名 ②34名 ③33名 内 容：①②スポーツ交流会 ③交流餅つき大会 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (市民協働推進課)</p>
<p>英語で遊ぶリトミック (大在公民館)</p>	<p>小学1～3年生を対象に、英語での指示や合図で体を動かしたり歌を歌ったりして簡単なゲームを行い、自然な形で英語に慣れ親しんだ。 【令和2年度実績】 実施時期：令和2年10月24日～令和3年2月27日 (全5回。前期の5回は感染予防のため中止) 参加人数：延べ79名 (市民協働推進課)</p>
<p>「楽しい英会話」 (佐賀関公民館) (中止)</p>	<p>GDM(段階的直接法)を取り入れた講師の指導で、段階を追って直接英語表現を理解する講座を実施する。(全5回) 実施日：10月10日、10月24日、11月14日、 11月28日、12月12日 募集定員：10名 ※受講希望者がいなかったため中止 (市民協働推進課)</p>
<p>えいごであそぼ① えいごであそぼ② (後期) (野津原公民館) (中止)</p>	<p>目的：遊びを通して楽しく英語にふれるとともに、簡単な英語を使った会話を学ぶ 実施時期：令和2年10月～令和3年2月 実施回数：4回(土曜日)10/24, 11/28, 1/23, 2/27 受講生：えいごであそぼ① 15名(小学生対象) えいごであそぼ② 15名(小学生対象) 実施場所：野津原公民館 和室1. 和室2 実施内容：外国人講師の協力のもと、発音・聞くこと・話すことを学ぶ講座 ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止 (市民協働推進課)</p>

共生社会ホストタウン推進事業	<p>本市は2018年5月にスイス連邦の「共生社会ホストタウン」として登録が完了しており、交流事業等を展開するなかでスイス連邦との交流を深めるとともに、共生社会の浸透・実現を目指している。</p> <p>【「おおいた食と暮らしの祭典」における啓発活動】</p> <p>実施時期：令和2年10月11日</p> <p>場 所：祝祭の広場</p> <p>内 容：スイスの文化・歴史等に触れるブースを出展</p> <p>【スイスフェアの開催】</p> <p>実施時期：令和2年11月14日</p> <p>場 所：祝祭の広場</p> <p>内 容：「大分車いすマラソン2020」の開催に合わせ、スイス大使館の協力のもと、スイスフェアを開催し、スイス文化等を市民へ紹介。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スイスの文化や歴史の紹介 ・バリアフリーファッションショー ・車いすマラソン選手によるトークイベント 等 <p style="text-align: right;">(障害福祉課)</p>
大分市環境ポスター展	<p>環境に関する理解と意識の高揚を図るため、市内や姉妹・友好都市等の小中学生から環境に関するポスターを募集し、12月に環境ポスター展を開催した。令和2年度は広州市より22作品が寄せられ、J:COMホルトホール大分に展示するとともに、大分市ホームページにも掲載した。</p> <p style="text-align: right;">(環境対策課)</p>
武漢市との水環境改善協力事業	<p>大分市環境部と武漢市生態環境局との「環境保全に関する交流覚書」に基づき、職員を武漢市に派遣し、武漢市の抱える水質汚濁を中心とした環境課題を把握するため、協議と工場等の視察を行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大のため未実施。</p> <p style="text-align: right;">(環境対策課)</p>
武漢市とのごみ減量・リサイクル促進協力事業 (中止)	<p>「大分市環境部と武漢市都市管理委員会との循環型社会の形成に関する交流覚書」に基づいた、廃棄物担当職員の人的交流の促進等の事業については、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止とした。</p> <p style="text-align: right;">(ごみ減量推進課)</p>
外国人向けごみ収集カレンダーの作成	<p>ごみ収集日程や正しい分別と出し方などを周知するため、英語、中国語、韓国語で記載したごみ収集カレンダーを作成し、ホームページに掲載した。</p> <p>作成部数：2,100部 (令和2年度)</p> <p style="text-align: right;">(清掃業務課)</p>
海外販路拡大支援事業	<p>①大分市武漢事務所を活用した海外販路拡大サポート</p> <p>大分市の企業と武漢市の企業とのビジネスマッチングを目的に、現地での商談等を支援</p> <p>②おおいた産品等海外ビジネス促進協議会(事務局：大分市創業経営支援課)が実施する事業の支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員間の情報共有・意見交換の場として、定例会を5回開催 ・SNS運用をサポートしている県内企業やSNSを活用した海外販路拡大に取り組む会員企業を講師に迎えたインターネット活用講座(基本操作編+実践応用編)を開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・独立行政法人中小企業基盤整備機構と共催した中小企業海外展開セミナー「ウィズ・コロナ時代の海外展開～WEBサイトを最強の営業マンに仕立てる！～」を開催 <p>③大分市・大分銀行共催「ベトナム企業オンライン個別商談会」の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間：令和2年12月～令和3年3月 ・参加企業：3社 ・商談方法：ベトナムと日本でのオンライン（Zoom）商談 ・商談件数：参加企業1社当たりベトナム（ホーチミン市）企業6社 <p>※大分銀行との「地域創造連携協力に関する協定書」に基づき、同社と共催で、現地企業訪問型の商談会を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりオンラインに切り替えて実施。</p> <p>④一般財団法人自治体国際化協会主催「日本ふるさと名産食品展inニューヨーク」への出展</p> <p>健康意識の高まりから日本食への注目が集まっている米国ニューヨーク市において開催される物産展へ出展する企業を募集し、出展を支援するとともに、大分市の観光PRも行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により中止。</p> <p>⑤海外販路拡大サポート補助金</p> <p>大分市内に事業所を有する中小企業者（個人事業主を含む）が、商品を海外へ輸出拡大しようとする際の、日本国外及びオンライン上で行われる商談会・展示会等への参加や越境ECサイトへの出店等に要する経費の一部を補助。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数：13件 （創業経営支援課）
<p>豊の都市おおいた情報発信事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・東京オリンピック・パラリンピック推進局と連携し、事前キャンプに訪れるチームに観光情報の提供を行った。 ・ツーリズムおおいたや九州観光推進機構と連携し、旅行会社向けのオンライン商談会に参加し、中国や韓国および国内のインバウンド商品を取り扱う旅行会社に対して観光情報のPRを行った。 ・アフターコロナにおけるインバウンドの誘客に向けて、別府市と連携して、コロナ禍が明けたのちの誘客に向けて中国の訪日旅行希望者にファンが多いKOLアカウントを活用した観光情報の発信を行った。 ・事業者向けに、訪日外国人にも利用者の多い地図アプリの効果的な運用をテーマとしたセミナーを実施した。 （観光課）
<p>OITAサイクルフェス!!!2020</p>	<p>大分市が推進する「バイシクルフレンドリータウン～自転車が似合うまち～」創造に向けた取り組みの一環として、自転車の魅力を多くの人に体感してもらうとともに、観光振興と地域活性化を図ることを目的に「OITAサイクルフェス」を平成26年（2014年）から開催している。</p> <p>2018年から国際自転車競技連合（UCI）公認の国際自転車レースに位置付けられ、実施をしてきた。</p>

大分市		<p>「OITAサイクルフェス!!!2020」では、2020年10月3日（土）に「おおいたいこいの道クリテリウム」を、4日（日）には、「おおいたアーバンクラシック」を共にUCI公認の国際レースとして開催する予定としていたが、新型コロナウイルスの感染拡大の状況を受け、国外チームの参加が困難と判断し、国際大会としての実施は中止し、国内大会として実施をした。</p> <p>主催：大分市、OITAサイクルフェス実行委員会、一般社団法人おおいたスポーツマネジメント</p> <p>期日：令和2年10月3日（土）、4日（日）</p> <p>会場：大分いこいの道周辺及び大分スポーツ公園周辺</p> <p>概要：①おおいたいこいの道クリテリウム（3日） ②おおいたサイクルロードレース（4日） ③お部屋ラボ祝祭の広場パブリックビューイング（3、4日）</p> <p style="text-align: right;">（都市交通対策課）</p>
外国人児童生徒の就学指導		<p>本市に居住し、小学校及び中学校並びに義務教育学校に入学を希望する外国人への就学指導を行った。</p> <p>入学前に新入学児童生徒の保護者を対象に「就学案内」を4か国語で作成して送付し、就学の意向等を把握した。</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
一時帰国子女及び外国人の体験入学		<p>海外からの一時帰国で、本市に滞在している児童生徒及び短期滞在の外国人等3人の小学校及び義務教育学校における体験入学を実施した。</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
外国語指導助手招聘事業		<p>小中学校及び希望する幼稚園における国際理解教育の推進に外国語指導助手（ALT）を活用するとともに児童生徒の英語によるコミュニケーション能力の育成を目指し、小学校第3～6学年の外国語活動、中学校の英語科においてALTを活用した。</p> <p>実施時期：通年</p> <p>派遣人数：17名</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
武漢市学校交流事業（中止）		<p>本市と中国武漢市との友好交流の諸事業の一として、令和2年6月から7月に武漢外国語学校の5名の生徒を受入れ、大分市立滝尾中学校及び在籍生徒の家庭で、体験入学とホームステイを実施する予定であった。</p> <p>また、令和3年3月には、滝尾中学校の生徒を中国武漢市に派遣し、武漢外国語学校及び在籍生徒の家庭で体験入学とホームステイを実施する予定であった。</p> <p>（受入事業）令和2年6月 6日（月）～7月 8日（金） 中止</p> <p>（派遣事業）令和3年3月14日（土）～3月21日（土） 中止</p> <p>※新型コロナウイルス感染症の影響により受入事業及び派遣事業を中止</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
おおいたナイトスクール国際科		<p>○目的：日本語を学びたい外国の方に対して、学習の機会を提供する。</p> <p>○実施時期：2020年10月14日から2021年2月24日</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講時期を6月から10月に変更した。</p>

大分市		<p>○事業内容：日本語教室の講師による日本語の基礎からの学習や、特別講師による大分の文化や生活についての学習を実施した。</p> <p>○事業実施主体：大分市教育委員会社会教育課</p> <p>○受講者：5人 (社会教育課)</p>
	多言語電話通訳	<p>119番通報時や災害現場活動時において言語による外国人対応が困難場合、電話通訳者（民間委託）を介し、指令センターと外国人の間で三者通話または二者通話により、365日24時間体制で多言語電話通訳を行った。</p> <p>通訳対応件数：1件（タイ語 119番通報時） (通信指令課)</p>
別府市	外国人青年招致事業	<p>外国語指導助手（ALT）6名を採用し、中学校英語科授業及び小学校3、4、5、6年の外国語活動の補助を行うとともに、幼稚園及び小学校1、2年生における国際理解教育を推進した。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>派遣人数：6名（4月～9月） 4名（10月～3月）</p> <p>※コロナウィルス感染症拡大のため未来日2名</p> <p>(教育委員会学校教育課)</p>
	グローバル人材育成推進事業	<p>外国からの留学生等との交流を通して、英語に慣れ親しみ、様々な国の文化を尊重する態度と多様な価値観を持った人々と協働する態度を育むために別府市内の小中学校にて国際理解教育を推進した。</p> <p>○グローバルサポーター派遣</p> <p>※コロナウィルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>○小学生大学キャンパス体験学習</p> <p>期日：年間1回</p> <p>内容：別府市立小学校6年生が立命館アジア太平洋大学の留学生等と英語等を使ってオンラインで国際交流を行った。</p> <p>○中学生大学キャンパス体験学習</p> <p>※コロナウィルス感染症拡大防止のため中止とした。</p> <p>(教育委員会学校教育課)</p>
	在外外国人及び一時帰国子女幼・小・中学校体験入学（園）の受入	<p>日本に一時的に滞在する外国人で、子女に異文化を体験させたいという希望を持つ保護者や、日本人の国外移住者で、母国言語・習慣等を忘れさせないため、長期休暇を利用し日本に帰省させて、当該子女を一定期間日本の学校に通わせたいという保護者の希望にこたえる目的で学籍の在否とは関係なく便宜的に体験入学（園）を認めた。</p> <p>(教育委員会学校教育課)</p>
	入学案内・就学援助制度案内の英語版配布	<p>別府市に住民登録している外国籍の新入学児童の保護者に対し、「日本の小学校への入学案内」の英語版及び「就学援助のお知らせ」の英語版を作成し送付した。外国籍の新入学児童が就学する機会を逸することを防ぐとともに、就学援助の要件を満たす保護者の就学に関する負担軽減を図った。</p> <p>(教育委員会学校教育課)</p>

外国人子女等に対する教育相談員派遣	<p>日本語指導が必要な児童・生徒に対し教育相談員を派遣し、日本語指導を行った。</p> <p>通訳が必要な園児に対しては母語などが分かる教育相談員を派遣し通訳の支援を行っており、当該園児・児童・生徒のスムーズな就学を促した。</p> <p>(教育委員会学校教育課)</p>
「ごみと資源の分け方・出し方カレンダー作成」	<p>ごみの収集日程、分別や排出ルールなどの周知を目的として、英語・中国語・韓国語の3カ国版を作成し、随時配布した。</p> <p>※別府市公式ホームページ、LINEからも閲覧可能 (生活環境部環境課)</p>
留学生向け「ごみの分別講習」	<p>当市のごみ出しルールと粗大ごみ等の適正処分について学んでもらうことを目的として、別府大学の留学生を対象に、英語・中国語・韓国語版ごみカレンダーを用いた分別講習会を予定していたが、新型コロナウイルス感染状況を鑑み中止となった。</p> <p>(生活環境部環境課)</p>
国際理解教室	<p>目的：青少年の国際力を養い多文化に触れる。</p> <p>事業内容：学生の自己紹介及び母国の紹介。各国の数の数え方やゲームの方法について学ぶ。</p> <p>南部児童館①：令和3年3月13日（土）11:00～12:00 参加学生：5名（インド、インドネシア、バングラディシュ、タイ） 参加児童：4名</p> <p>南部児童館②：令和3年3月21日（日）11:00～12:00 参加学生：5名（イギリス、メキシコ、ベトナム、インドネシア） 参加児童：18名</p> <p>北部児童館①：令和3年3月20日（土）14:00～15:00 参加学生：5名 参加親子：12名</p> <p>北部児童館②：令和3年3月21日（日）14:00～15:00 参加学生：3名 参加児童：3名</p> <p>(子育て支援課)</p>
社会教育施設主催事業	<p>目的：外国人講師に、母国の簡単な家庭料理を学びながら、食を通じた文化交流を行う。</p> <p>実施期間：7～2月（年7回） 場所：ふれあい広場サザンクロス 研修室 講師：立命館アジア太平洋大学学生 対象：成人一般 参加者：延べ89人</p> <p>(社会教育課)</p>
姉妹都市等交流事業	<p>◆姉妹都市ニュージーランド国ロトルア市</p> <p>○ホストタウン動画制作</p> <p>日 程：令和2年12月</p> <p>参加者：別府翔青高等学校 グローバルコミュニケーション学科2年生</p> <p>目的：全国のホストタウンが連携し、オリパラ時のNZ代表を応援し、両国の</p>

別府市	<p>交流を推進する。</p> <p>◆英国バース市</p> <p>○絵巻物プロジェクト</p> <p>日程：令和2年10月6日（火）</p> <p>参加校：別府市立青山中学校</p> <p>目的：両市の文化、習慣を絵巻物に記し、交換することで国際交流の推進を図る。 (文化国際課)</p>
多文化共生事業	<p>一般社団法人別府市産業連携・協働プラットフォーム B-bizLINK BIP事業部が主催し、一般市民及び外国にルーツを持つ子どもとその親を対象に、多文化共生イベントや語学講座等を開催した。</p> <p>開催時期：令和2年4月～令和3年3月</p> <p>参加者：市民及び外国にルーツを持つ子どもとその親</p> <p>活動内容：書道教室、各国イベント、お花見等のイベント開催</p> <p>多言語防災支援ワークショップ</p> <p>語学講座（英語・韓国語・中国語・タイ語）</p> <p>国際理解講座</p> <p>◆防災まちあるきワークショップ</p> <p>地域の方々や留学生と市内を歩き、避難所の確認や防災に関するクイズを行うことにより、災害時の情報は十分か、日本の避難所はどのようなところなのか等、災害について考えるワークショップを開催。</p> <p>（オンライン実施）</p> <p>参加者：市民、災害時多言語支援ボランティア、市役所職員、留学生等35名</p> <p>◆国際理解教室</p> <p>異文化理解を深め、国際交流の推進を図るため、市内小・中学校、高校等を対象に、留学生を講師として派遣し国際理解教室を開催。</p> <p>実施時期：令和2年4月～令和3年3月</p> <p>実施回数：延べ8校</p> <p>派遣人数：113名</p> <p>対象児童数：783名</p> <p>◆初級日本語講座「日本語らくらくトーク」</p> <p>内 容：日常的に役立つ日本語を学ぶ場のみならず、市民生活に関わる様々な情報や案内を提供することにより、コミュニケーションや生活相談の場としての重要な役割も果たしている。</p> <p>実施時期：令和2年4月～令和3年3月</p> <p>実施回数：36回</p> <p>参加者等：16カ国（地域）の延べ129名が登録 (文化国際課)</p>

別府市外国人留学生 地域活動助成金交付 事業	◆留学生が市民との交流活動等を実施する際の助成金を予算の範囲内で交付し、地域社会の国際理解の増進によるグローバル化及び地域活性化を図ることを目的に実施。 申請団体：1団体 (文化国際課)
東京 2020 オリパラ 事業	○ラオスとつなぐインクルーシブ教育事業 目的：ラオスのパラパワーリフティング選手や障害を持たれた方との交流をとおり、「障害」について考えるとともにラオスという国について学ぶ。 日程：令和2年10月23日（金） 内容：体育館でラオスと「オンライン会議システムzoom」で繋ぎ、ラオスの聴覚障がい者が働く「みんなのカフェ」スタッフやパラリンピック出場を目指すパラパワーリフティング選手と交流を行う。 主催：別府市 参加者：（ラオス）パラパワーリフティング選手2名、 みんなのカフェスタッフ2名 （別府）別府市立亀川小学校5年生65人、 アジアの障害者活動を支援する会3名 (スポーツ健康課)
身近な人権講座	社会教育の場における人権教育の推進を図り、広く市民を対象に、人権に関する学習の機会を提供し、市民一人一人の人権問題に対する正しい認識と理解を促進することを目的として実施した。年間5回のうち「外国人と人権」をテーマとして講座を実施した。 実施時期：11月26日（木） 事業内容：演題 「日本社会の人権課題 ～ヘイトスピーチを体験して～」 講師 在日朝鮮人3世 徐麻弥 さん 受講者数：35人 (共生社会実現・部落差別解消推進課)
人権ミニ講座	人権啓発センター主催事業として、地域住民及び市民を対象に、人権に関する学習の機会を提供し、受講者一人一人の人権問題に対する正しい認識と理解を促進することを目的として実施した。年間4回のうち「外国人と人権」をテーマとして講座を実施した。 実施時期：9月17日（木） 事業内容：演題 「外国人と人権」 講師 在日朝鮮人3世 徐麻弥 さん 受講者数：17人 (共生社会実現・部落差別解消推進課)
市民人権講座	人権啓発センター主催事業として、地域住民及び市民を対象に、人権に関する学習の機会を提供し、受講者一人一人の人権問題に対する正しい認識と理解を促進することを目的として実施した。年間6回のうち「外国人と人権」をテーマとして講座を実施した。

別府市		<p>実施時期：11月24日（火）</p> <p>事業内容：演題 「外国人の人権問題」</p> <p>講師 曹洞宗善降寺 自覚大道 さん</p> <p>受講者数：22人 (共生社会実現・部落差別解消推進課)</p>
	後援事業	<p>団体が催す大会等の趣旨に賛同し、名義使用を認め、及び当該大会等を外部的に支援した。</p> <p>○第2回日韓友好のつどいin OITA</p> <p>実施日：2月12日（金）～2月13日（土）</p> <p>交流内容：映画上映、講演会、韓国伝統文化音楽・舞踏公演</p> <p>場所：ホルトホール大分 小ホール (秘書広報課)</p>
	国民健康保険事業	<p>①外国人新入生の被保険者証交付時に、英語で作成した説明文を同封した。</p> <p>②国民健康保険税に関する文書（申告奨励・納付奨励）を英語で作成し、還付通知を3か国語（英・中・韓）で作成した。 (保険年金課)</p>
	国民年金事業	<p>①窓口で手続（資格取得・免除申請等）を行う際の説明用フローシートを4か国語（英・中（簡体字・繁体字）・韓）で作成した。</p> <p>②国民年金の手続（資格取得・免除申請）が完了した方へ、その後の流れについての説明文を英語で作成した。 (保険年金課)</p>
中津市	多言語情報配信ツールを利用	<p>近年増加している市内の外国人居住者に向けて、市役所から発信する情報をダイレクトに伝えるために、市報などのデータを9言語に翻訳することができる情報配信ツールを利用して情報を発信した。</p> <p>【発信実績】月2回市報の納品日 (秘書広報課)</p>
	外国人向けの生活ガイドブックを作成	<p>近年大きく増加している中津市内に居住する外国人のために、簡単でわかりやすい日本語（やさしい日本語）で記述した「中津市で暮らす外国人のための本」を作成した。</p> <p>【作成時期】令和2年4月 (秘書広報課)</p>
	広域サイクリングロードマップ制作	<p>サイクルツーリズムの高まりを背景に、別府から中津へと繋がる広域サイクリングルートを作成し、これに伴うサイクリングマップを作成。合わせて訪日外国人旅行者の誘客のため、英語版を製作した。</p> <p>【作成時期】令和3年3月</p> <p>【発行部数】1万部 (観光推進課 耶馬溪観光室)</p>
	ベトナム人就業受入事業者等のためのベトナム語教室	<p>ここ数年在留外国人が急増しており、その中でも特に多くなっているベトナムからの実習生等を受入れる事業所などを対象に、受入れを行った実習生等への理解と交流のため、中津市商工・雇用政策課の主催で「ベトナム語教室」を開催した。</p> <p>【日時】10～12月各月の第2・4水曜日19:00～20:00</p> <p>【会場】なかつ情報プラザ会議室</p> <p>【参加者】5社10名 (商工・雇用政策課)</p>
	母子手帳交付	<p>外国語（英語版、ベトナム語版、中国語版など）/日本語併記の母子手帳を準</p>

中津市	備しており、対象者へ交付した。 (地域医療対策課)
ごみ・リサイクルミニ集会（中津に居住する外国人研修生等向け）の開催	中津市民を対象にごみの分別やリサイクルについての講習を行う「ごみ・リサイクルミニ集会」を企業に就労する外国人研修生を対象に実施した。 実施時期：令和2年7月31日（金） 実施場所：九州テイ・エス(株) 参加人数：30名（中国人研修生） (清掃課)
外国語指導助手招致事業	JETプログラム（7名）及び市委託（6名）の外国語指導助手13名（アメリカ4名、ニュージーランド2名、オーストラリア1名、イギリス3名、アイルランド1名、ハンガリー1名、ロシア1名）を招致し、小・中学校では毎週1回以上、外国語指導や文化交流を行った。コロナ禍ではあったが、可能な範囲で英語絵本の読み聞かせ、ゲーム等、休み時間や学校行事でも児童・生徒と交流した。また、臨時休校中は、外国語関係の動画を作成し、市内の外国語教育をサポートすることができた。 実施時期：授業日 実施場所：小学校21校、中学校10校 (学校教育課)
中津わくわく英語ひろば	小学生5・6年生を対象に外国語指導助手がリーダーになり、外国語指導助手の自己紹介や出身国の紹介を聞いたり、英語を使った遊びを体験したりすることにより、世界の国々について興味・関心を持ちながら異文化理解を図ることができた。 実施時期：令和3年3月6日 参加人数：10名 実施場所：中津文化会館小ホール (学校教育課)
小学校教職員英会話塾	小学校教職員を対象に外国語指導助手が英語力向上のサポートをした。参加者が会場に集まって実施する計画であったが、感染症の影響を受け、オンラインに切り替えた。この活動を通して、参加者の英語コミュニケーション能力を向上することができた。また、オンラインに切り替えたことで、英語に自信のない職員も参加しやすく、好評を得た。 実施時期：令和2年9月10日～令和3年1月14日までの月1回 計5回 参加人数：10名 実施場所：オンライン (学校教育課)
チャレンジ英語教室 (放課後豊田子ども教室)	放課後子ども教室の1教室として「チャレンジ英語教室」を開催し、英語でありさつや自己紹介、ゲームを通して英語を楽しんだ。 実施日時：9月5日 9月12日 10月3日 10月10日 11月7日 11月14日 12月5日 12月12日 13:00～15:00 実施場所：豊田公民館 参加人数：小学校1～3年生 のべ66名 (社会教育課)
日本語教室「きらき	中津市または近郊の市町村の事業所で働く技能実習生に対し、日本語能力試験

中津市	ら」	<p>(JLPT) の合格に向けて、コース (N4. N3. N2) に分かれて学習の支援をした。</p> <p>実施日時：7月26日 8月9日 8月23日 9月27日 10月4日 10月18日 10月25日 11月8日 11月22日 11月29日 12月13日 1月24日 1月31日 2月14日 2月28日 3月14日 13:30～16:30</p> <p>参加人数：のべ230名 実施場所：如水コミュニティーセンター 合格実績：N4 4名 N3 3名 N2 2名 その他：県の「多文化共生推進事業」を受けたおおい国際交流プラザ 主催の「日本語おしゃべり会」(3月7日(日)宇佐市で実施) に6名の教室生が参加。 (社会教育課)</p>
	日本語教室「あい♡ことば」	<p>市内に在住の外国にルーツがある子どもや家族のために、日本語の学習や日本の文化(七夕、習字)を学ぶ場の提供、また、工作や絵手紙、お弁当作りなど親子活動の場を提供した。</p> <p>実施日時：7月12日 8月9日 9月13日 10月11日 11月8日 12月13日 1月17日 2月14日 3月14日 10:00～12:00</p> <p>参加人数：のべ237名 実施場所：豊田公民館 (社会教育課)</p>
	外国人とのコミュニケーション拡大事業	<p>社会教育施設を核とした「やさしい日本語」の普及や交流の取組みによる、県内在住外国人と地域住民のコミュニケーションの拡大を図った。</p> <p>実施日時：①9月13日 ②11月9日 ③11月20日 ④3月7日</p> <p>参加人数：のべ約80名 主な対象：①日本語教室のスタッフ、日本語指導員 ②今津地区住民 ③中津市役所職員 ④技能実習生、受け入れ企業の日本人</p> <p>実施場所：①中津市福祉センター ②今津コミュニティーセンター ③中津文化会館小ホール ④如水コミュニティーセンター (社会教育課)</p>
日田市	英語指導助手招致事業	<p>市内の小中学校における英語学習及び国際理解教育の充実のため、外国語指導助手を招致し市内小中学校に派遣した。</p> <p>実施期間：通年 招致数(外国語指導助手)：6名 【内訳】5名(JETプログラム) 1名(市費雇用) (学校教育課)</p>
	海外からの短期在留(一時帰国を含む)児童生徒の体験入学	<p>海外からの一時帰国で本市に滞在する児童生徒や、短期滞在する外国人等の小・中学校における体験入学を実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、令和2年度の実績はなし。</p>

日田市		<p>実施期間：通年 実施校：0校 参加者（外国人含む）：0名 (学校教育課)</p>												
	小・中学校総合的な学習の時間推進事業	<p>総合的な学習の時間で、立命館アジア太平洋大学の学生招致や児童生徒のキャンパス訪問など、留学生との交流を通じた国際理解教育の推進を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染予防のため令和2年度は実施できなかった。</p> <p>実施期間：通年 実施校：小学校 0校 中学校 0校 (学校教育課)</p>												
	日本語教室事業	<p>【目的】 市内在住外国人等に、日常生活を送るうえで必要な日本語の「読み」「書き」を学習する機会を提供するとともに、指導者の人材を育成する。併せて、市民との異文化交流・啓発の推進を図る。</p> <p>【実施時期】 令和2年4月から令和3年3月</p> <p>【事業内容】</p> <ol style="list-style-type: none"> 生活基盤のための日本語学習活動事業（月2回、2時間） <ul style="list-style-type: none"> (1) 市内で日常生活を行う上での必要な日本語（「読み」「書き」）の学習 ※新型コロナウイルスの影響で6月21日から実施 日本語指導ボランティアの育成事業 <ul style="list-style-type: none"> (日本語指導者養成研修等への参加) (1) 市内在住の外国人等に日本語を伝えるスキルを持ち、積極的に交流している人材の育成 市内行事等での異文化交流、啓発の促進 <ul style="list-style-type: none"> (1) 日本の伝統行事や季節行事の体験や小学生や高校生との異文化交流・啓発の推進 <p>【事業実施主体】 ・日田市日本語教室 代表 渡邊 茂則</p> <p>【スタッフ・生徒等】</p> <table border="0"> <tr> <td>ボランティアスタッフ</td> <td>215名</td> <td>(延べ人数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>生徒（日田市在住外国人）</td> <td>86名</td> <td>(延べ人数)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>市民等</td> <td>33名</td> <td>(延べ人数)</td> <td>(社会教育課)</td> </tr> </table>	ボランティアスタッフ	215名	(延べ人数)		生徒（日田市在住外国人）	86名	(延べ人数)		市民等	33名	(延べ人数)	(社会教育課)
ボランティアスタッフ	215名	(延べ人数)												
生徒（日田市在住外国人）	86名	(延べ人数)												
市民等	33名	(延べ人数)	(社会教育課)											
佐伯市	姉妹都市交流事業 (オーストラリア/ グラッドストーン市)	<p>① グラッドストーン・佐伯 絵画交流展 両市民の作品をそれぞれの市で展示し、絵画をとおして文化の交流を図った。 (グラッドストーン市民の作品) ※佐伯市での展示 令和2年11月13日(金)～11月30日(月) 佐伯市役所1階展示ホール</p>												

佐伯市		<p>※グラッドストーンでの展示 期間未定 グラッドストーン美術館 (佐伯市民の作品)</p> <p>※佐伯市での展示 令和3年5月10日(月)～5月21日(金) 佐伯市役所1階展示ホール</p> <p>※グラッドストーンでの展示 期間未定 グラッドストーン美術館</p> <p>② 図書交流事業 両市のそれぞれの子供たちにお互いの文化に触れてもらうため、絵本を送りあうもの。 国際郵便が引受停止中のため、再開後に郵送予定。(観光課)</p>
	外国語指導助手派遣事業	<p>幼小中学校等に対して外国語指導助手を派遣することにより、英語教育及び国際理解教育の充実と教育国際交流の進展を図った。 実施時期：通年 派遣回数：年間1147回 (学校教育課)</p>
臼杵市	マスク寄贈	<p>2020年6月18日(木)に臼杵市の友好都市である中華人民共和国 敦煌市より「新型コロナウイルス感染症対策に役立てていただきたい」と、マスク5,000枚が寄贈された。 ※臼杵市と敦煌市は、仏教文化遺跡の取り持つ縁で、平成6年9月27日に友好都市の締結を行い、両都市の文化を通じた交流を深めている。 (秘書・総合政策課)</p>
津久見市	R2年度実績なし	
竹田市	ドイツ語教室	<p>竹田市民を対象に初級向けのドイツ語講座を開き、ドイツ語及びドイツに関心を深める取組を実施した。 日 時：毎週 水曜日・木曜日 事業内容：初級者、中級者向けドイツ語教室 (商工観光課)</p>
豊後高田市	外国語指導助手招致事業	<p>JETプログラムによる外国語指導助手2名を招致し、小・中学校での英語教育授業の助手、幼稚園での英会話授業のための活動を実施した。 実施時期：通年 派遣場所：中学校6校、小学校11校、幼稚園2園(市内全校) (学校教育課)</p>
	学びの21世紀塾「いきいき寺子屋活動事業・英会話教室」	<p>外国語に堪能な市民講師等を起用し、英語を使った遊びや身近な会話に慣れ親しむ講座を開設して、子供たちの国際感覚と英語でのコミュニケーション能力の向上を図った。 実施時期：令和2年7月～令和3年3月 会 場：市内6会場 参 加 者：年長児・小学生(希望者のみ) (学校教育課)</p>

豊後高田市	幼稚園英会話活用事業	<p>市内の公立幼稚園2園の園児を対象に、今年度から始まる小学校の英語教科化に向け、ネイティブスピーカーによる英会話を週5日実施した。</p> <p>実施時期：通年 会場：公立幼稚園2園（夢いろ幼稚園、キラリいろ幼稚園） 参加者：幼稚園児（全園児） （学校教育課）</p>
	外国人材の活用による明日につながる共生社会創造事業	<p>令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>【事業の概要】 外国人材との共生、活用の推進と国際交流事業の展開を推進するため、市が実施する「外国人活用事業」「インバウンド誘客促進業務」と連携して下記事業を行った。外国人技能実習制度における監理団体の事業展開と運営基盤の整備、多国籍の在留者の受入環境整備など適正な制度運用を促進したほか、地域で安心・安全に暮らしていけるよう在留者と受入側の地域住民相互が交流し理解を深めることが出来る場を創出した。</p> <p>1. 受入環境整備事業 外国人技能実習生や就労、特定技能等により本市で生活する外国人が、安心安全に生活できるよう労働相談や急な病気や生活の困りごとに対応できる相談窓口（8：30～20：00）の開設を行ったほか、コミュニケーション向上のための語学教室を開催した。</p> <p>★語学教室の開催 日本語教室（ベトナム人向け）14回 日本語教室（ミャンマー人向け）9回 日本語教室（フィリピン人向け）6回 ベトナム語教室 9回 ミャンマー語教室 8回 中国語教室 9回</p> <p>★ミャンマーからの介護人材確保 介護人材の受入ができるよう、別府大学と連携して、受入環境の整備を行った。 10人受入予定 ※2021年5月以降受入予定</p> <p>2. 国際交流促進事業 ベトナム文化を学ぶ講話や図書館でのブース設置、日本の着物とベトナムの伝統衣装アオザイの着用体験の実施など、相互の文化が学べる交流イベント、また、地域の祭りで母国料理の出店や日本の食文化との交流ができる料理教室を開催した。</p> <p>★文化交流イベント開催 ○ベトナム文化講話（3/27） ○ベトナム文化を学ぶ展示ブースの設置（3/17～4/9） ○伝統衣装の着用体験（着物、アオザイ）（3/27） ○地域のお祭りと併せて、ベトナム・ミャンマー・インドネシア料理の出店（3/27）</p> <p>事業主体 豊後高田International Contribution事業協同組合（商工観光課）</p>
杵築市	ごみの出し方	<p>英語版「ごみの出し方」を作成し、市公式ウェブサイトに掲載したほか、窓口で配布した。</p> <p>実施期間：通年 （市民生活課）</p>

杵築市	母子手帳交付	<p>外国語版（英・タガログ・タイ・ポルトガル・ハングル）を交付した。</p> <p>実施期間：通年 （健康長寿あんしん課）</p>
宇佐市	宇佐市高校生短期留学（中止）	<p>次代を担う高校生を海外に派遣し、ホームステイや語学研修などを通じて見聞を広め、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身につけた人材を育成した。</p> <p>（留学先）オーストラリア・クイーンズランド州</p> <p>（内容）①語学学校での英語研修と異文化理解ワークショップ ②ホームステイによる現地での生活体験 ③オーストラリアの歴史・文化・自然体験</p> <p>※新型コロナウイルス感染症により中止 （総合政策課企画調整係）</p>
	両合棚田再生協議会事業	<p>本市の世界農業遺産シンボルスポットとして選定した両合地域の棚田再生に向けた取り組みの一環として、APUの学生に参加を呼びかけ農作業体験会やフィールドワーク等を実施した。</p> <p>（収穫祭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和2年10月中旬 ・参加者 写真愛好家、その他関係者 <p>（感謝祭）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 令和2年11月22日 ・参加者 地元小学生、地域住民 他 <p>※新型コロナウイルス感染症により収穫祭は中止、感謝祭については、学生は不参加となった。 （観光ブランド課ブランド推進係）</p>
	宇佐市中学生短期留学事業（中止）	<p>次代を担う中学生を海外に派遣し、外国での学事業生活体験を通して見聞を広め、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成するために本短期留学事業を実施する。</p> <p>（主催）宇佐市教育委員会</p> <p>（留学先）ハワイ州・オアフ島ミリラニ周辺</p> <p>（留学内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）ホームステイによる現地での生活体験 （2）現地中学校への体験入学 （3）太平洋航空博物館や戦争体験談による平和学習 （4）ミリラニ周辺の視察研修 <p>※新型コロナウイルス感染症対策により中止 （学校教育課指導係）</p>
	ミリラニ中学校（ハワイ州）留学生受け入れ（中止）	<p>ミリラニ中学校（ハワイ州）の生徒を宇佐市の中学校に受け入れることによる文化交流を通して、国際化社会を担う豊かな国際感覚を身に付けた人材を育成するために本事業を実施する。</p> <p>（主催）宇佐市教育委員会</p> <p>（内容）</p> <ul style="list-style-type: none"> （1）中学生との交流（授業体験、体育大会の見学・参加体験） （2）地域の方による文化交流（茶道体験） （3）宇佐平和ミュージアム及び掩体壕跡等戦績見学等による平和学習 （4）宇佐神宮参拝等、日本文化の体験活動

宇佐市		※新型コロナウイルス感染症対策により中止 (学校教育課指導係)
	パールハーバー航空博物館国際交流事業 (中止)	ホノルル市とのフレンドシップシティ(友好都市)協定の締結を契機とした相互交流を発展させるため、12月上旬に同市で開催される高校生の交流イベントに本市の高校生を派遣し、交流促進を図るとともに、パールハーバー航空博物館との情報共有や資料の貸借など密接な交流を継続して行い、建設予定の宇佐市平和ミュージアム(仮称)資料館の将来計画につなげる。 派遣人数:高校生2名、コーディネーター1名 (市内の高校生を対象に参加者の募集を行い、選考会にて参加者を決定する。) ※新型コロナウイルス感染症対策により中止 (社会教育課平和ミュージアム建設準備室)
	友好親善都市交流事業 (中止)	両市のイベントにて交流団を招請し文化紹介するとともに、友好親善都市間の友誼を深め、PRすることを目的とする。 ○安心院フェア「葡萄酒まつり」2020 内 容:慶州市交流団を招請し、イベントでの実演販売、観光PR ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 ○第48回新羅文化祭参加 日 時:10月予定 場 所:慶州市 ※新型コロナウイルス感染症対策のため中止 (秘書広報課多文化共生・交流係)
豊後大野市	韓国機張郡交流事業 (一般・訪問) (中止)	機張郡・豊後大野市の市民の相互交流を推進する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (まちづくり推進課)
	国際キャンプ事業 (中止)	感受性豊かな子どもたちが新しい感覚他異文化を体験し、国際的な視野を広げる。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (まちづくり推進課・社会教育課)
	国際情勢セミナー (中止)	市民の国際感覚の高揚を図る。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (まちづくり推進課)
	中学校国際交流事業 (中止)	次世代を担う青少年の、広い視野及び社会性の確立、並びに国際感覚の養成及び将来の夢の実現への一助になることを目的に1994年から毎年実施している。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (まちづくり推進課・社会教育課)
	放課後チャレンジ教室 (中止)	放課後や土曜日等の休日に、各小学校区単位で、児童の豊かな人間性を育むことを目指して、「学び」や「体験」活動を通じ、将来の夢の実現(キャリア教育)への一助とするために実施する。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 (社会教育課)
由布市	外国語指導助手派遣事業	ALTを2名任用し市内の小学校に配置、外国語指導助手3名を市内の中学校に派遣し小学校外国語活動・中学校英語授業等において国際理解の推進を図った。 実施時期:通年 (学校教育課)

APU留学生との教育 交流事業	市内の小・中学生が総合的な学習の一環として、国際交流と英会話の実践活動を目的にAPUを訪問し交流を行う予定であったが、令和2年度はコロナ禍のため実施できなかった。 (学校教育課)
小学生チャレンジ教室（挟間）	市内小中学生とベトナムからの企業留学生の交流体験活動 7月4日…郷土料理交流会 ベトナム人企業留学生6名 こども教室 こども22名 地域の指導者 8名 内容 ベトナム料理 「生はるまき」 挟間の郷土料理 「やせうま」 両国の郷土料理の講習会を実施し、異文化交流を行った。 7月18日…茶道体験 ベトナム企業留学生 6名 こども教室 こども 28名 地域の指導者 8名 内容 日本の民族衣装の着物の着付け 茶道について お茶・お菓子のいただき方や点て方を学んだ。 (社会教育課)
未来創生塾 （挟間）	中学生を対象に英語のリスニング強化を行った。 6月～3月まで 38回 中学1～3年生の英語レベル スリランカ人の英語講師1名 中学生 10名 (社会教育課)
観光振興事業	外国人観光客誘致に向け、観光拠点施設等へ外国語版パンフレットを配置し、PR活動を実施した。 ※新型コロナウイルス感染症の影響により、小規模に留まった。 ・大分県東京・大阪・福岡事務所（各500部） ・おおいたアンテナショップ温泉座（500部） ・別府管内（約1,000部） ・福岡方面（約1,000部） (商工観光課)
商工振興活性化事業	市内の異業種交流活性化支援として、「はさま興友会」への助成は実施したが、計画していた国際交流会は、新型コロナウイルス感染症の影響により、未開催となった。 (商工観光課)
商工振興活性化事業	外国人の安定的な受入れや定着に向けて、「外国人材活躍推進事業」の補助要綱を作成し、市内事業者に対し周知を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響もあってか、申請件数0件となった。 (商工観光課)
冊子の発行	『世界の人たちと由布だけを見つめてみた』という冊子を発行した。 財団職員の外国人である方が、自分の経験や、由布市内の留学生や在留外国人、それらの方々と関わる日本人の方にインタビューやヒアリングを行った結果をもとに、外国人として日本で困ったこと、日本人に理解してほしいこと、日本人

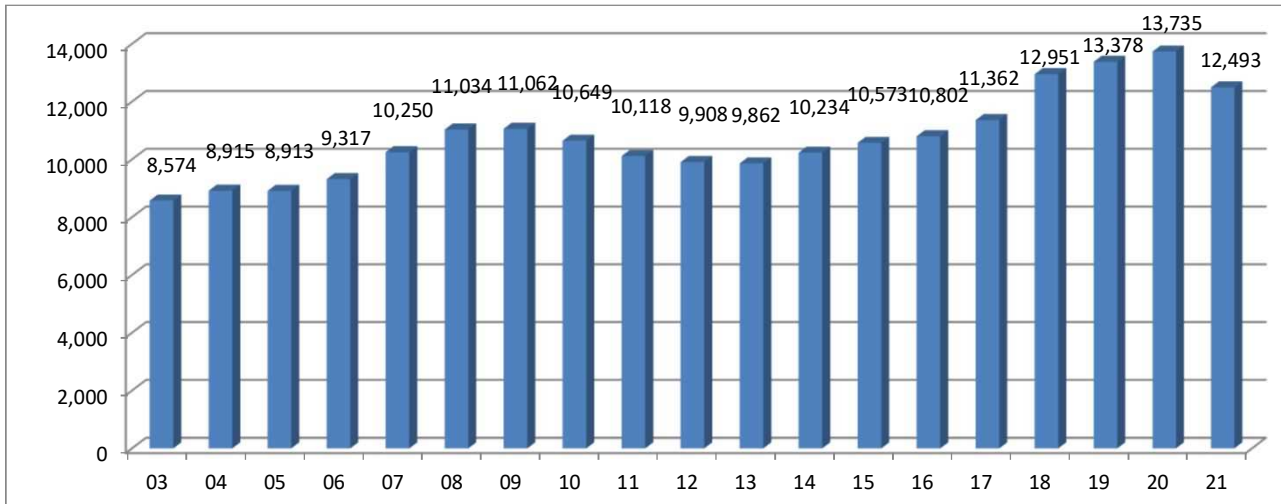
由布市		<p>として外国人を受け入れるときにとまどったこと、工夫を重ねて良い関係性ができたことなど、それぞれの方の経験を踏まえた上でのエピソードや、財団としての国際交流や、相互理解の活動などが丁寧にまとめられている。</p> <p>(公益財団法人人材育成ゆふいん財団)</p>
国東市	<p>国東市官民合同教育文化国際交流事業</p>	<p>官民の連携により、将来の人的、物的交流の展開も視野に入れ、海外への興味や外国人への慣れ、外国語によるコミュニケーション能力の向上など、まずは教育・文化交流を通して国際感覚の醸成を目的とする。</p> <p>①「世界夢一文字コンテスト」</p> <p>目的：自身の「夢」を漢字「一文字」で表現することによって、目標実現に向けての意欲向上や、新たな「夢」の発見、「自己実現」へとつなげる。</p> <p>また、国際交流のコンテンツのひとつと位置付け、参加者は国籍を問わないグローバルな取り組みとし、書道という文化を通じた交流を行う。</p> <p>主催：国東半島あいルネサンス連盟</p> <p>内容：はがきに、漢字「一文字」（毛筆）と理由を書き応募</p> <p>作品募集：令和2年12月20日～令和3年1月20日</p> <p>応募総数：3,700点（国内：2,153点 国外：1,417点）</p> <p>結果発表：令和3年2月17日（水）※郵送にて</p> <p>展示：国東市内2か所で展示</p> <p>※実際に台湾に行き、作品の展示や国東市のPR展示等を予定していたが、コロナ禍のため中止。</p> <p>②「中学生ペンパル事業」</p> <p>目的：同年代の海外の方との交流を通して、海外への興味関心を高めるとともに、外国語によるコミュニケーション能力の向上や異文化交流を目的とする。</p> <p>実施時期：令和2年7月～令和3年3月</p> <p>対象：国東市内の中学校1年生または2年生</p> <p>相手：台湾の3つの中学校の1年生または2年生</p> <p>内容：・手紙の交換 ・住んでいる地域等の紹介</p> <p>・Webメッセージまたはビデオメッセージの交換</p> <p>実績内容：台湾と国東市内の中学校が1対1の手紙交換で親睦を図り、その後、地域紹介やwebメッセージ交換などの取り組みに発展していった。</p> <p>(活力創生課)</p>
姫島村	<p>姫島村青少年健全育成村民会議事業 (中止)</p>	<p>国際理解を深める事や英語学習を目的に大学の英語科教員や学生を「夏休み学習チューター」として招き、中学校を対象に学習を行う。</p> <p>※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止</p> <p>(教育課)</p>
	<p>A L T 来校授業 国際交流事業</p>	<p>ネイティブの発音や対話に触れ、外国語学習や国際理解の向上を目的に国東高校のA L T を招き、小学校・中学生を対象とした英語の授業を行った。</p> <p>中学校</p>

姫島村		<p>実施回数：1学期ごとに1回（年3回）</p> <p>人 数：3年生 13名 2年生 7名 1年生 10名</p> <p>小学校</p> <p>実施回数：8月を除く月1回 （令和2年度実施回数10回）</p> <p>人 数：1年生から6年生まで全校生徒61名</p> <p style="text-align: right;">（教育課）</p>
日出町	学校外国語活動推進事業	<p>小学校3～6学年の外国語活動及び中学校英語科授業において、外国語指導助手2名を配置し、ネイティブの英語に触れるとともに、国際理解教育の充実を図った。</p> <p>実施時期：通年</p> <p>実施対象：町内全小・中学校</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
	日出町イングリッシュ・デイ（中止）	<p>英語に慣れ親しみ、多様な価値観を持った者と協働するグローバル人材たりうる素地を培うきっかけとするため、小学校4～6年生の児童を対象に外国語指導助手等と外国語活動を行う。</p> <p>実施内容：英語を使った歌やゲームなどの体験活動</p> <p>事業実施主体：学校教育課</p> <p>※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により開催中止</p> <p style="text-align: right;">（学校教育課）</p>
九重町	英語指導助手招致事業	<p>町内の小学校3～6年生・中学校の外国語活動の充実のため、ALTを配置した。</p> <p>実施期間：通年</p> <p>実施対象：町内小中学校</p> <p style="text-align: right;">（教育振興課）</p>
	国際交流事業（姉妹校提携）	<p>台湾高雄市の国民中学2校とこのえ緑陽中学校で姉妹校提携を行い、令和2年度についてはクリスマスカード交換などの交流をした。</p> <p style="text-align: right;">（教育振興課）</p>
玖珠町	外国語指導助手招致事業	<p>町内の小中学校における外国語学習及び国際理解教育の充実のため、外国語指導助手を招致、町内小中学校に派遣した。</p> <p>・招致人数：外国語指導助手3名</p> <p style="text-align: center;">（内訳）2名 JETプログラム 1名 町雇用者</p> <p style="text-align: right;">（教育政策課）</p>
	インバウンド観光客対策	<p>外国人観光客とのコミュニケーションのための機材を購入した。</p> <p>・ポケットーク購入：3台</p> <p style="text-align: right;">（企画商工観光課）</p>

多文化共生社会づくりの状況

3 在留外国人登録の状況

令和3年6月末時点の外国人登録者数（登録手続き中含む）は12,493人となり、新型コロナウイルス感染症の国際的な拡大による入国制限の影響を受け、令和2年6月末より1,242人減った。登録者を国籍別に見ると、中国が292人と減り幅が最も大きく、次いで韓国262人、インドネシア180人、フィリピン150人の減となっている。



※2021年のみ国際政策課調べ
2020年以前は法務省在留外国人統計より引用

大分県在留外国人登録者数 12,493人

在留外国人登録国籍別人員

(令和3年6月末時点 国際政策課調べ)

アジア		ヨーロッパ		アフリカ		中南米	
アフガニスタン	35	オーストリア	1	ボツワナ	2	バルバトス	2
ミャンマー	234	ベルギー	3	カメルーン	11	コスタリカ	1
ブータン	1	ブルガリア	2	チャド	2	ドミニカ共和国	3
バングラデシュ	122	チェコ	3	コンゴ民主共和国	3	エルサルバドル	1
カンボジア	158	デンマーク	3	エチオピア	2	グアテマラ	2
スリランカ	303	フィンランド	10	ガーナ	6	ホンジュラス	2
中国	2,340	フランス	22	コートジボワール	1	ジャマイカ	3
台湾	122	ドイツ	13	ケニア	20	メキシコ	27
キプロス	1	ギリシャ	1	リベリア	3	トリニダード・トバゴ	1
東ティモール	5	ハンガリー	2	レソト	1	アルゼンチン	7
インド	116	アイスランド	1	モロッコ	2	ブラジル	60
インドネシア	820	アイルランド	6	モザンビーク	4	チリ	1
イラン	13	イタリア	16	ナイジェリア	18	コロンビア	3
イラク	1	キルギス	5	ルワンダ	8	エクアドル	3
イスラエル	1	カザフスタン	2	セネガル	2	パラグアイ	1
朝鮮	127	リトアニア	1	シエラレオネ	1	ペルー	25
韓国	1,557	モルドバ	1	ソマリア	6	ウルグアイ	1
ラオス	6	オランダ	6	スーダン	1	ベネズエラ	2
マレーシア	45	ノルウェー	10	サントメ・プリンシペ	1	計 (18ヶ国・地域)	145
モンゴル	75	ポーランド	4	タンザニア	3	オセアニア	
モルディブ	2	ポルトガル	2	チュニジア	1	オーストラリア	51
ネパール	469	ルーマニア	6	ウガンダ	8	フィジー	9
パキスタン	51	ロシア	24	南アフリカ共和国	9	キリバス	1
フィリピン	1,511	スペイン	2	エジプト	1	マーシャル	1
シリア	9	スウェーデン	4	ジンバブエ	3	ミクロネシア	2
シンガポール	11	スイス	4	アンゴラ	1	ニュージーランド	20
タイ	218	タジキスタン	32	南スーダン共和国	2	パプアニューギニア	1
トルコ	8	英国	51	計 (27ヶ国・地域)	126	ソロモン	1
ベトナム	3,197	ウクライナ	1	北米		トンガ	13
イエメン	4	ウズベキスタン	25	カナダ	43	サモア	6
パレスチナ	1	ジョージア	1	米国	245	計 (10ヶ国・地域)	105
計 (31ヶ国・地域)	11,563	セルビア	1	計 (2ヶ国・地域)	288		
		計 (32ヶ国・地域)	265				

登録手続き中 1

合計 (120ヶ国・地域) 12,493

4 留学生の状況

大分県には令和2年5月1日現在で94カ国・地域から3,301人の外国人留学生在籍している。都道府県別の人口10万人当たり留学生数は、京都府、東京都に次いで第3位となった。

※使用データ

留学生数：日本学生支援機構外国人留学生在籍状況調査（令和2年5月1日現在）

人口：令和2年国勢調査 人口速報集計結果（令和3年6月25日）

（国際政策課）

a. 大分県の留学生数の推移 （人）

区分	H27	H28	H29	H30	R1	R2
大学・高専	3,380	3,516	3,504	3,626	3,591	3,301
専修学校	157	119	126	205	246	258
計	3,537	3,635	3,630	3,831	3,837	3,559

b. 上位10カ国・地域の前年比較 （人、％）

順位	国・地域	留学生数			
		R2	R1	増減	増減率
1	中国	721	769	△ 48	△ 6.2
2	韓国	623	703	△ 80	△ 11.4
3	インドネシア	399	413	△ 14	△ 3.4
4	ベトナム	339	395	△ 56	△ 14.2
5	タイ	227	259	△ 32	△ 12.4
6	ネパール	110	95	15	15.8
7	バングラデシュ	108	117	△ 9	△ 7.7
8	台湾	100	99	1	1.0
9	スリランカ	94	99	△ 5	△ 5.1
10	インド	83	85	△ 2	△ 2.4

c. 人口10万人当たりの留学生数(都道府県別)

(大学・大学院・短期大学・高等専門学校)

(人、%)

令和2年度			令和元年度		増減数	増減率
1	京都	422.3	1	423.6	△ 1.3	△ 0.3
2	東京	305.8	2	318.6	△ 12.8	△ 4.0
3	大分	293.4	3	316.4	△ 23.0	△ 7.3
4	福岡	169.5	5	177.2	△ 7.7	△ 4.3
5	山口	148.8	6	155.1	△ 6.3	△ 4.1
6	石川	135.1	8	144.6	△ 9.5	△ 6.6
7	群馬	127.6	4	257.6	△ 130.0	△ 50.5
8	茨城	125.9	7	154.4	△ 28.5	△ 18.5
9	岡山	115.2	9	121.7	△ 6.5	△ 5.3
10	大阪	107.0	11	108.9	△ 1.9	△ 1.7
全国平均		107.8		115.8	△ 8.0	△ 6.9

d. 大分県の国・地域別留学生数

(人)

順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数	順位	国・地域	留学生数
1	中国	721	30	サモア独立国	5	58	コートジボワール	1
2	韓国	623	30	トンガ	5	58	ジンバブエ	1
3	インドネシア	399	30	オランダ	5	58	南アフリカ	1
4	ベトナム	339	35	ソマリア	4	58	コモロ	1
5	タイ	227	35	ドイツ	4	58	ボツワナ	1
6	ネパール	110	35	イタリア	4	58	レソト	1
7	バングラデシュ	108	38	ブータン	3	58	アンゴラ	1
8	台湾	100	38	ナイジェリア	3	58	モザンビーク	1
9	スリランカ	94	38	カメルーン	3	58	シエラレオネ	1
10	インド	83	38	ルワンダ	3	58	ブルンジ	1
11	モンゴル	59	38	ニュージーランド	3	58	パプアニューギニア	1
12	ウズベキスタン	58	38	ドミニカ共和国	3	58	フィジー	1
13	アメリカ合衆国	49	38	カザフスタン	3	58	ミクロネシア	1
14	マレーシア	43	45	東ティモール	2	58	キリバス	1
15	ミャンマー	30	45	イラン	2	58	ソロモン諸島	1
16	カンボジア	16	45	シリア	2	58	バヌアツ	1
17	フィリピン	15	45	イエメン	2	58	クック諸島	1
18	パキスタン	13	45	リベリア	2	58	エルサルバドル	1
18	メキシコ	13	45	モロッコ	2	58	ブラジル	1
20	タジキスタン	10	45	エチオピア	2	58	バルバドス	1
21	ノルウェー	9	45	コスタリカ	2	58	アイスランド	1
21	英国	9	45	エクアドル	2	58	デンマーク	1
23	シンガポール	8	45	スイス	2	58	ベルギー	1
23	アフガニスタン	8	45	ポーランド	2	58	スペイン	1
23	オーストラリア	8	45	チェコ	2	58	ポルトガル	1
23	カナダ	8	45	ハンガリー	2	58	オーストリア	1
27	フィンランド	7	58	ラオス	1	58	ブルガリア	1
28	ケニア	6	58	トルコ	1	58	ロシア	1
28	フランス	6	58	イスラエル	1	58	リトアニア	1
30	ガーナ	5	58	タンザニア	1	58	キルギス	1
30	ウガンダ	5	58	コンゴ民主共和国	1	58	ジョージア	1
						58	キプロス	1
						58	無国籍(不明等)	1
	計						94ヶ国・地域	3,301

※この調査でいう「留学生」とは、「出入国管理及び難民認定法」に定める「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校において教育を受ける外国人学生をいう。

e. 留学生の県内就職者数(法務省)

(人)

平成25年	平成26年	27年	28年	29年	30年	令和元年
40	64	95	52	68	42	106

留学生の「就職先企業等所在地別許可人数」(法務省)

5 大分県芸術文化スポーツ振興財団(おおいた国際交流プラザ)の事業

事業名	事業内容
コミュニケーション支援事業	<p>○FREE TALK CLASS 大分県国際交流員と県民との交流（英語・韓国語） 指定した金曜日の午後120分 ・ 計13回 ・ 参加者130人</p> <p>○HP「おおいた国際交流プラザ」の運営(日・英・中) 大分県民・外国人住民への情報提供</p> <p>○多言語携帯メールの配信(日・英・中・やさしい日本語) 主として外国人住民への情報提供 (52本)</p> <p>○プラザ・大分県外国人総合相談センター併合広報紙の発刊（令和元年7月～） 8ページ・季刊・1000部、令和元年7月・9月・12月・2年3月発行、市町村・関係団体・関係者に配布</p>
在住外国人の生活支援事業	<p>○大分県外国人総合相談センター 相談件数476件</p> <p>①センター相談 令和2年4月1日～令和3年3月31日 10時～17時、268日開所</p> <p>②専門家相談 毎週土曜日 13時～17時 48回</p> <p>③外国語相談 ・中国語 毎週木曜日 10時～13時 49回 ・タガログ語 月2回 13時～16時 25回</p> <p>○登録ボランティアの手配・派遣 通訳：8件</p> <p>○日本語ボランティア研修</p> <p>①県北地区（ビギナー編・スキルアップ編） ・開催日 令和2年10月31日・11月7・8日・12月5・6・19日 ・場所 中津市新中津市学校・中津文化会館 ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター長 本田教授 ・参加者 41名 (実習編 外国人学習者日本語おしゃべり会)</p> <p>・開催日 令和3年3月7日 ・場所 宇佐市勤労者福祉センターさんさん館 ・参加者 46名</p> <p>②中部地区（ビギナー編・スキルアップ編） ・開催日 令和3年1月23・24・31日・2月2・7・13日 ・場所 大分県立美術館 ・講師 立命館アジア太平洋大学言語教育センター長 本田教授 ・参加者 41名</p>
多文化共生の地域づくり事業	<p>○国際理解講座</p> <p>①アフガニスタン編 ・開催日 令和3年1月30日 ・場所 iiichiko総合文化センター ・講師 立命館アジア太平洋大学大学院研究生 JICA派遣研修員 ・参加者 27名</p>
基本的な情報の収集と提供	<p>○おおいた国際交流プラザ交流スペースの運営</p> <p>○おおいた国際交流プラザギャラリー展(常設)</p> <p>・期間 令和2年4月1日～令和3年3月31日</p> <p>・出展者 県内各国際交流団体等</p> <p>・場所 おおいた国際交流プラザ ギャラリー</p>
多文化共生意識の醸成事業	<p>○新型コロナウイルス感染症対策のため事業中止</p>
他機関との連携・支援事業	<p>○地域国際化協会としての事業を推進 地域の中核的民間国際交流組織として総務省が認定する「地域国際化協会」の事業を推進</p> <p>○国際協力推進員の配置 青年海外協力隊等JICA事業の窓口として、国際協力推進員1名を配置</p> <p>○日本国際連合協会大分県本部機能 同協会の県本部事務</p> <p>○県内の大学との連携 例年受け付けているインターンシップ・出張講義は新型コロナウイルス感染症対策のため中止</p>
その他の国際交流の取組	<p>○新型コロナウイルス感染症対策のため交流団体が事業を中止</p>

6 大分県外国人総合相談センター概要

○開設日 令和元年6月27日

○所在地 大分市高砂町2-33iichiko 総合文化センターB1F(おおいた国際交流プラザ内)

○窓口時間 10:00～17:00 月曜日～土曜日(日・祝日、第2・第4月曜日、及び年末年始を除く)

○業務内容

(1)多言語相談

県内在住外国人や外国人に関わる人からの仕事や生活等の疑問や悩みに対し、相談員が窓口・電話・メールで対応。定期的に法律の専門家による専門相談、中国人とフィリピン人の相談員による中国語とタガログ語相談を実施。

【対応言語】英語、中国語、韓国語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、タイ語など全19言語

(2)研修会の実施

外国人相談の窓口となる地方公共団体及び関係機関等の職員に対し、相談業務に関する研修会を実施。

(3)情報発信

ホームページ、メール、パンフレットにて、外国人や外国人を雇用している企業等に向けて関係情報を発信。

○実績

内容	令和2年度
相談件数	476件(R2.4.1～R3.3.31)
市町村巡回相談	30回
相談対応研修会	6回

7 特定非営利活動法人 大学コンソーシアムおおいたの令和2年度事業

		事業概要	令和2年度実績
生活支援	住宅保証人制度	留学生が借りる賃貸物件の保証人（機関保証）	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度の新規案件 41件 上記含む保証中案件 58件
	生活資金貸付制度	留学生への生活資金の貸付	<ul style="list-style-type: none"> 通常貸付 新規貸付0件。残債0件。 コロナ禍特例貸付 新規貸付44件。返済中36件。
	リユース物品紹介	一般の方から寄せられる家具や家電を留学生へ紹介	<ul style="list-style-type: none"> 取扱い物品数2件、引き渡し0件
地域活動支援	人材情報バンク アクティブネット(AN)	アクティブネットシステムの管理運営	<ul style="list-style-type: none"> 留学生登録 1,240人、活用者登録 733件 (R2年3月31日現在) ANを通じて活動した件数 延べ297件
地域交流支援	大分市おでかけイングリッシュ派遣事業 (大分市委託事業)	大分市内の幼保こども園で英語活動を実施	<ul style="list-style-type: none"> 延べ19園へ、延べ163人を派遣 英語よみきかせや歌、ダンス等
	別府市国際理解教室派遣事業 (別府市委託事業)	別府市内の市立小学校、中学校へ留学生講師を派遣	<ul style="list-style-type: none"> 別府市内の小中学校・児童クラブ等へ延べ23回、延べ113人を派遣
	大分県日米草の根交流推進事業 (大分县委託事業)	大分県内のホストファミリーと留学生をマッチング	<ul style="list-style-type: none"> 豊後高田市田染の荘地域へ、コロナ禍のため少人数日帰りでのディトリップを計3回実施。 留学生延べ17名、地域関係者延べ17名参加。
	留学生が教える語学教室	留学生が講師となる語学教室を開講	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍により前期5言語18クラスは中止。 後期は受講生数をおさえ、大分会場・別府会場で5言語18クラスを開講、受講生130人
	国際文化交流 (食文化交流)	留学生が母国料理を照会する料理交流会を開催	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため料理交流は中止。 大分市と共催で、オンラインにて1回開催。一般参加者14人、留学生参加者3人。
	中学生むけ英語サマースクール	夏休みに2日間の英語サマースクールを実施	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため中止。
	OITA学生提言フェスタ	留学生と地域住民との交流、留学生理解・相互交流の会	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため中止。

		事業概要	令和2年度実績
留学生の就職支援	BJTビジネス日本語能力テスト受験料助成	ビジネス場面での日本語能力をはかるBJT受験の費用を一部助成	・受験料の一部2,100円を計7人に補助
	大分県留学生ビジネスセンターの管理運営業務委託事業 (大分県委託事業)	就職・起業支援の施設を管理運営する。 就職・起業支援事業を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・就職相談、雇用相談 ・施設の管理運営 ・インターンシップ支援 ・県内スタディツアー・企業見学の実施（4回） ・企業と留学生の交流会開催（6回） ・在留資格セミナー（1回） ・留学生就職ガイドブックの作成 ・外国籍社員合同研修会（2回） ・行政書士による相談会の実施（月1回） ・先輩起業家との交流会（4回） ・連続起業基礎講座の開催（12回） ・未来の社長塾を開催、塾生5名の育成 ・IM相談・起業相談
その他事業	大分県地域グローバル人材育成・定着協議会事務局	トビタテ留学ジャパンの地域人材コースを実施する事務局を運営	<ul style="list-style-type: none"> ・大分の特色ある留学コースで、海外へ留学する日本人学生に対し、トビタテ留学ジャパンの事務手続きを実施。 ・コロナ禍のためトビタテ留学生の選考及び留学は中止。

8 おおいた留学生ビジネスセンター概要

愛称 SPARKLE (スパークル)

○開設日 平成28年10月15日

○所在地 別府市京町11-8 APU PLAZA OITA 2階

○窓口時間 10:00~20:00 火曜日~土曜日 (日・月・祝日休み)

○目的

(1) 留学生等の県内における起業・就職支援

(2) 留学生等と県内企業等との協働を推進

○施設概要

(1) 起業支援室 (個室2室、ブース席10席)

(2) 交流スペース

(3) 和室 (1室)

(4) 料理室 (1室)

(5) セミナールーム (2室)

○サービス内容

(1) 設備インフラ 無料Wi-Fi、複合機、プロジェクター、PC、タブレット等

(2) 相談対応 スタッフによる相談受付

専門家による定期無料相談会

・ 起業相談 (毎週1回)

・ 在留資格 (ビザ) 相談 (毎月1回)

○利用実績

	令和元年度	令和2年度
(1) 延べ利用者数	4,499人 (月平均約375人)	3,216人 (月平均約268人)
(2) 相談対応件数	142件	235件
(3) 主催、共催事業		
・ 先輩起業家との交流会	4回実施、参加者数94人	4回実施、参加者数123人
・ 企業と留学生の交流会	5回実施、参加者数193人	9回実施、参加者数342人
・ 留学生の県内企業見学会	2回実施、参加者数40人	4回実施、参加者数67人

国際交流の状況

9 姉妹都市・友好都市提携交流、友好交流提携の状況

市町村名	国名	都市名	提携年月日
大分市	中華人民共和国	湖北省武漢市	1979年 9月 7日
	ポルトガル共和国	アベイロ市	1978年10月10日
	アメリカ合衆国	テキサス州オースチン市	1990年10月30日
別府市	大韓民国	全羅南道木浦市	1984年10月 1日
	アメリカ合衆国	テキサス州ボーモント市	1985年 5月20日
	中華人民共和国	山東省烟台市	1985年 7月26日
	ニュージーランド	ロトルア市	1987年 7月10日
	英国	バース市	1994年10月31日
日田市	中華人民共和国	江蘇省蘇州市呉県	1992年 6月 1日
	イスラエル国	メギド市	1970年 2月11日
	カメルーン共和国	メヨメサラ市	2003年 5月25日
	ドイツ連邦共和国	ルブツ町	2003年 2月 1日
佐伯市	中華人民共和国	河北省邯鄲市	1994年 4月 3日
	オーストラリア連邦	グラッドストーン市	1996年 9月 4日
臼杵市	スリランカ民主社会主義共和国	キャンディー市	1967年 2月27日
	中華人民共和国	甘肅省敦煌市	1994年 9月27日
竹田市	パラグアイ共和国	サンロレンソ市	1973年10月28日
	ドイツ連邦共和国	バート・クロツィンゲン市	1989年11月23日
	ドイツ連邦共和国	バートナウハイム市	1989年11月23日
	台湾	高雄市田寮区	2017年1月13日
宇佐市	大韓民国	慶尚北道慶州市	1992年 7月 3日
	アメリカ合衆国	ハワイ州ホノルル市郡	2019年10月1日

交流協定

市町村名	国・地域	都市名	提携年月日
大分市	中華人民共和国	広東省広州市	1997年10月 9日
別府市	大韓民国	済州特別自治道済州市	2003年 1月17日
中津市	台湾	台中市	2017年 2月 9日
佐伯市	アメリカ合衆国	ホノルル市	2003年12月 8日
豊後大野市	中華人民共和国	湖北省武漢市花山鎮	1980年 9月 7日
	〃	湖北省荊州市荊州区	1994年 9月26日
	大韓民国	釜山広域市機張郡長安邑	2003年 9月19日
	〃	全羅北道益山市	2005年 8月22日

(県関係) 友好交流協定一覧

大分県

知事と林佳龍市長との友好交流に関する覚書	2016年9月8日	台湾台中市
日本フェンシング協会（サーブル）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2017年12月20日	大分市
ラオスパラリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2018年3月26日	大分市
日本フェンシング協会（サーブル）との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2018年5月18日	大分市
マレーシア国立スポーツ研究所との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2018年7月2日	大分市
ポルトガル陸上競技連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2018年10月4日	大分市
モンゴル国テコンドー協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2019年9月30日	大分市
フィジー共和国オリンピック委員会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2019年10月8日	大分市
スイス連邦パラリンピック陸上連盟との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2019年11月18日	大分市
イタリア共和国フェンシング協会との東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に関する覚書（協定書）	2020年1月30日	大分市
大分県とSAPジャパン株式会社、SAP Academyとの相互協力協定	2019年8月27日	米国カリフォルニア州サン・ラモン市

大分県企画振興部

大分県観光・地域振興局長と中華人民共和国江蘇省無錫市、宜興市、江陰市の各旅游局長との観光交流に関する協定	2005年4月29日	中華人民共和国江蘇省無錫市
大分県企画振興部長と中華人民共和国江蘇省蘇州市旅游局長との観光交流に関する協定	2006年7月15日	中華人民共和国江蘇省蘇州市
大分県企画振興部長と中華人民共和国上海市外事弁公室副主任との友好交流に関する覚書	2008年11月11日	中華人民共和国上海市
大分県企画振興部長と台湾台中市観光旅遊局長との観光友好交流連携に関する協定	2015年11月27日	台湾台中市

大分県福祉保健部

大分県福祉保健部とU International Human Co.,Ltdとの介護分野における協力に関する覚書	2019年8月23日	大分市
--	------------	-----

大分県商工観光労働部

大分県観光局とCtripの連携に関する協定書	2019年9月10日	大分市
------------------------	------------	-----

大分県教育委員会

日本国大分県教育委員会と大韓民国忠清南道教育庁との教育・文化・スポーツ等に関する友好交流宣言	1997年6月9日	
--	-----------	--

その他

・大分県L S I クラスター形成推進会議（顧問：知事、理事：商工労働部長）

韓国オチャン半導体クラスターとのビジネス交流推進に係る覚書	2010年8月23日	大分市
（社）台湾電子設備協会とのビジネス交流推進に係る覚書	2011年11月7日	大分市
（社）亀尾中小企業協議会（韓国）との産業交流の推進に向けた覚書（MOU）	2013年10月17日	大分市

・（一社）大分県工業連合会

金属工業研究発展中心（台湾）とのビジネス交流覚書（ものづくり分野）	2013年10月1日	大分市
日韓ビジネス交流及びグローバル人材育成に関する覚書	2016年9月30日	大分市、韓国
一般社団法人大分県工業連合会と臺中市金手奨得奨廠商協進會の間の覚書	2019年7月24日	大分市

・（公財）ハイパーネットワーク社会研究所（評議員：商工労働部長、理事：情報政策課長）

韓国（財）慶南テクノパークとの相互交流の覚書	2013年2月27日	大分市
------------------------	------------	-----

10 教育機関の姉妹校・協定校提携の状況

●教育機関

教育機関名	姉妹提携先	所在地	提携年月日
大分県教育委員会	韓国忠清南道教育厅	韓国忠清南道	平成9年6月9日

●小学校

学校名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立植田学園 (旧 大分市立住吉小学校)	武昌実験小学校	中国湖北省武漢市	昭和54年11月16日
大分市立西の台小学校	一元路小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日
大分市立森岡小学校	育才第二小学校	中国湖北省武漢市	平成4年12月4日

●中学校

学校名	姉妹校名	所在地	提携年月日
大分市立明野中学校	武漢市外国語学校	中国湖北省武漢市	昭和55年
大分市立大分西中学校	武漢市第六中学校	中国湖北省武漢市	平成7年9月25日
大分市立植田中学校	武漢市第二寄宿学校	中国湖北省武漢市	平成12年10月17日
国東市(安岐町)立安岐中学校	彦州中学校	韓国ソウル特別市	平成12年1月7日
佐伯市立佐伯城南中学校	ツルーアハイスクール	オーストラリアクイーンズランド州	平成12年8月13日
大分大学教育福祉科学部附属中学校	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランドロトルア市	平成8年9月27日
日出町立大神中学校	慶安中学校	韓国安東市	平成30年7月18日
九重町立このえ緑陽中学校	大灣国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日
	鳳山国民中学	台湾高雄市	令和元年12月9日

●高等学校

学校名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
別府翔青高等学校 (旧 別府羽室台高等学校)	ウェスタンハイツハイスクール	ニュージーランドロトルア市	平成14年6月11日
明豊高等学校 (明豊中学校含む)	鶴山女子高等学校	韓国釜山広域市	平成12年4月5日
	馬山第一女子中学校	韓国馬山市	平成13年2月15日
	論山大建高等学校	韓国論山市	平成13年7月10日
	昌信高等学校	韓国馬山市	平成15年7月23日
	ルネ・ゴス高等学校	フランスクレルモン・フェラン	平成15年2月27日
	海雲台観光高等学校	韓国釜山広域市	平成15年12月2日
	ジョン・ポール・カレッジ	ニュージーランド・ロトルア市	平成16年2月10日
	又松高等学校	韓国大田広域市	平成17年4月4日
	稲江高級商業職業学校	台湾台北市	平成17年6月6日
	権英学塾	韓国大邱広域市	平成17年9月8日
	治平高級中学	台湾桃園市	平成18年5月17日
	新民高級中学	台湾台中市	平成19年7月25日
	大分舞鶴高等学校	ロップリー科学高校	タイロップリー県
ラグビー校		イギリスウォリックシャー群	平成29年3月22日
大分商業高等学校	木浦女子商業高校	韓国木浦市	平成28年10月28日
竹田高等学校	ニュージーランドフライバーク高等学校	ニュージーランドバーマストンノース市	平成12年7月31日
	ディケイタ高等学校	アメリカジョージア州アトランタ市	平成13年4月4日
由布高等学校	嶺西高等学校	韓国江原道	平成18年11月21日
	小港高級中学	台湾高雄市	平成29年3月2日
楊志館高等学校	富平高等学校	韓国仁川広域市	昭和63年11月2日
	台湾開南高級商工職業学校	台湾台北市	平成3年11月6日
	北京月壇中学校	中国北京市	平成10年9月30日
福德学院高等学校	武漢商業服務学院	中国武漢市	平成3年5月24日
別府溝部学園高等学校	弘明高等学校	韓国蔚山郡	平成2年7月28日
	大明女子高等学校	韓国釜山広域市	平成2年11月9日
	烟台市业余体育学校	中国烟台市	平成7年5月19日
	孝星女子情報産業高校	韓国慶尚北道	平成8年10月25日
岩田高等学校	信男教育学園上海文来高級中学国際部	中国上海市	平成27年12月14日
柳ヶ浦高等学校	慶州女子情報高等学校	韓国慶州市	令和元年7月26日
	ERDEMIIN SAN SCHOOL	モンゴルオルホン県	令和元年11月26日
	DALAIVAN SCHOOL	モンゴルブグスクル県ムルン市	令和元年12月24日
	NEW ERA INTERNATIONAL SCHOOL	モンゴルウランバートル	令和3年2月23日

●県立大学

学校名	姉妹校・協定校名	所在地	提携年月日
大分県立看護科学大学	ソウル国立大学校看護大学	韓国ソウル特別市	平成11年9月13日
	ケース・ウェスタン・リザーブ大学	アメリカ オハイオ州	平成10年7月14日
	ペース大学	アメリカ ニューヨーク州	平成10年9月16日
	蔚山大学	韓国蔚山広域市	平成29年7月18日
	ムハマディア大学ジョグジャカルタ校	インドネシア ジョグジャカルタ州	令和元年8月1日
	仁荷大学校	韓国仁川広域市	令和元年12月23日
大分県立芸術文化短期大学	ソウル市立大学校	韓国ソウル特別市	平成19年3月22日
	江漢大学	中国・武漢市	平成21年2月20日
	クライストチャーチ・ポリテクニク工科大学	ニュージーランド・クライストチャーチ市	平成21年12月15日
	東国大学校	韓国ソウル特別市	平成25年11月19日
	釜山外国語大学	韓国釜山広域市	平成26年10月8日
	クランタン大学	マレーシア クランタン州	平成28年10月19日
	サンアンドレス大学	ボリビア ラパス市	平成31年1月25日

1.1 語学指導等を行う外国青年招致事業(JETプログラム)の状況

「語学指導等を行う外国青年招致事業」(JETプログラム:The Japan Exchange and Teaching Programme)昭和62年に始まり、総務省、文部科学省、外務省と財団法人自治体国際化協会(CLAIR)の協力の下、地方自治体によって運営されており、地方公共団体等が外国青年を招致することによって、外国語教育の充実と地域レベルの草の根の国際交流の進展を図ることを目的としている。

県内では、県庁及び市町村で国際交流員(CIR)が国際交流活動等に従事し、小・中学校や高等学校で外国語指導助手(ALT)が語学指導を行っている。

(国際政策課)

* 国別JET青年数の推移

(単位:人)

年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
国名												
中国	CIR	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1
韓国	CIR	1	2	2	2	3	3	3	3	3	2	2
アメリカ	CIR	1	-	-	-	-	-	1	1	-	-	2
	ALT	46	49	48	39	39	39	43	56	61	57	59
イギリス	CIR	-	-	-	-	-	1	1	1	2	2	-
	ALT	5	4	7	7	7	9	7	3	5	5	14
カナダ	CIR	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ALT	11	10	10	14	14	12	10	9	9	10	12
オーストラリア	CIR	-	1	1	1	1	-	-	-	1	1	1
	ALT	4	4	4	6	6	7	8	6	6	10	8
ニュージーランド	CIR	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	ALT	5	6	4	3	3	4	5	5	7	9	5
	SEA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
アイルランド	ALT	4	3	3	3	3	2	2	1	1	3	2
フランス	CIR	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
ドイツ	CIR	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
ポルトガル	ALT	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
シンガポール	ALT	3	2	2	1	1	1	1	1	1	3	3
トリニダード・トバゴ	ALT	1	1	1	-	-	-	-	-	1	1	1
ジャマイカ	ALT	-	-	-	-	-	-	1	2	2	3	3
南アフリカ	ALT	2	2	1	2	2	2	-	-	-	2	3
フィジー	ALT	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1
フィリピン	ALT	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
合計	CIR	7	8	6	5	6	6	7	7	8	7	7
	ALT	81	81	80	75	75	76	77	84	95	105	112
	SEA	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1
計		88	89	86	80	81	82	84	91	104	113	120

全国計	4,436	4,330	4,360	4,372	4,476	4,786	4,952	5,163	5,528	5,234	-
-----	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	-------	---

* J E T プログラム参加者配置状況

① 国際交流員

(単位：人)

年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
配置先												
県	国際政策課	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	芸術文化短期大学	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
県計		4	4	4	3	3	4	4	4	4	4	4
市 町 村	中津市	—	—	—	—	1	1	1	1	1	—	—
	日田市	2	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	佐伯市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	竹田市	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	豊後大野市	—	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	別府市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	1
	市町村計	3	4	2	2	3	3	3	3	4	3	3
国際交流プラザ		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
国際交流員 計		7	8	6	5	6	6	7	7	8	7	7

② 語学指導助手

(単位：人)

年度		22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2
配置先												
県 教育 庁	高校教育課 (県立高校)	32	31	30	26	26	27	26	26	26	26	31
	教育事務所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
県計		32	31	30	26	26	27	26	26	26	26	31
市 町 村	大分市	14	15	15	15	15	15	16	21	26	31	31
	別府市	4	4	4	4	4	4	4	4	5	6	7
	中津市	5	5	5	5	5	5	6	6	7	7	7
	日田市	5	5	5	4	4	4	4	4	5	5	5
	佐伯市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	臼杵市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
	津久見市	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	竹田市	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3
	豊後高田市	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2
	杵築市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3
	宇佐市	3	4	4	4	4	4	4	4	4	5	6
	豊後大野市	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	由布市	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	国東市	2	2	2	2	2	2	2	2	2	4	4
	日出町	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	2
	九重町	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
玖珠町	1	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	
市町村計		47	48	48	47	47	47	47	55	66	77	111
私立 学校	大分高校	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1
	大分東明高校	—	—	—	—	—	—	—	1	1	1	1
	藤蔭高校	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
私立学校計		2	2	2	2	2	2	2	3	3	2	2
語学指導助手 計		81	81	80	75	75	76	77	84	95	105	120

12 海外の大分県人会の状況

令和3年3月31日現在、25団体(17か国1地域)の海外大分県人会が活動しており、現地での親睦を深めています。各県人会の連絡先は、県国際政策課までお問い合わせください。

地域		国・地域名	会の名称	設立年	会員数
東アジア (7団体)	1	中国 (北京)	北京大分県人会	2013年 (平成25年)	30
	2	中国 (上海)	上海大分県人会	2000年 (平成12年)	77
	3	中国 (大連)	大連大分県人会	2012年 (平成24年)	30
	4	中国 (香港)	香港大分県人会	1991年 (平成3年)	20
	5	台湾 (台北)	台湾大分県人会	1997年 (平成9年)	26
	6	台湾 (台中)	台中大分県人会	2015年 (平成27年)	10
	7	韓国	韓国大分県人会	2000年 (平成12年)	55
東南アジア (8団体)	1	マレーシア	マレーシア大分県人会	1997年 (平成9年)	25
	2	タイ	タイ国大分県人会	2006年	20
	3	インドネシア	めじろんザビエル会	2010年 (平成22年)	20
	4	シンガポール	シンガポール大分県人会	1985年 (昭和60年)	30
	5	ミャンマー	ミャンマー大分県人会	1996年 (平成8年)	12
	6	ベトナム (ハノイ)	ハノイ大分県人会	2014年 (平成26年)	15
	7	ベトナム (ホーチミン)	ホーチミン大分県人会	2014年 (平成26年)	15
	8	フィリピン	フィリピン大分県人会	2015年 (平成27年)	7
北米 (4団体)	1	米国 (ニューヨーク)	ニューヨーク大分県人会	2011年 (平成23年)	20
	2	米国 (ロサンゼルス)	南加大分県人会	1917年 (大正6年)	30
	3	カナダ (バンクーバー)	カナダ大分県人会	(不明)	30
	4	カナダ (オンタリオ)	オンタリオ大分どげえ会	2013年 (平成25年)	10
欧州 (1団体)	1	英国	英国大分県人会 ～吉四六クラブ～	2006年 (平成18年)	38
南米 (5団体)	1	ブラジル	ブラジル大分県人会	1952年 (昭和27年)	400
	2	パラグアイ	パラグアイ大分県人会	1973年 (昭和48年)	10
	3	ペルー	ペルー大分県人会	1919年 (大正8年)	80
	4	アルゼンチン	アルゼンチン大分県人会	1966年 (昭和41年)	42
	5	ボリビア	ボリビア大分県人会	1974年 (昭和49年)	6

13 大分県海外親善大使、めじろんサポーターの状況

【大分県海外親善大使】

海外において、本県の知名度向上等に尽力している企業経営者等を「大分県海外親善大使」に委嘱し、本県の海外戦略や相手国・地域との交流を促進しています。

- 張 浩帆（ちょう こうはん）氏・・・ 中華人民共和国（湖北省） 平成23年10月任命
- 呂 恵光（ろ けいこう）氏・・・ 中華人民共和国（香港） 平成23年11月任命
- 袁 文英（えん ぶんえい）氏・・・ 中華人民共和国（香港） 平成28年3月任命

【めじろん海外サポーター（旧めじろん海外特派員）】

本県の知名度向上や各国・地域との交流を促進するため、平成23年度から、県内の大学等を卒業予定の留学生並びに本県が受け入れた国際交流員や外国語指導助手等で、離県後も本県との懸け橋となる方を「めじろんサポーター」に任命しています。令和2年度は、新たに6名（留学生OB6名）をめじろん海外サポーターに任命しました。

（人）

	中国 (湖北省)	中国 (上海市)	中国 (河北省)	中国 (広東省)	中国 (その他)	香港	台湾	韓国	タイ	ベトナム	シンガポール	マレーシア	インドネシア	ミャンマー	アメリカ	イギリス	カナダ	オーストラリア	ジョージア	ブラジル	対象計
留学生OB	3	5	1	1	4		1	6	8	5	2	3	7	1					1		48
ALT															10	1	1	1			13
CIR	8	1						2							1	1		1			14
その他	7					1									1	1				10	20
地域計	18	6	1	1	4	1	1	8	8	5	2	3	7	1	12	3	1	2	1	10	95

（令和3年3月末現在）

1.4 大分県の地域間交流の状況

世界に開かれた大分県をつくり、地域に活力や競争力を生み出すため、地理的、歴史的、経済的に関係の深い東アジアを中心に、多くの分野で連携を強化し、地域間交流を深めている。

ア 国際大会による交流

● 第1回アジア・太平洋水サミット（2007年12月開催）

世界56カ国・地域から各国首脳を含む371名が本県を訪れ、アジア・太平洋地域が直面する水問題について広範で具体的な議論が行われた。

● A P E C 成長戦略ハイレベル会合（2010年8月開催）

海外から5名の閣僚級を含む国・地域の代表と国際機関や学会、産業界から約200名が参加し、A P E C 成長戦略の理念と実行について共有した。

● 2012大分日本語サミット（2012年7月開催）

世界12カ国から日本語を学ぶ青少年を招へいし、平和のためにできることは何かについて、日本語で発表・討論を行った。

● アジア・太平洋国会議員連合（A P P U）総会（2017年9月開催）

世界9カ国から各国議員等74名が本県を訪れ、自由と民主主義に基づくアジアの平和と安定を目的とした議員外交の場である「アジア・太平洋国会議員連合」総会を開催した。

● 世界温泉地サミット（2018年5月開催）

温泉資源の活用や地域発展の可能性について議論や情報交換を行うことを目的に開催。基調講演や事例発表ののち、3つの分科会において各分野の議論を深め、成果として「世界温泉地サミット宣言」を採択。1,000名を超える参加者があり、海外からは16カ国17地域から86名が参加した。

イ 地域別交流

【アジア】

● 中華人民共和国との交流

2003年 4月	上海市人民对外友好協会協議団来県。 上海市サッカー競技会競技場視察団が来県。
7月	北京大分県人会発足。
8月	中国西安市経済視察団が知事を表敬するとともに、県内を視察。
9月	中日平和友好条約締結25周年及び中国国慶節祝賀会が中華人民共和国駐福岡総領事館の主催で行われる。 上海高級管理幹部培訓考察団（団長 上海市人民政府人事局 局長 孫路一）が副知事を表敬訪問し、県内を視察。
10月	第13次武漢市友好訪問団（団長 程 康彦（武漢市人民政府高級顧問・武漢市党委員会副書記））15名が来県、副知事を表敬訪問。 知事を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市を訪問。
12月	上海市幹部教育中心日本研修視察団来県、県内視察。

2004年 4月	知事を団長とする大分県上海訪問団が、上海を訪問、中国東方航空曹建雄副総裁を訪問し、大分ー上海便の運航再開について協議。
6月	中国甘肅省文化交流団が観光・地域振興局長を表敬訪問。
7月	上海線が運航再開。安倍省佑副議長を団長とする大分県中国友好訪問団が上海市及び西安市を訪問。王培生上海市人民代表大会副主任、劉興臣中国東方航空公司総経理、陳宝根西安市常務副市長、宋昌斌陝西省人民政府副秘書長らを表敬訪問。
8月	プロサッカーチーム上海申花と大分トリニータとの国際親善試合が開催される（主催・JFL・大分県スポーツ交流促進協議会）。 大分県上海ビジネスミッション（団長：角野商工労働部長）が上海市においてビジネス視察と市場調査を行い、中国企業、日本企業、外事弁公室、人民対外友好協会を訪問。
10月	中国駐福岡総領事・武亜朋が知事、企画振興部長に着任あいさつ。
11月	第13次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県からは企画振興部長が同行。 大分県議会上海経済事情調査団が上海を訪問。
2005年 1月	中国国務院発展研究センター訪問団（団長謝副瞻副主任）が知事表敬訪問。
3月	陝西省人民対外友好協会代表団が副知事表敬。中国実地調査研修を実施。
4月	中国交流サポートセンターを開設。 杭州世界レジャー博組織委員会訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 知事が訪中。李建国陝西省共産党委員会書記、劉興臣東方航空西北公司総経理、王春正国家発展改革委員会副主任等と会見。 中国青年代表団（団長：張学軍全国少年工作委員会副主任）が知事表敬訪問。 観光・地域振興局と無錫市・宜興市・江陰市旅游局間で観光交流協定を締結。
6月	湖北省総工会友好訪日団（団長：何忠琦）一行が来県、知事表敬訪問。
7月	中国環黄海圏地方経済ミッション（団長呂克儉商務部亜州司副司長）が副知事表敬訪問。 大分県上海ビジネスミッション団が上海市でマーケット調査、商談等を実施。
8月	企画振興部長を団長とする大分県陝西省交流促進調査団が陝西省外事弁公室を表敬訪問、各分野での交流の可能性を調査、意見交換。
9月	丹東市文化交流訪問団（団長王振綱丹東市政治協商会議副主任）が企画振興部長を表敬訪問するとともに書道、絵画等の文化交流を行う。
10月	上海時代名人女子バレーボール訪日団が来県、出納長を表敬。 無錫市、宜興市、江陰市大分県教育旅行視察団が企画振興部長を表敬訪問するとともに教育施設、観光資源を視察。 上海市で修学旅行誘致説明会を開催。 陝西省交通庁（陳武漢職業技術学院副学長）一行が企画振興部長を表敬訪問するとともに高速道路技術、高速道路状況の視察を行う。 中国江蘇省溧陽市視察団（団長：袁再保溧陽市党委員会副書記）が来県、企画振興部長を表敬。
11月	中国青年国際人材中心副理事長一行が来県、知事を表敬。 上海市でのアジアフード&トラベルフェアに参加し、観光プロモーションを実施。 中国浙江省嘉興経済開発区訪日団が来県、企画振興部長を表敬。 中国雲南省地域開発・人材育成研修団来県、観光地域振興局長表敬。

2006年 1月	陝西省人民対外友好協会代表団（団長劉先蓮副会長）が出納長表敬。
2月	別府大分毎日マラソン大会参加の友好選手が企画振興部長を表敬、友好大使に委嘱。 呂淑雲駐日中国大使館 公使参事官が知事表敬。
	江蘇省無錫市で無錫市、宜興市、江陰市教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	上海市で「観光プロモーション」、旅行代理店、マスコミ等を対象に「大分県観光の夕べ」を開催。
3月	中国上海市人民対外友好協会代表団が来県、知事を表敬。
4月	上海市にジェットロとの共同事務所を開設。
	江蘇省蘇州市 沈文絹旅游局長一行が来県、企画振興部を訪問。
	宜興市洪雅副市長一行が来県、企画振興部長を訪問。 貴州省中小企業局龍局長一行が商工労働部を訪問、経済施策などを調査。
5月	中国省長代表団(団長:陝西省趙正永常務副省長)が来県、知事を表敬訪問。
	中国国家発展改革委員会 姜偉新副主任一行が来県、知事と懇談後、県内企業を視察。
7月	大分県蘇州市友好訪問団が蘇州市を訪問、企画振興部長と蘇州市旅游局長間で観光交流協定を締結。
	中国国家発展改革委員会王春正副主任一行が来県、知事と懇談後県内を視察。
8月	大分県教職員中国研修訪問団が江陰市、宜興市の教育局、旅游局等を訪問。
9月	上海市人民対外友好協会創立50周年記念イベントの招請を受け、職員を派遣。
10月	日中友好親善小学生卓球大会訪問団が来県、出納長を表敬訪問。
	蘇州市で教育局、学校長等に対し修学旅行説明会を開催。
	蘇州市交流訪問団が来県。県内視察及び県内旅行代理店等を対象に蘇州市観光説明会を開催。 中日経済貿易観光文化交流及び「無錫旅情」20周年事業参加の無錫市からの招請を受け、大分県訪問団を派遣。
11月	第14次大分市友好訪問団が武漢を訪問。県から国際交流室長が同行。
2007年 1月	無錫市友好交流訪問団（団長：王潔平旅遊局長）が来県、県内を視察。
4月	上海市人民対外友好協会代表団（団長：袁公俠副会長）が来県、県内を視察。
	北京大学叶文虎教授、宋豫秦教授が来県、知事を表敬訪問。
6月	陝西省咸陽市共産党委員会張立勇書記が来県、県内の温泉施設を視察するとともに、知事を表敬訪問。
9月	松滋市鄧応軍副書記一行4名が来県し、農林水産部長を表敬、県内畜産関係施設を視察。
	河南省訪日視察団河南省外国專家局長他20名が来県し、農林水産部長を表敬、北部振興局管内の施設野菜、肥育等を視察。
10月	「21世紀東アジア青少年大交流計画」の一環として、四川省の高校生20名が来県し、企画振興部長を表敬訪問、大分南高校で学校交流とホームステイを実施。
	中国農業部牛盾副部長他6名が来県し、知事との夕食会及び「日田なし」「グリーンツアーリズム」を視察。
11月	国家外国專家局季允石局長が来県し、知事表敬及び県内視察。
	大分県フェア及び中国国際食品見本市視察のため、商工労働部長を団長とするミッション団が、蘇州市及び上海市の会場を視察するとともに、上海市人民対外友好協会等の

	関係機関を表敬訪問。
	立命館アジア太平洋大学上海校友联谊会・父母联谊会（於：上海市）に企画振興部長、国際交流室長を派遣。
12月	武樹民駐福岡中国総領事が着任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。
2008年 2月	江陰市屠湘如教育局長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
4月	宜興市華学分副市長一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
8月	山東省魯東大学孫長征応用技術学院書記一行が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。
10月	江陰市呉崇翟人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。丹東市郭広栄人大常委会主任一行が来県、企画振興部長を表敬訪問。
11月	企画振興部長を代表とする訪問団が上海市外事弁公室呉金蘭副主任を表敬訪問、「大分県・上海市友好交流覚書」を締結。
12月	知事がFHC（国際食品見本市）の出展企業激励のため上海を視察、唐登傑上海副市長を表敬訪問。
2009年 2月	上海市外事弁公室呉金蘭副主任が来県し、知事を表敬訪問。
4月	江陰市共産党委員会朱民陽書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
5月	上海市嘉定区政治協商会議周関東主席一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
6月	湖北省総工会張中偉副主席一行が来県し、副知事を表敬訪問。
8月	上海教育国際交流協会馮旭秘書長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
	上海城市超市有限公司（CITY SHOP）崔軼雄総裁一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	第8次日中知事交流に副知事が参加し、北京市、広東省等を訪問。
10月	青海省共産党委員会強衛書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
	上海交通大学国際公共事務学院胡偉院長一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
12月	上海市浦東新区審計局傅紅岩局長一行が来県し、監査事務局長を表敬訪問。
	農業部規画設計研究院朱明院長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2010年 1月	知事が「石川・大分合同フェア」を視察のため上海市を訪問、唐登傑上海副市長を表敬。
	日中友好協会大分支部の仲介で、中国福建省福建農林大学教授ほか1名が農業大学校で研修。農林水産部長を表敬訪問。
3月	中国安徽省農業一村一品研修団一行（16名）が来県し、農業振興のための政策及び農業者への融資制度について研修。
4月	青海省扶貧開発局羅局長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
5月	北京大学現代日本研究センターで学ぶ27名の学生が来県し、大分県庁で県政の概要を学ぶ。
	福徳学院高等学校の姉妹校である武漢市商業服務学院一行が来県し、生活環境部長を表敬訪問。
6月	中国・江漢大学代表団6名が芸術文化短期大学を訪問し、今後の具体的な提携について意見交換。
7月	青海省草原総站趙站長他21名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。
8月	パン・セン外交部国際機構局次長（A P E C高級実務者）がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
	海南省林方略副省長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
9月	湖北省人民政府張通副省長視察団が来県し、知事と懇談。

	<p>上海万博での九州・沖縄ウィーク開幕式及び「大分県の日」に知事が出席。併せて開催した上海プロモーションの「大分県の夕べ」に知事が出席し、政府関係者や企業関係者と交流を深める。</p> <p>芸文短大代表团4名が中国・江漢大学を表敬訪問し、日本語学科の学生に「日本文化」の講義、江漢大学合唱団に合唱指導。</p> <p>上海逍龍信息有限貿易有限公司 王社長一行が大分県産品取引商談のため来県し、知事を表敬訪問。</p> <p>上海城市超市有限公司 張総経理一行が大分県産品取引商談のため来県し、副知事を表敬訪問。</p>
11月	<p>青海省農・牧畜庁党処長他18名の研修団が来県し、企画振興部審議監を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>中国山西省雲城市及び中国江蘇省徐州市の一行(44名)が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、施設を視察。</p>
12月	<p>青海省海南州政府普副州長他7名の研修団が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>武漢市で農林水産物等の販路開拓・市場調査のため武漢フェアを実施。</p> <p>中国大連市訪日団の一行(15名)が県南柑橘選果場を訪問し、柑橘生産の概要について研修、施設を視察。</p> <p>中国昆明市新エネルギー・再生エネルギー研修団一行(17名)が、農林水産研究指導センター農業研究部花きグループにて施設を視察。</p>
2011年 1月	<p>新疆ウイグル自治区新農村建設研修団12名が来県し、企画振興部長を表敬。その後、県農林水産部による講義を受ける。</p> <p>上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。副知事が出席。</p>
2月	<p>ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉溜楠中国区総経理が来県、知事を表敬訪問。</p> <p>上海市で農林水産物等の販路開拓のため大分県フェアを実施。商工労働部長が出席。</p>
3月	<p>湖北省武漢市帰国華僑連絡会秦主席が来県し、企画振興部長を表敬。</p>
5月	<p>武樹民駐福岡中国総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。</p> <p>衛生部衛生監督センター書記一行がふぐ市場を視察するため来県、知事を表敬訪問。</p> <p>広西自治区百色市農業研修団一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。</p> <p>ロイヤル・カリビアン・インターナショナル社の劉盾中国北方区業務開発総監が来県し、知事を表敬訪問。</p>
6月	<p>九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、大分県副知事など7県の知事・副知事が中国政府機関への働きかけ、メディア・大手旅行会社へのプレゼンテーションなどの中国観光プロモーションを上海で実施。</p> <p>陳為民福建省福州市人民政府副市長一行が、県内温泉施設視察のため来県し、副知事と懇談。</p>
8月	<p>上海逍龍信息有限貿易有限公司の王社長一行が大分県産品取引商談のため来県、副知事を表敬訪問。</p>
9月	<p>中国・江漢大学代表团(張副学長ほか4名)が芸術文化短期大学の創立50周年記念式典に出席。</p>
10月	<p>芸術文化短期大学代表团(学長ほか2名)が江漢大学4校合併10周年記念式典に出席。</p> <p>知事及び経済団体等の代表者一行が中国湖北省を訪問し、王国生湖北省人民政府省</p>

	長、范銳平襄陽市党委員会書記、黄楚平咸寧市党委員会書記など省内要人との会見を行ったほか、経済開発区や歴史遺産・温泉施設を視察。また、併せて「大分県経済・観光セミナー」を武漢市で開催。
	武樹民駐福岡中国総領事が、離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
11月	上海市金山区外事弁公室吳珺副主任一行が来県、企画振興部長を表敬。
2012年 1月	李天然駐福岡中国総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2月	程永華駐日中国大使が来県、知事を表敬訪問したほか、県内企業等を視察。
	王立群遼寧省営口市開発区委員会主任一行が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
3月	邵慧翔上海市外事弁公室副主任一行が来県し、副知事を表敬訪問。
4月	中華全国婦女連合会書記処書記が、知事を表敬訪問。
5月	武漢商業服務学院院長が、生活環境部長を表敬訪問。
6月	楊松湖北省政治協商会議主席等湖北省代表団が、知事を表敬訪問し、歓迎レセプションや企業視察等を実施。
7月	駐日中国大使館呂克儉公使が、副知事を表敬訪問。
2013年 7月	中国浙江省博物館訪問団が来県、知事を表敬訪問。
2014年 9月	九州各県が行う北京交流訪問に企画振興部長が参加し政府関係機関を訪問。
	李天然駐福岡中国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
	副知事が湖北省を訪問し、甘榮坤副省長や咸寧市丁小強市長と会見。
2016年 4月	湖北省咸寧市党委書記等党委代表団が来県、知事を表敬訪問。
7月	海南省王路副省長一行が来県、知事を表敬訪問。
9月	何振良駐福岡総領事が来県、知事を表敬訪問。
10月	柳州市鄭俊康書記一行が来県、副知事を表敬訪問
2017年 9月	海南省人民代表大会常務委員会賈東軍副主任一行が来県、副知事及び議長を表敬訪問。
2018年5月	中国共産党咸寧市委員会書記・咸寧市人民代表大会常務委員会主任一行が世界温泉地サミットに参加するため来県、知事を表敬訪問。
2019年7月	上海市浦東新区政治協商会議徐紅副主任一行が企画振興部長を表敬訪問。

●台湾との交流

2003年 5月	黄諸侯・台北駐大阪経済文化弁事処福岡分処長が知事を表敬訪問。
2004年 2月	台湾福祉関係者（呉麗雪高雄縣社会局長外29名）が福祉施設視察のため来県、県庁を表敬訪問。
2005年 1月	台北駐日経済文化代表処 許世楷代表が知事を表敬訪問。
2月	副知事が高雄市副市長を表敬訪問。
11月	范巽緑国際修学旅行連盟名誉会長（教育部政務次長）一行来県、副知事を表敬訪問。
2006年 6月	周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事、県議会議長を表敬訪問。
2008年 2月	陳鴻基亜東関係協会会長、周碩穎台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	サン・ジー経済建設委員会副主任委員がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
9月	曾念祖駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2011年 2月	金属加工製品等の調達に係る商談ミッションを実施。
11月	行政院尹啓銘政務委員ら台日産業交流訪問団が来県、知事を表敬したほか、台湾電子設備協会と大分県L S Iクラスター形成推進会議がビジネス交流推進の覚書を締結。

2012年 7月	台北駐日経済文化代表処の羅坤燦副代表が県東京事務所を訪れ、九州北部豪雨への義援金として50万円を寄付。
10月	金属工業研究发展中心と県工業団体連合会が交流覚書を締結。
2013年 2月	台北駐福岡経済文化弁事処 曾念祖処長が離任挨拶のため知事を表敬訪問。台日産業技術合作促進会秘書長（林俊暉）が商工労働部長を表敬訪問。
7月	戎義俊台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
2014年 10月	亜東関係協会李嘉進会長が来県し、知事を表敬訪問。三三企業交流会江丙坤会長一行（約50名）が来県し、知事や県内経済団体と交流会を実施。
2015年 3月	経済国体、県内企業関係者一行がチャーター便により台北を訪問し、県産品や観光のPRを実施。
10月	台中-大分のチャーター便運航
11月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県台湾プロモーションを台北で開催。
11月	大分県企画振興部と台中市観光旅遊局が観光友好交流連携に関する協定締結。
2016年 7月	謝長廷台北駐日経済文化代表処代表が来県し、知事を表敬訪問。
9月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台中市と友好交流に関する覚書を締結したほか、台北で台湾プロモーションを開催。
2017年 4月	議長、副議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
6月	副知事が台中市を訪問し、林副市長を表敬訪問。
11月	副知事及び県内企業一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2018年 3月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を訪問し、台湾東部地震被害への見舞金を贈呈。
10月	陳忠正台北駐福岡経済文化弁事処長が来県、知事を表敬訪問。
11月	知事及び県内企業等一行が訪問し、台北市と台中市で台湾プロモーションを開催。
2020年 7月	台北駐福岡経済文化弁事処の陳処長が知事及び議長を表敬訪問。
8月	議長が台北駐福岡経済文化弁事処を表敬訪問。
2021年 3月	Oita Made株式会社とタイアップして台湾にて「大分フェア」を実施。

●香港との交流

2010年 8月	リタ・ラウ・ワイラン商務・経済発展局長官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年11月	知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県の夕べ」を開催し、本県の特産品や観光の一体的PRを実施。
2012年10月	香港特別行政区駐東京経済貿易代表部 サリー・ウォン首席が、香港ビジネスセミナー実施のため来県し、知事を表敬訪問。
11月	2011年度に引き続き、知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府麵館」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県の夕べ」を開催し、海外初輸出となる豊後牛をはじめとした本県の特産品や観光の一体的PRを実施。
2013年9月	「別府集団」（旧「別府麵館」）の呂副主席一行が来県し、知事を表敬訪問。
2013年11月	副知事及び経済団体・県内企業の代表者一行が香港を訪問し、アンドリュー・ウォン商務・経済発展局事務次官を表敬訪問したほか、現地の高級居酒屋チェーン「別府集団」とタイアップした「大分フェア」を実施。また、政府関係者、マスコミ、旅行社や貿易商社等を招待して「大分県の夕べ」を開催し、本県の特産品や観光

	の一体的PRを実施。
2014年2月	香港中華総商會會長ジョナサン・チョイ氏が来県し、知事を表敬訪問。
8月	別府集團の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。 別府集團とタイアップして香港にて大分食材試食商談会を実施。
11月	別府集團とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2015年9月	別府集團の呂副主席一行が大分フェアで使用する食材調査のため来県し、知事と懇談。
11月	別府集團とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2016年3月	EGLツアーズの袁文英代表取締役社長が来県し、知事を表敬訪問。海外親善大使に任命。
2017年11月	別府集團とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2018年11月	別府集團とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。
2019年 7月	香港貿易發展局 サイラス・チュー日本代表が知事を表敬訪問。
7月	犬飼町わかあゆ国際交流会及び香港中文大学生が知事を表敬訪問。
11月	別府集團とタイアップして香港にて「大分フェア」を実施。

●大韓民国との交流

2003年 5月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県。
6月	ワールドカップ1周年記念事業「日韓ワールドカップ蹴球人形展」をビッグアイ、ソウル市美術館で開催。
10月	慶尚北道南孝彩副知事一行が、副知事を表敬訪問し、県内を視察。
11月	韓国政府財政税チーム長一行が来県、地方税制の実態を聴取。
2004年 2月	韓国教職員招へいプログラムによる小・中・高校の教職員が来県、教育長を表敬訪問するとともに県内視察、ホームビジットを行う。
4月	趙誠勇・駐福岡大韓民国総領事が来県、知事表敬。 大韓民国駐福岡総領事・金榮昭が知事に着任あいさつ。
7月	ゆふいんアジアふれあい交流子ども使節団が副知事に出発挨拶。
2005年 5月	羅鍾一駐日大韓民国大使が来県、知事表敬。
6月	張性元ロッセL&L常任理事、慎重睦KOTFA代表理事、東亜日報社を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
7月	皇甫官大分トリニータ監督を日韓友情年2005記念大分韓国ツーリズム大使に委嘱。
8月	大韓民国益山市訪問団（団長：蔡奎晶益山市長）が、豊後大野市と友好交流協定の締結後、副知事を表敬。
10月	大韓民国蔚山広域市韓日親善協会訪問団（団長：イ・ビョンジク会長）が、大分県日韓親善協会との交流のため来県し、出納長を表敬。
11月	韓国国際通商実務者研修訪問団が通商施策の研修のため来県。
2006年 2月	韓国大学関係者一行が来県、県内の保健福祉行政を視察。 韓国水原市職員が来県、廃棄物リサイクル施設を視察。 韓国行政自治省実務研修訪問団が県民相談システム等の研修のため来県。 韓国自治政策研究室長が電子県庁の推進体制、運用状況等調査のため来県。
3月	韓国有力ジャーナリスト一行が来県、知事を表敬訪問、日本における地方経済の重要性について意見交換した。 韓国唐津郡環境視察団が環境施策の研修のため来県。 (社)韓国テクノマート金鉄佑会長が来県、企画振興部を訪問。

4月	韓国自治体国際化財団主催の韓国自治体職員研修団が来県、本県の経済施策等を調査。
8月	韓国慶尚南道金知事が来県、大分トリニータVS慶南FCの国際親善試合を観戦。
12月	韓国精神看護担当大学教員が来県、看護科学大学において保健・医療システムを研修。
2007年 1月	韓国ソウル大学校教員が保健・医療システムと看護職の役割等を研修のため来県、看護科学大学教員と意見交換、病院施設の視察。
2月	春季キャンプで来県した韓国プロ野球斗山ベアーズの金団長以下3名が津久見警察署長を表敬訪問。 金榮昭 駐福岡韓国総領事が離任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
5月	金賢明 駐福岡韓国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。
7月	ソウル市観光マーケティング本部一行が来県、修学旅行説明会を開催。
12月	忠南洪城郡葛山面村長団体（韓国）44名が「水田農業研究所」を視察。
2008年 10月	蔚山市韓日親善協会イ・ビョンジク会長が大分県日韓親善協会との交流のため来県し、企画振興部長を表敬訪問。
11月	韓国テクノマート金鐵佑会長、太田市朴城孝市長が来県、知事を表敬訪問。
2010年 1月	大分県訪問団（福岡大学友景教授団長ほか8名）が、ソウル市、清州市、清原郡オチャン等の企業、関係機関、忠北大学、忠清北道庁等を訪問し、韓国の半導体産業を調査。 韓国沃川郷愁アカデミー日本九州地域圏集團一行（26名）が来庁し、グリーン・ツーリズムについて研修。
2月	韓国中央大学大学院一行15名（学生・教員）が看護科学大学を視察。
4月	趙延元駐福岡大韓民国総領事が新任挨拶のため来県、知事を表敬訪問。 韓国忠清北道経済交流協力団（忠清北道庁戦略産業課長団長ほか8名）が来県し、LSIクラスター、企業、大学等を訪問。商工労働部産業集積推進室長と意見交換。
6月	韓国大田大学校看護学科学生（30名）が来県し、看護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。 大分県訪問団（株）ジェイデバイス仲谷社長団長ほか9名）が清州市で、韓国企業20社及び関係機関と交流。
7月	大分県日韓親善協会と姉妹交流をしている蔚山広域市韓日親善協会が企画振興部長を表敬。
8月	チョ・ソク知識経済部長官補がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 韓国農林水産食品部主催きこの農業研修団一行（32名）が大分県椎茸農業協同組合で研修。 韓国訪問団（韓国産業団地公団清州支社長団長ほか9名）が来県し、知事立会のもと交流推進のための覚書を関係機関4者で締結。韓国企業5社と交流。
9月	韓国プヨ農協農業大学の一行（64名）が農林水産研究指導センター農業研究部花きグループを訪問し、観賞温室を視察。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。 大分県ビジネスミッション（10社18名）が清州市での第1回商談会に参加。韓国企業20社と商談。 韓国慶尚南道視察団一行（18名）が来庁（農林水産企画課、水産振興課）し、水産業の施策について研修。
11月	慶尚北道星州郡セマウル会が来県、企画振興部審議監を表敬訪問。 Chodang Universityの学生40名及びKyungin Women's Collegeの学生20名が来県し、看

	護科学大学及び県内の医療保健施設を視察。
12月	韓国ビジネスミッション（7社15名）が来県し、第2回商談会で大分の企業19社と商談。
2011年 1月	大分県（5名）と韓国（5名）の関係者がソウル市で来年度の事業について協議。企業のビジネス支援を積極的に継続することで合意。
5月	九州地方知事会、九州運輸局、九州観光推進機構が連携し、知事など7県の知事・副知事が政府機関への働きかけ、マスコミ向けプレス発表、街頭PR活動、旅行会社訪問などの韓国観光プロモーションをソウルで実施。
11月	韓国半導体関連企業（6社2団体14名）が来県し、大分市で県内半導体関連企業13社と商談を行うと共に、韓国関係機関（韓国産業団地公団、忠北テクノパーク、ジェットロソウル）が知事を表敬訪問。 申珥秀駐日大韓民国大使が来県、知事を表敬訪問。
2012年11月	韓国蔚山広域市韓日親善協会一行（李秉稷会長以下6名）が、副知事を表敬訪問。
2013年 2月	農林水産部長らが韓国の住宅建材フェアを訪問し、トップセールスを実施。
7月	朴鎮雄駐福岡大韓民国総領事が来県、知事を表敬訪問。
2014年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2015年8月	韓国観光プロモーションをソウルで実施。
2017年1月	金玉彩駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2017年10月	第19回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者1名を招聘。
2018年4月	孫鍾植駐福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2020年2月	北東アジア地域自治体連合（NEAR）事務総長金玉彩氏が来県し、企画振興部長表敬訪問。

●インドとの交流

2004年 9月	駐日インド大使が来県、知事を表敬訪問。
2005年 4月	在大阪神戸インド総領事が来県、副知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 8月	国際協力銀行からの「インド・トリプラ州森林環境改善・貧困削減事業」に係る協力要請により、県職員2名をインド・トリプラ州に派遣し、現地調査と大分県の竹工芸・竹利用技術の紹介及びトリプラ州森林局と意見交換。
2017年 3月	T.アムストロング・チャングサン在大阪神戸インド総領事が来県、知事を表敬訪問。

●インドネシア共和国との交流

2004年 4月	西スマトラ州パダン・パリアマン県ムスリム・カシム知事一行が来県、県内視察。
7月	インドネシア共和国バリ州ジェンブラナ県知事が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	ルキト・ディナルシャトオオ国家開発企画庁副長官がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	インドネシア商業省の一行(4名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2015年10月	インドネシア中小企業組合省（団長：タウフィック大臣特別アドバイザー）一校9名が来県、副知事表敬訪問、工科短期大学校ほかを視察。

●カンボジア王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2007年 2月	政府統計局職員が地方統計の状況調査のため来県。
2020年 3月	ソック・トイ カンボジア王立学士院院長が来県、竹工芸産業会館等を視察。

●シンガポール共和国との交流

2005年10月	T V・ラジオ会社「メディアコープ社」オン・レイ・ホン編集長が来県、企画振興部長を訪問、大分県の現状についてインタビューを行う。
2006年 7月	タン・チン・ティオン大使一行が来県、知事を表敬。
2010年 8月	ホー・メン・キット外務省副次官（A P E C高級実務者）がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
	ヌール・ヤコブA P E C事務局長が、知事を表敬し、おもてなしや運営支援について感謝の意を伝える。
2012年 9月	シンガポールポリテクニークが、副知事を表敬訪問。

●スリランカ民主社会主義共和国との交流

2005年 6月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
----------	---

●タイ王国との交流

2003年 9月	タイ王国政府ソムキット副首相及びタイ王国全国県知事研修団一行が来県、知事を表敬訪問するとともに県内を視察。
10月	J I C Aタイ王国国別特設「地方自治体強化による持続的農業農村開発」研修コース研修生8名が来県。
2005年 3月	タイ王国内務省幹部が部長を表敬訪問。
5月	アンパワン・タイ国貿易センター福岡所長が来県。
8月	「北タイ及び東北タイにおける持続的農業開発のための地方自治体職員能力向上コース」団一行が来県、地域振興、市町村合併等を調査。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年 7月	タイ首相顧問一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 3月	カセサート大学の一行(6名)が農林水産研究センター水産試験場で水産試験施設及び魚病対策施設を視察。
8月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
	アンボン・キッティアンボン国家経済社会開発庁長官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2012年 7月	ウィーラサック・フートラクーン駐日大使が「平成24年7月九州北部豪雨」被害に対する義援金贈呈のため来県し、同大使より義援金400万円を知事へ贈呈。
2013年 6月	バムルンラード病院等の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
8月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2014年 6月	国立ラチャウティ病院等医療技術者が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県し、知事を表敬訪問。
7月	タナティップ・ウパティシン駐日タイ王国大使が来県し、知事を表敬訪問。

8月	アナン・スワンナラット農業・協同組合省養蚕局長や11県の知事からなるタイ王国政府訪問団が来県し、知事を表敬訪問し懇談。
10月	副知事及び県内企業等一行が訪問し、大分県タイプロモーションをバンコクで開催。
2016年 2月	在京タイ王国大使館サリン公使が東九州メディカルバレー構想の取組をヒアリングするため来庁。
	バンコク病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、副知事を表敬訪問。
12月	ジャイカ中小企業海外展開支援事業の採択を受けた大分市のシステム開発会社である(株)エイビスが製造販売している福祉機器「見まもりシステム」のタイでの福祉・保険医療向上に向けた導入実証と介護現場の実態調査のため、サムットサコーン県ベラポン公衆衛生局長ほか10名が太田副知事を表敬訪問し、県福祉保健部職員や大分大学医学部教授等との意見交換を行った。
2018年11月	アッタカーン・ウォンチャナマース在福岡タイ王国総領事が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年11月	副知事及び県内企業等一行がバンコクを訪問し、大分県タイプロモーションを開催。

●ネパール王国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア(パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル)の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2015年 7月	マダン・クマール・バッタライ在日ネパール特命全権大使が来県し、副知事を表敬訪問。

●パキスタン・イスラム共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア(パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル)の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2014年 7月	ファルーク・アーミル駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年5月	アサド・マジード・カーン駐日パキスタン・イスラム共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。

●バングラデシュ人民共和国との交流

2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア(パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル)の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2017年11月	ラバブ・ファティマ駐日バングラデシュ大使が来県、知事を表敬訪問。

●フィリピン共和国との交流

2005年 2月	フィリピン共和国ムスリム・ミンダナオ自治区政府幹部等が来県、副知事を表敬訪問。
2005年11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。

12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マリア・ルーメン・イスレタ外務省国際経済関係担当次官上級特別補佐官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ブルネイ・ダルサラーム国との交流

2004年 2月	モハメッド・ノール・ジャルディーン特命全権大使一行来県、知事表敬訪問するとともに県内視察。
2010年 8月	モハマド・ナズミ外務貿易省副次官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ベトナム社会主義共和国との交流

2005年 2月	トップマネージメントセミナー(総務省主催)により内務大臣一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2009年 6月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グエン・カム・トゥー商工副大臣がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2011年 4月	グエン・フー・ビン駐日ベトナム特命全権大使、ブー・フィ・ムン駐福岡ベトナム総領事が、知事表敬訪問及び県内視察のため来県。
2012年 9月	ドアン・スアン・フン駐日ベトナム特命全権大使が着任のあいさつのため来県、知事を表敬訪問。
12月	ブー・フィ・ムン在福岡ベトナム総領事が、帰任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2013年 4月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が来県、知事を表敬訪問。
2016年 1月	ブイ・クオック・タイン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
6月	グエン・フォン・ホン 在福岡総領事が来県し、知事を表敬訪問。
7月	グエン・クオック・クオン駐日ベトナム大使が来県し、知事を表敬訪問。
10月	トゥエンクアン省ファン・ミン・ヒュアン主席一行が知事を表敬訪問し、県内を視察。
11月	クアンニン省人民評議会グエン・スアン・キー副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
12月	ジェトロの招聘により、ベトナム、トルコのキーパーソン（ベトナム保健省国際協力局副局長ほか4名）が来県し、副知事を表敬訪問したほか、大分大学医学部や大分ロボケアセンターを訪問し、意見交換を行った。
2018年5月	トゥエンクアン省共産党チャウ・バン・ラム書記一行が来県し、知事を表敬訪問。
9月	県企画振興部観光・地域局長等がベトナムのトゥエンクアン省へ渡航し、文化遺産祭へ参加。
2019年 3月	グエン・フォン・ホン在福岡ベトナム総領事が離任あいさつのため来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	ヴー・ビン在福岡総領事が就任あいさつのため来県し、知事を表敬訪問。

2019年 8月	トゥエンクアン省省人民評議会ファム・ティ・ミン・スアン副議長一行が来県し、副知事を表敬訪問。
2019年 9月	ロンアン省人民評議会ファム・タン・ホア副議長一行が来県し、県企画振興部長を表敬訪問。
2019年11月	チャン・タイン・ナムベトナム農業農村開発省副大臣一行が来県し、知事を表敬訪問。

●マレーシアとの交流

2006年10月	サスム・バハル・ハジ・アブドゥル・ラーマン マレーシア起業家・共同開発政務官が来県、副知事を表敬。
2007年12月	モハメッド・ラジ・ビン・アブドゥル・ラーマン駐日大使が来県、知事を表敬。
2010年 5月	マレーシア政府畜産庁一行(10名)が来県し、畜産研究施設を視察。
8月	サヌシ・アブド・カリム駐日経済参事官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2014年 6月	国立クアラランプール病院の医師が東九州メディカルバレー構想に係る日本式の透析医療視察のため来県、知事を表敬訪問。
2018年 8月	マハティール・ビン・モハマッド マレーシア首相一行が来県、立命館アジア太平洋大学を訪問。

●ミャンマーとの交流

2014年10月	ヤンゴン経済大学のキンナインウー学長が同校と立命館アジア太平洋大学との協力協定締結を受け来県、副知事を表敬訪問。
2018年10月	カレン州政府農業灌漑大臣等が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 7月	カレン州ナン・キン・トエ・ミン首相一行が来県、知事を表敬訪問。

●モンゴル国との交流

2004年 4月	バヤンホンゴル県内首長等が来県、副知事を表敬。
2005年 1月	バヤンホンゴル県議会議員一行が来県、副知事を表敬訪問。
4月	フレルバートルモンゴル国外務省アジア局長一行が来県、知事を表敬訪問。
11月	アジア経済研究所開発スクール「フォローアップ研修」視察団の一員として来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2006年12月	アジア（パキスタン・バングラデシュ・ネパール・フィリピン・モンゴル）の若手労働組合指導者一行が来県、知事を表敬訪問。
2007年 1月	バヤンホンゴル県部長一行が副知事を表敬訪問。
2009年12月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル大使が来県、知事を表敬訪問。
2010年 2月	モンゴル研修生一行(4名)が農林水産研究センター畜産試験場で畜産技術について研修。
4月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他14名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
2011年 3月	ビャンバスレン・ラグヴァ地域開発国家委員会事務局長他9名の議会・行政関係者が地域開発を学ぶために来県、副知事を表敬訪問。
2011年 4月	レンツェンドー・ジグジッド駐日モンゴル国大使が来県し、副知事を表敬。NPO法人大分県ベンチャー協議会主催の経済セミナーで講演。
6月	バヤンホンゴル総合生協学校民族舞踊チームが県内小学校等との交流のため来県、

	副知事を表敬訪問。
2012年 2月	フレルバータル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
2012年10月	在大阪モンゴル国総領事が、知事を表敬訪問。
5月	フレルバータル駐日モンゴル国大使とドグミド・ソソルバラム大統領顧問が来県、知事を表敬訪問。
7月	ロブサンワンダン・ボルド モンゴル国外務大臣が来県、知事を表敬訪問。
8月	知事がモンゴル国を訪問し、アルタンホヤグ首相やソドノム モンゴル日本関係促進協会会長（元首相）と会談したほか、大分・モンゴル交流フォーラムで記念講演を実施。
11月	ソノンピル モンゴル国エネルギー大臣が来県、知事を表敬訪問。
2015年 3月	ジャルガルサイハン政治・経済評論家が外務省の招聘にともない来日。県内で視察を行い、副知事を表敬訪問。
2016年11月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。
2017年6月	フレルバータル駐日モンゴル国大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年5月	ダンバダルジャー・バッチジャルガル駐日モンゴル国臨時代理大使一行が来県、知事を表敬訪問。
2018年10月	モンゴル・バヤンホンゴル「総合生協学校」訪問団が来県、副知事を表敬訪問。

●ラオス人民民主共和国との交流

2004年12月	ラオス人民民主共和国経済・投資委員会副委員長らが来県、副知事を表敬訪問。
2005年 4月	ラオス「参加型森林管理」コース研修員が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2013年 1月	おおいたシティハーフマラソン出場のラオス出身選手が、副知事を表敬訪問。

●ASEANとの交流

2005年10月	フィリピンほか6カ国の地域振興行政セミナー研修団一行が来県。産業科学技術センターを視察。
2006年12月	カンボジアほか3カ国の行政官一行が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。

【北米】

●アメリカ合衆国との交流

2004年 7月	海軍第7艦隊駆逐艦マリン艦長が副知事を表敬訪問。
2005年 2月	在福岡アメリカ領事館主席領事が知事を表敬訪問。
2006年 3月	マンスフィールド研修第10期研修員一行が企画振興部審議監を表敬訪問。
2007年 2月	マンスフィールド研修第11期研修員一行が知事を表敬訪問。
6月	海軍第7艦隊イージス駆逐艦マーシャル・ブラウン艦長が副知事を表敬訪問。
10月	マルゴ・J・キャリントン在福岡領事館首席領事が知事を表敬訪問。
2010年 8月	カート・トン国務省経済調整官（東アジア・太平洋担当）（APEC担当大使）がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
10月	第12回看護国際フォーラムの開催に当たり、看護職関係者2名を招聘。
11月	ジェイソン・R・クーバス在福岡総領事館首席領事が着任挨拶のため、知事を表敬訪問。
2012年 1月	ジョン・V・ルース駐日大使一行が来県、知事を表敬訪問。
2013年10月	ユーリー・フェッジキフ在福岡米国領事館首席領事が来県、副知事を表敬訪問。

2014年 7月	知事がシリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カウンシル知事会議に出席。関係6県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。
2015年 7月	「第25回日米草の根交流サミット2015・おおいた大会」を大分県で開催。
2015年10月	在福岡米国領事館ホイットニー領事が来庁。商工労働部長を表敬訪問。その後、エネルギー政策及び東九州メディカルバレー構想の取組を説明。
2017年 2月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。
2017年 5月	米日カウンシル 日・ハワイ経済サミットへの参加のため、太田副知事、神崎副部長ほか県職員3名が米国ハワイ島を訪問。太田副知事はパネルディスカッションで登壇し、デビッド・イゲ ハワイ州知事等と会談。
2017年9月	南加大分県人会100周年記念式典に安東副知事ほか県職員が出席。
2019年6月	ジョイ・ミチコ・サクライ在福岡領事館首席領事が離任挨拶のため、知事を表敬訪問。
2019年8月	シリコンバレー（スタンフォード大学）で開催した米日カウンシル知事会議に出席するため知事が訪問。関係6県（静岡県、岡山県、広島県、福岡県、佐賀県、大分県）の知事がパネルディスカッションを行い、参加企業が米国の最新知識を有するリーダー等との情報交換を実施。併せて、大分県、SAPジャパン、SAP Academyと、災害対策高度化及びIT人材育成分野において相互協力協定を締結した。
2019年12月	ジョン・C・テイラー在福岡領事館首席領事が来県し、知事を表敬訪問。

●カナダとの交流

2004年11月	アンドレア・クレメンツ領事が企画振興部長を表敬訪問。
2006年11月	アンドレア・クレメンツ駐日カナダ領事館領事兼通商団表が本県の「新エネルギー研究会」への参加希望の表明、カナダの太陽電池に関する有力企業PRのため商工労働部を訪問。
2010年 8月	ジョナサン・フリード駐日大使がAPEC成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

【中南米】

●アルゼンチン共和国との交流

2003年 6月	サルタ州副知事（ウォルテル ラウル ワイヤル）が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 4月	ポルスキ駐日大使が来県、知事を表敬、アルグリッチ音楽祭に参加。

●エクアドル共和国との交流

2006年 3月	アルバレス駐日特命全権大使が来県、知事を表敬、日本ーエクアドル代表のサッカー国際試合を観戦。
----------	--

●キューバ共和国との交流

2017年 9月	キューバ国国立穀物研究所職員15名が、国東半島宇佐地域世界農業遺産の取組を学ぶため、田染荘や七島蘭学舎など国東半島地域を視察訪問。
----------	---

●コスタリカ共和国との交流

2010年 7月	コスタリカ企画経済政策省副大臣ほか中南米地域の国際協力担当行政官など19名（JICA）が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
----------	--

●ジャマイカとの交流

2003年 6月	アール・カー駐日大使が知事を表敬訪問。
2019年 1月	リカルド・アリコック駐日特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●チリ共和国との交流

2010年 7月	J I C Aチリ研修の一行(12名)が来庁し、研修。
8月	アルフィエ・ウジョア財務省国際関係局長がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●ドミニカ共和国との交流

2004年10月	ヨシロ・ヤナイ代理大使が出納長を表敬訪問。
----------	-----------------------

●ニカラグア共和国との交流

2015年 6月	ニカラグア国家技術庁カリキュラム課一行3名が来県、商工労働部審議監表敬訪問、工科短期大学校ほか視察。
----------	--

●パラグアイ共和国との交流

2005年11月	田岡功駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	----------------------

●ブラジル連邦共和国との交流

2005年12月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県。
2006年 6月	ブラジル大分県人会矢野副会長が来県、企画振興部長を表敬。
10月	ブラジル大分県人会理事が来県、知事を表敬。
2007年 4月	ブラジル大分県人会永松会長が来県、知事を表敬。
10月	知事を団長とする公式訪問団がブラジル訪問、大分県人会創立55周年式典に出席。
2008年 9月	ブラジル大分県人会国体訪問団来県。
2012年10月	ブラジル大分県人会創立60周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州知事等へ表敬訪問。
11月	ブラジル大分県人会永松顧問(元会長)が来県、副知事を表敬。
2013年 4月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2014年 7月	ブラジル大分県人会玉田副会長が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ブラジル大分県人会矢野会長が来県、知事を表敬。
2016年6月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。
2017年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、議長を表敬。
2018年9月	ブラジル大分県人会創立65周年記念式典に副知事以下7名が出席し、在サンパウロ日本国総領事館やサンパウロ州政府等へ表敬訪問。
2019年10月	ブラジル大分県人会矢野名誉会長が来県、知事を表敬。

●ベネズエラ・ボリバル共和国との交流

2008年10月	セイコウ・ルイス・イシカワ・コバヤシ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	------------------------------------

●ペルー共和国との交流

2010年 8月	フリオ・カルデナス駐日代理大使がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
----------	--

●メキシコ合衆国との交流

2010年 8月	ホルヘ・ルイス・ラバージェマウリ社会開発省生産機械局長がA P E C成長戦略ハイレ
----------	--

	ベル会合参加のため来県。
--	--------------

【欧州】

●イタリアとの交流

2018年 6月	ルイーダ・ディオダーティ在大阪イタリア総領事が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------------

●英国との交流

2015年 1月	マイケル・シアラー駐大阪英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2017年12月	セーラ・ウテン駐日英国総領事が来県し、知事を表敬訪問。
2018年4月	中嶋竹春ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2018年6月	知事がウェールズを訪問し、マーク・ドレイクフォード財務大臣やウェールズラグビー協会等を表敬訪問し、ラグビーワールドカップに向けたPRを実施。
2019年2月	ロビン・ウォーカーウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2019年9月	マーク・ドレイクフォード ウェールズ政府首席大臣、ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表他2名が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、The Art of Wales展オープニングセレモニーに出席。
2019年10月	デービッド・アンダーソン ウェールズ国立博物館館長が来県し、知事を表敬訪問するとともに、講演会を実施。
2019年10月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、ウェールズラム肉の夕べを開催。
2020年1月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事を表敬訪問。
2020年11月	ロビン・ウォーカー ウェールズ政府東京事務所日本代表が来県し、知事主催昼食会を行うとともに、大分・ウェールズ友好交流1stアニバーサリーに出席。

●オーストリア共和国との交流

2018年 5月	フーベルト・ハイッス特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●オランダ王国との交流

2006年11月	ディルク ヤン・コップ在大阪・神戸オランダ総領事が来県、副知事を表敬、県内を視察。
2012年11月	在大阪・神戸オランダ総領事が、別府競輪「第13回オランダ王国皇太子杯」で皇太子杯を授与するために来県し、知事を表敬訪問。
2015年10月	駐日オランダ王国ラーディンク・ファン・フォレンホーヴェン特命全権大使が来県し、知事を表敬訪問。
2018年4月	ヘラルド・ミヘルス駐大阪・神戸総領事が来県し、知事を表敬訪問。

●カザフスタン共和国との交流

2006年11月	カザフスタン看護研修員が来県、病院等の実習施設を視察、日本の保健・医療システムと看護職の役割等を研修。
----------	---

●キルギス共和国との交流

2007年12月	ヌル・ウル・ドスボル副首相がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立境川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	---

●コソボ共和国との交流

2012年 7月	サミ・ウケリ駐日コソボ共和国大使が来県し、知事を表敬訪問。
----------	-------------------------------

●スイスとの交流

2014年 5月	ウルス・ブルーヘル駐日スイス大使が別府アルゲリッチ音楽祭観覧のため来県、知事を表敬訪問するとともに音楽祭の懇親会に出席。
2018年5月	ジャン＝フランソワ・パロ駐日スイス大使が来県し、知事を表敬訪問。

●スロバキア共和国との交流

2005年10月	ペテル・ヴァルシヤンスキー駐日大使が来県、副知事を表敬。
2015年11月	ミハル・コットマン特命全権駐日大使が県立芸術文化短期大学公開講座のため来県、知事を表敬訪問。

●チェコ共和国との交流

2004年 3月	カレル・ジェブラコフスキー駐日大使が来県、知事を表敬訪問するとともにウインドアンサンブル荷揚定期演奏会を鑑賞。
4月	愛知万博チェコ共和国政府副代表団が来県、副知事を表敬。
2006年 3月	カレル駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
6月	駐日チェコ大使館 参事官、ジャズ音楽のエミール・ビクリツキートリオ一行が来県、芸術文化短期大学学長と懇談学生とのワークショップを開催。
2007年 2月	クラウスチェコ大統領、クラウソヴァー大統領夫人、シュワルツェンベルグ外務大臣等一行が来県、知事との懇談、APUの留学生等と意見を交換。
4月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、大分・チェコ友好協会設立総会出席のため来県、知事を表敬訪問。
2008年 8月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事を表敬訪問。
2009年 9月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2010年10月	ヤロミール・ノヴォトニー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2011年 5月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2012年 2月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が、「チェコを語る夕べ」に出席するため来県し、知事と懇談。
2013年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年 6月	カテジナ・フィアルコヴァー駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2014年10月	東京オリンピック金メダリスト、ベラ・チャスラフスカ女史が「ベラ・チャスラフスカさんと語る夕べ」に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年6月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が大分チェコ友好協会総会に出席、講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2015年11月	駐日チェコ大使館参事官が「チェコを語る夕べ」に出席、講演を行うため来県。
2016年12月	駐日チェコ大使館参事官が来県、「チェコを語る夕べ」に出席。
2017年11月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2018年5月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使とミラン・ルーチュカ ホドニン市長が「世界温泉地サミ

	ット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	トマーシュ・ドゥブ駐日大使が「チェコを語る夕べ」に出席、知事を表敬訪問。
2019年8月	安東副知事、原田日田市長、大分チェコ協会がホドニン市を訪問。
2020年10月	マルチン・トムチョ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。

●ドイツ連邦共和国との交流

2004年10月	直入町・ドイツ・バートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町がドイツに訪問団を派遣。知事の親書を託す。
11月	直入町・ドイツバートクロツィンゲン市交流15周年を記念して直入町で「炭酸泉と温泉フォーラム」を開催。出納長が来賓として出席。
12月	小泉首相とドイツシュレイダー首相が直入町のドイツワインで夕食会の際、乾杯を交わした。
2006年 3月	ドイツ学術交流会の「日本語学習と企業内研修」22期生一行が来県、県内企業を視察。
7月	ゲロルト・アメルンク大阪・神戸ドイツ連邦共和国総領事が来県、知事を表敬。
2020年11月	ドイツ大使館（武官キーゼヴェッター大佐ほか5名）が来県し、墓碑のある桜ヶ丘聖地（旧陸軍墓地）での墓参、桜の記念植樹等を行うとともに、知事表敬訪問を行った。

●パチカンとの交流

2014年 7月	ジョセフ・チェノットゥ駐日ローマ法王庁大使が岐部祭出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2019年2月	知事がジョセフ・チェノットゥ駐日ローマ法王庁大使を表敬訪問。

●ハンガリーとの交流

2013年10月	イシュトヴァーン・セルダヘイ駐日ハンガリー大使が「大分県・ハンガリー友好の集い」で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。
2018年5月	パラノビチ・ノルバート駐日大使が「世界温泉地サミット」に出席、知事を表敬訪問。
2018年11月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。
2019年12月	知事がパラノビチ・ノルバート駐日大使を表敬訪問。

●フランス共和国との交流

2007年12月	ジルダ・ル・リデック駐日大使が大分香りの博物館開館記念行事（別府大学主催）に出席のため来県し、知事を表敬訪問。
2008年10月	アラン・ナウム在大阪・神戸総領事が来県、知事を表敬訪問。
2010年11月	フィリップ・フォール駐日大使が大分香りの博物館3周年記念事業（別府大学主催）で講演するため来県し、知事を表敬訪問。
2011年11月	フィリップ・ジャンヴィエ・カミヤマ在京都フランス総領事が来県、副知事を表敬訪問。
2018年7月	九州地域戦略会議でパリを訪問し、九州合同で観光セミナーやPRを実施。当県からは知事が出席。

●ボスニア・ヘルツェゴビナとの交流

2014年10月	スレブレニツァ市、ロガティツァ市、ブラトナツ市より行政官（8名）が地方振興・地方行政研修のため来県し、副知事を表敬訪問。
----------	--

●ルーマニアとの交流

2019年 5月	タティアナ・ヨシペル駐日大使がホストタウン訪問のため来県し、知事を表敬訪問。
----------	--

●ロシアとの交流

2005年 5月	アレクサンダ・ロシュコフ駐日大使が来県、副知事を表敬訪問。
2006年 8月	第8回国民芸術文化祭開幕行事に参加するロシア国立舞台アカデミアバレエ学部長のエフゲニー・P・バルーキン教授が来県、知事を表敬訪問。
9月	第8回国民芸術文化祭開幕行事「ラ・バヤデール」公演のため、バルーキン教授及びボリショイバレエ団来県、企画振興部長を表敬訪問。
2007年12月	アレキサンダ・セドフロシア国立美術館館長及びミハイルM. ベールイ駐日大使が「ロシア国立美術館所蔵 首藤コレクション展」のため来県、知事を表敬訪問。
2009年12月	ミハイルM. ベールイ駐日大使が「エルミタージュ美術館所蔵 エカテリーナ2世の晩餐会」のため来県、知事を表敬訪問。
2010年 8月	グレゴリー・サリシュブイリ経済発展省アジア・アフリカ局長がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。 ロシア国立舞台芸術アカデミア・バレエ学部長が芸術文化短期大学長を表敬訪問し、バレエを通じての芸術文化活動について意見交換。県議会議長を訪問。
2010年 2月	ロシアボリショイバレエ劇場の指導者ほか2名が芸術文化短期大学長を表敬訪問。
2014年 5月	エヴゲニー・ウラジーミロヴィッチ・アフアナシエフ駐日大使が首藤コレクション顕彰大分県推進協議会総会で講演を行うため来県し、知事を表敬訪問。

●EUとの交流

2003年 4月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
6月	大分EU協会総会に出席のため、駐日欧州委員会代表部エティエンヌ・ロイター公使参事官・広報部部長が来県、企画文化部長を表敬訪問。
2004年 3月	欧州ビジネスマンが来県、出納長を表敬訪問。
7月	アン・コフォード駐日欧州委員会代表部広報副部長が企画振興部長を表敬訪問。
2005年 6月	シルビア・コフラ駐日欧州委員会代表部広報部長が企画振興部長を表敬訪問。
2007年 7月	ヒュー・リチャードソン駐日欧州委員会代表部大使が、大分EU協会総会で講演、知事を表敬訪問。
2012年 6月	大分EU協会総会に出席のため、ハンス・ディートマール シュヴァイスグート駐日欧州連合代表部大使が来県し、知事を表敬訪問。

【大洋州】

●オーストラリア連邦との交流

2010年 1月	ウェンディ・ホルデンソン在福岡オーストラリア総領事が就任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
8月	ビル・ブラミット財務省国際・G20局長がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2013年 4月	トーマス・イエイツ在福岡オーストラリア総領事が来県、知事を表敬訪問。
5月	ブルース・ミラー駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
2018年3月	リチャード・コート駐日オーストラリア大使が来県、知事を表敬訪問。
4月	クレア・ウォルシュ駐日オーストラリア首席公使、イアン・ブレイジア在福岡オーストラリア総領事が来県、県参事、企画振興部長を表敬訪問。

●サモア独立国との交流

2016年 6月	ラブチャー・パガイアリ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	---

●トンガ王国との交流

2016年 6月	タニア・トゥポウ駐日大使がマーシャル諸島共和国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ニュージーランドとの交流

2004年 8月	ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2005年11月	ジョン・マッカーサー駐日大使が来県、出納長を表敬訪問。
2006年 5月	ホール前ロトルア市長が来県、知事を表敬訪問。
2009年 1月	西謙二大分県ニュージーランド友好協会会長がニュージーランド・メリット勲章名誉五等勲士を授与される。
5月	イアン・フォーブス・ケネディー駐日ニュージーランド大使が、西友好協会長の勲章記念祝賀会に参加するため来県し、知事を表敬訪問。
2010年 8月	マーク・ピアソン駐日公使がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。
2017年10月	スティーブン・ペイトン駐日ニュージーランド大使がRWC2019大分開催2年前イベント参加のため来県、知事を表敬訪問。
2019年10月	ヘイミッシュ・ネヴィル・フランシス・クーパー大使が着任挨拶及びRWC2019大分開催関係者訪問のため来県、知事を表敬訪問。

●パプアニューギニア独立国との交流

2005年12月	駐日パプアニューギニア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
2010年 8月	マシユ・ドリユウェイ駐日参事官がA P E C成長戦略ハイレベル会合参加のため来県。

●パラオ共和国との交流

2005年12月	パラオ共和国トミー・レメンゲサウ大統領が来県、知事を表敬訪問。
----------	---------------------------------

●フィジー共和国

2013年 9月	イシケリ・マタイトガ駐日フィジー共和国大使が来県、知事を表敬訪問。
2015年10月	在別府フィジー共和国名誉領事に河村眞實氏が就任。
2016年 6月	ジュリア・コロボウ参事官がトンガ王国駐日大使、マーシャル諸島共和国駐日大使、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。

●マーシャル諸島との交流

2007年12月	フィリップ・ケラミン・カブア駐日大使がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立南小学校を訪問し、児童と交流。
2016年 6月	トーマス・D・キチナー駐日大使がトンガ王国駐日大使、フィジー共和国参事官、およびサモア独立国参事官とともに来県、知事を表敬訪問。

●ミクロネシア連邦との交流

2007年12月	エマニュエル・モリ大統領がアジア・太平洋水サミットに出席のため来県。別府市立亀川小学校を訪問し、児童と交流。
----------	--

【中東】

●イスラエルとの交流

2008年 3月	ニシム・ベンシトリット駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	-----------------------------

●イラン・イスラム共和国との交流

2011年 1月	イラン国森林・装置管理プロジェクトＣＰ研修の一行(6名)が来庁(家畜衛生飼料室)し、畜産振興への取組について研修。
----------	---

●トルコ共和国との交流

2011年 1月	JICAトルコ研修員(林業関係の公務員技術者)22名が竹工芸・訓練支援センターを視察訪問。
2月	トルコ国チョルフ川流域修復・統合管理プロジェクト研修の一行(28名)が農林水産研究指導センター林業研究部きのこグループを訪問し、きのこ研究施設を視察。
2013年 3月	トルコ共和国ゾングルダック県コズル市長が知事を表敬訪問し、地震被災者救援活動中に亡くなった宮崎淳氏の功績をたたえた氏の銅像建設について報告。

●バングラデシュ人民共和国との交流

2017年 9月	ラバブ・ファティマ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
----------	---------------------------

【アフリカ】

●エチオピア連邦民主共和国との交流

2006年12月	外務担当大臣、駐日エチオピア大使が来県、竹工芸・訓練支援センターを視察。
----------	--------------------------------------

●カメルーン共和国との交流

2007年 8月	エジョアスポーツ体育省大臣及びエソンバ駐日臨時大使代理が、サッカー「キリンチャレンジカップ」のため来県、知事を表敬訪問。
2008年12月	ピエール・ンジェンゲ駐日大使が着任あいさつのため来県、知事を表敬訪問。
2017年 8月	大分ーカメルーン共和国友好協会設立。
2017年 8月	レイモンド・カムガ臨時大使が副知事を表敬訪問。大分ーカメルーン共和国友好協会の設立を報告。
2018年 5月	ピエール・ゼンゲ駐日大使がカメルーンナショナルデー、カメルーン文化紹介展示会の大分開催のため来県、知事を表敬訪問。
2018年11月	カメルーン企業団が来県、副知事を表敬訪問。
2019年 6月	ピエール・ゼンゲ駐日大使・カメルーン企業団代表が、県内企業とのビジネスミーティングのため来県、知事を表敬訪問。

●ジンバブエ共和国との交流

2005年 6月	スチュアート・ハロルド・ゴンバーバッチ駐日特命全権大使が来県、出納長を表敬訪問。
----------	--

●タンザニアとの交流

2013年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、副知事を表敬訪問。
2016年11月	「タンザニア地方政府改革プログラム」研修員が来県、熊本地震の義援金を贈呈。

●チュニジア共和国との交流

2004年 7月	モハメド・ジュイニ国際協力開発大臣が知事を表敬訪問。
----------	----------------------------

2006年10月	J I C A チュニジア研修団一行が来県産業科学技術センターを視察。
----------	-------------------------------------

●ボツワナ共和国との交流

2004年10月	オテン・ジェナモ・テバベ駐日大使が来県、知事を表敬訪問。
2013年11月	ジェイコブ・ディキエ・ンカテ駐日ボツワナ共和国大使が来県、副知事を表敬訪問。

●マラウイ共和国との交流

2003年 9月	マラウイ共和国バキリ・ムルジ大統領一行が来県、知事と会見するとともに県内を視察。
2004年11月	マラウイ共和国外務次官が来県、出納長を表敬訪問。
2005年 8月	ルーズベルト・ラストン・ゴンドゥエ駐日マラウイ共和国特命全権大使が来県、知事を表敬訪問。

●南アフリカ共和国との交流

2008年10月	ボールドウィン・シポ・ングバネ駐日大使、クワズール・ナタール州健康局長一行が地域医療支援調査のため来県、知事を表敬訪問。
----------	--

●ケニア共和国との交流

2014年 8月	ケニア共和国地方政府幹部15名が来県し、企画振興部長を表敬訪問。
----------	----------------------------------

15 多様な分野での国際交流の状況

① 芸術・文化交流

県民の芸術鑑賞機会の充実を図り、芸術文化活動を更に促進するため、国際的な催事を実施している。

・別府アルゲリッチ音楽祭（企画振興部芸術文化スポーツ振興課）

平成10年から、世界最高峰の音楽家の招へい等により優れたクラシック音楽を享受する機会を県民に提供するとともに、海外からも鑑賞のために来県する方がいるなど、日本を代表する国際音楽祭との高い評価を受けており、大分から全国・世界に向けた芸術文化の情報発信を行っている。

事業主体：公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団

内 容：世界最高峰のピアニスト、マルタ・アルゲリッチを総監督に世界から一流の演奏家や大分県出身の若手演奏家等を招いた音楽祭を開催

別府アルゲリッチ音楽祭における海外出演者（単位：人）

回	出身国数	人数
第1回（H10）	7か国	8
第2回（H11）	6か国	7
第3回（H13）	11か国	17
第4回（H14）	7か国	7
第5回（H15）	7か国	10
第6回（H16）	9か国	9
第7回（H17）	8か国	10
第8回（H18）	4か国	7
第9回（H19）	5か国	6
第10回（H20）	3か国	4
第11回（H21）	6か国	8
第12回（H22）	5か国	7
第13回（H23）	4か国	14
第14回（H24）	5か国	5
第15回（H25）	6か国	6
第16回（H26）	6か国	6
第17回（H27）	4か国	4
第18回（H28）	3か国	3
第19回（H29）	5か国	10
第20回（H30）	10か国	11
第21回（H31）	7か国	11
第22回（R2）	—	—

※第22回（R2）は、新型コロナウイルス感染症の影響により実績なし

・大分アジア彫刻展（企画振興部芸術文化スポーツ振興課）

平成4年から、ビエンナーレ（2年に1回）で開催。近代日本彫塑の基礎を築き、東京美術学校や「朝倉塾」で後進の育成に努めた本県出身の彫塑家朝倉文夫を顕彰し、アジアの新進彫刻家の登竜門としての才能の発掘及び国際公募展を豊後大野市と共同で開催している。

事業主体：大分県、豊後大野市、大分アジア彫刻展実行委員会

内 容：国内大学や美術館、海外美術館等の協力のもと、作品を公募。開会式やレセプション等には、海外受賞者も参加し、地元市民と交流を深めている。

大分アジア彫刻展応募者

（単位：人）

回	募集対象国	応募者数
第1回（H4～5）	日本、韓国	145

第2回 (H6～7)	日本、韓国、マレーシア	219
第3回 (H8～9)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン	248
第4回 (H10)	作家5人による竹を素材にした滞在制作	—
第5回 (H11～12)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	353
第6回 (H13～14)	日本、韓国、マレーシア、フィリピン、中国	355
第7回 (H15～16)	アジア全域	418
第8回 (H17～18)	アジア全域	459
第9回 (H19～20)	アジア全域	311
第10回 (H21～22)	アジア全域	431
第11回 (H23～24)	アジア全域	246
第12回 (H25～26)	アジア全域	262
第13回 (H27～28)	アジア全域	411
第14回 (H29～30)	アジア全域	318
第15回 (R1～R2)	アジア全域	311

・青少年の芸術・文化交流（教育庁文化課）

年 度	事 業 名
平成17年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第8回高校生日韓文化活動交流 ・中国歴代王朝展 ・バウハウス・デザイン展 ・首藤コレクション — プレゼンテーションとパネルディスカッション—
平成18年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第9回高校生日韓文化活動交流 ・北京故宮博物院展 ・世界ナスカ展
平成19年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第10回高校生日韓文化活動交流 ・ロシア国立東洋美術館所蔵「首藤コレクション展」 ・20世紀の巨匠ルオー「ミセーレ」の世界展 ・美術鑑賞講座「インド美術紀行」
平成20年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第11回高校生日韓文化活動交流 ・没後50年モーリス・ド・ヴラマンク展 ・セルビアのナイーヴ・アート展 ・吉村作治の新発見！エジプト展
平成21年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第12回高校生日韓文化活動交流 ・エルミタージュ美術館所蔵「エカテリーナ2世の晩餐会」
平成22年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第13回高校生日韓文化活動交流 ・世界遺産アンコールワット展
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第14回高校生日韓文化活動交流
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第15回高校生日韓文化活動交流
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第16回高校生日韓文化活動交流
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第17回高校生日韓文化活動交流
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第18回高校生日韓文化活動交流
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第19回高校生日韓文化活動交流
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第20回高校生日韓文化活動交流
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第21回高校生日韓文化活動交流
令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第22回高校生日韓文化活動交流（中止）
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ・第23回高校生日韓文化活動交流（中止）

②スポーツ交流

・日独スポーツ少年団交流事業（教育庁体育保健課）

（公財）日本スポーツ協会が実施する本事業を大分県スポーツ協会が受託し、スポーツ少年団の指導者及びリーダーをドイツへ派遣するとともに、ドイツ・スポーツ・ユースを迎えて、指導者、リーダー及び団員の交流を行い、両国の友好親善を図る。

（県スポーツ協会）

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度
派遣	人数	1人	1人	3人	1人	2人	2人	2人	2人	2人	2人	中止
	期間	23日	23日	18日	18日	18日	18日	18日	18日	18日	18日	
受入	人数	9人	0人	7人	9人	9人	9人	8人	9人	8人	8人	中止
	期間	6日		5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	5日	

※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・高校生日韓スポーツ活動交流事業

本県高校生のスポーツ活動を充実・発展させるため、本県と大韓民国忠清南道の高校生のスポーツ交流（隔年で派遣・招へい）を行い、日韓友好の心情を培い、相互理解を深めるとともに両国のスポーツ活動の振興に寄与した。

（体育保健課）

		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R1年度	2年度
派遣	人数	—	20人	—	—	—	中止	—	20人	—	中止	中止
	期間	—	4日	—	—	—		—	4日	—		
受入	人数	20人	—	19人	—	25人	—	中止	—	20人	中止	中止
	期間	4日	—	4日	—	4日	—		—	4日		

※R2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止

・大分国際車いすマラソン大会

国内及び外国・地域の身体障がい者が車いすマラソンを通じて、社会に参加する意欲を高めるとともに、県民の身体障がい者に対する理解を深めることを目的として開催している。（障害者社会参加推進室）

大分国際車いすマラソン大会開催状況（出走者数）

		2010年 第30回	2011年 第31回	2012年 第32回	2013年 第33回	2014年 第34回	2015年 第35回	2016年 第36回	2017年 第37回	2018年 第38回	2019年 第39回	2020年 第40回
外国	国・地域数	19	15	13	15	13	14	14	15	15	17	—
	選手人数	67	55	41	47	42	42	44	55	45	48	—
日本	都道府県	37	37	37	33	32	32	31	31	29	29	23
	選手人数	240	206	210	200	191	190	186	169	178	162	99
選手人数合計		307	261	251	247	233	232	230	224	223	210	99

※第37回大会はレース中止により受付数

※2020年は新型コロナウイルス感染症の影響により、国内選手限定の「大分車いすマラソン2020」を開催したため、外国選手の参加実績なし

③教育・学術交流等

・高校生の海外留学等

高校生の受入れ、派遣については、AFS、YFUやロータリークラブ、ライオンズクラブ等の仲介による交換留学が中心である。

(高校教育課)

* 海外留学状況（公立高校生）

留 学 先	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年
アメリカ	23	20	13	9	4		5	3	3	3	5	1	1		3
カナダ	3	2	3	3	1			1	1			1	2	1	2
オーストラリア	10		6	5	1						1				
ニュージーランド	1	1	2	14					1		1	1			
イギリス	6	2		4	6										
コスタリカ		1	1												
ドイツ	1													1	1
ブラジル															
ハンガリー															
フィリピン															
フランス				1	1									1	1
タイ															
中国	3	2		2											
インドネシア	1														
カンボジア			1	1											
オランダ								1							
フィンランド										1					
スイス										1			1		
イタリア											1		1	1	
チェコ														1	
韓国														1	
計	48人	29人	26人	39人	13人	—	5人	5人	5人	5人	8人	3人	5人	6人	7人

* 外国人留学生受入状況（公立高校）

国 籍	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	28年	29年	30年	R1年
ニュージーランド															
ドイツ	2		2											2	
フランス				1										1	1
フィリピン		1													
フィンランド					1										
スウェーデン															
ノルウェー	1	1					1	1		1					
タイ		2		1	1		1			1	1	1	1		1
インドネシア							1								
チリ			1												
スイス					1										
マレーシア				1											
シンガポール															
ベトナム															
ボリビア	1														
アルゼンチン															
カンボジア	1														
ラオス	1														
コスタリカ			1												
メキシコ			1				1								
ブラジル	1								1			1			
アメリカ	9	1	2	1	3		1	1	1				1	3	
中国				1	1						1				
オーストラリア					1			1				1			
オーストリア							1								
チェコ								1	1						1
ペルー												1			
グアテマラ													1		
計	16人	8人	7人	6人	8人	—	6人	4人	3人	2人	2人	4人	3人	6人	3人

・教職員の海外派遣

優秀な教員を対象として諸外国の教育、文化及び社会等の諸事情を視察させる短期派遣を実施したほか、日本人学校などの在外教育施設への教員派遣や、マレーシア政府派遣留学生に対する予備教育派遣、スポーツ競技力向上のためのトップコーチ派遣を実施した。

(教育人事課) (トップコーチ派遣：体育保健課)

教員海外派遣者数(人)

年度	短期派遣	長期派遣	若手派遣	日米国民交流	在外教育施設への教員派遣	マレーシア政府派遣留学生予備教育派遣	トップコーチ派遣	派遣者合計
H16	-	-	-	-	13	2	2	17
H17	3	1	-	-	15	0	2	21
H18	4	1	-	-	16	1	2	24
H19	3	-	-	-	17	3	3	26
H20	3	-	-	-	20	3	3	29
H21	3	-	-	-	22	2	2	29
H22	3	-	-	-	22	1	1	27
H23	3	-	-	-	20	2	2	27
H24	3	-	-	-	16	1	2	22
H25	0	-	-	-	13	0	2	15
H26	0	-	1	-	12	0	2	15
H27	0	-	-	-	8	0	2	10
H28	0	-	-	-	9	0	2	11
H29	0	-	-	-	7	0	-	7
H30	0	-	-	-	8	0	-	8
R 1	0	-	-	-	8	1	-	9
R 2	0	-	-	-	8	1	-	9

④青少年交流

訪日教育旅行に伴う学校交流等

中国や韓国など海外からの教育旅行団が県内学校等を訪問し、双方の児童生徒が様々な交流を行った。学校交流は、未来を担う若い世代が異文化相互理解を深めて国際感覚を養う良い機会となっている。

※訪日教育旅行については、国・地域によって様々な実施形態がある。日本の修学旅行とは異なり、希望者を集めた団体旅行であることが多く、規模も数名から数十名程度で、学校ではなく青少年団体が主催となる場合もあるなど、必ずしも学校行事の一環として実施されるものではない。

※令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響で実績なし。

国際協力・国際貢献の状況

16 独立行政法人 国際協力機構（JICA）事業の状況

「JICAボランティア事業」は、日本政府のODA予算により、独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する事業。開発途上国からの要請（ニーズ）に基づき、それに見合った技術・知識・経験を持ち、「開発途上国の人々のために生かしたい」と望む方を募集し、選考、訓練を経て派遣される。

活動分野は農林水産、保健衛生、教育文化、スポーツ、計画・行政など多岐にわたり、自分の持っている知識、技術、経験などを生かせるのがJICAボランティアの特徴である。

(国際政策課)

JICAボランティア派遣実績(令和2年10月末現在、大分県出身者のみ)

青年海外協力隊	累計543人、76カ国	昭和40年以降
シニア海外ボランティア	累計4人、4カ国	
日系社会青年ボランティア	累計11人、4カ国	昭和61年以降
日系社会シニアボランティア	累計4人、2カ国	

青年海外協力隊

アジア		アフリカ	
インドネシア	4	マリ	1
マレーシア	22	モザンビーク	3
フィリピン	30	ニジェール	7
タイ	9	ルワンダ	6
カンボジア	4	セネガル	15
ラオス	15	小計 23カ国	166人
ベトナム	3	北米中南米	
中華人民共和国	14	ベリーズ	1
モンゴル	6	コスタリカ	8
ブータン	11	ドミニカ共和国	8
バングラデシュ	17	エルサルバドル	4
インド	4	グアテマラ	8
モルディブ	3	ホンジュラス	15
ネパール	11	ジャマイカ	8
スリランカ	8	メキシコ	2
キルギス	2	ニカラグア	16
ウズベキスタン	2	パナマ	4
小計 17カ国	165人	セントルシア	1
中東		セントビンセント	1
ヨルダン	8	ボリビア	20
イエメン	1	チリ	3
エジプト	2	コロンビア	1
モロッコ	7	エクアドル	9
チュニジア	3	パラグアイ	19
小計 5カ国	21人	ペルー	14
アフリカ		ベネズエラ	2
ボツワナ	2	小計 19カ国	144人
エチオピア	4	大洋州	
ガーナ	18	フィジー	9
ケニア	11	マーシャル	2
リベリア	1	ミクロネシア	2
マラウイ	24	パプアニューギニア	4
ナミビア	2	トンガ	5
ウガンダ	5	バヌアツ	2
タンザニア	22	サモア	8
ザンビア	18	パラオ	4
ジンバブエ	5	小計 8カ国	36人
ベナン	6	欧州	
ブルキナファソ	6	ブルガリア	6
カメルーン	3	ルーマニア	3
コートジボワール	1	ハンガリー	1
ジブチ	2	ポーランド	1
ガボン	1	小計 4カ国	11人
マダガスカル	3	累計 76カ国	543人

シニア海外ボランティア

ヨルダン	1
タンザニア	1
ニジェール	1
バングラデシュ	1
累計 4カ国	4人

日系社会青年ボランティア

メキシコ	1
アルゼンチン	2
ブラジル	5
パラグアイ	3
累計 4カ国	11人

日系社会シニアボランティア

アルゼンチン	1
ブラジル	3
累計 2カ国	4人

(単位：人)

青年海外協力隊(現在派遣中)

アジア	
インド	1
中華人民共和国	1
小計 2カ国	2
アフリカ	
ルワンダ	1
小計 1カ国	1
北米、中南米	
エルサルバドル	1
小計 1カ国	1
合計	4

(単位:人)

令和2年10月末現在

産業・経済交流の状況

17 貿易の状況

令和2年の本県の貿易額は、通関実績（確々報値）によると、輸出6,034億円（前年比81.3%、約1,387億円減）、輸入9,729億円（対前年比83.4%、約1,934億円減）となっている。

（門司税関貿易統計より）

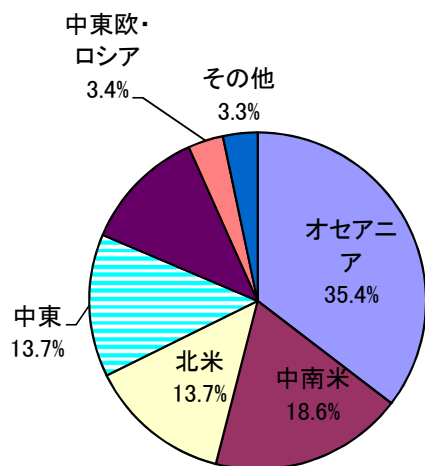
（百万円）

	令和2年	令和元年	平成30年
輸出額	603,417	742,144	826,360
輸入額	972,972	1,166,395	1,279,658

① 輸入

地域別輸入額構成割合

令和2年輸入額 9,729億7,200万円

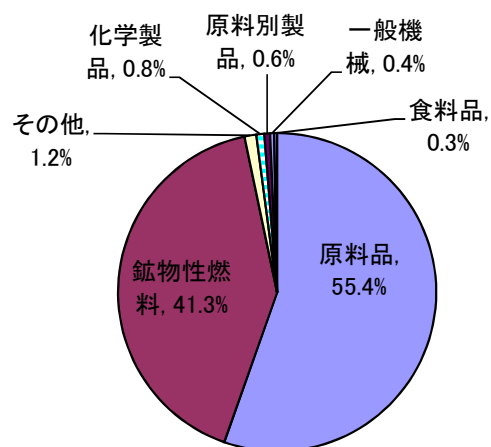


輸入上位5カ国

- ①オーストラリア
- ②チリ
- ③アメリカ合衆国
- ④カナダ
- ⑤ブラジル

品目別輸入構成割合

令和2年輸入額 9,729億7,200万円



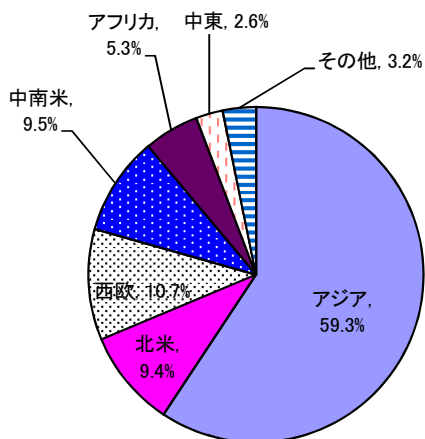
輸入上位5品目

- ①非鉄金属鉱
- ②鉄鉱石
- ③石炭
- ④揮発油
- ⑤原油及び粗油

② 輸出

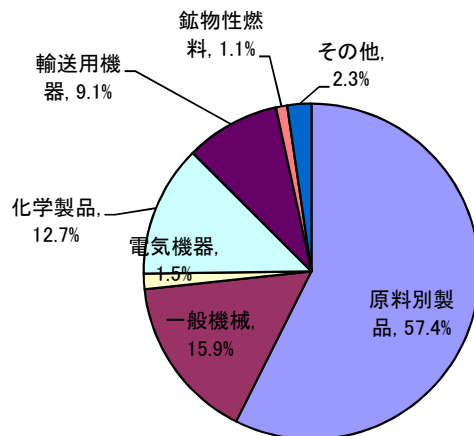
地域別輸出額構成割合

令和2年輸出額 6,034億1,700万円



品目別輸出構成割合

令和2年輸出額 6,034億1,700万円



輸出上位10カ国(最近10年)

(百万円)

年順位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1	中国 182,612	中国 154,199	中国 215,156	中国 180,553	中国 174,538	中国 137,817	中国 159,438	中国 179,286	中国 157,296	中国 147,073
2	韓国 127,053	韓国 115,887	韓国 144,541	韓国 119,296	韓国 80,617	韓国 66,862	アメリカ 88,800	アメリカ 89,323	アメリカ 77,613	アメリカ 56,591
3	パナマ 73,251	アメリカ 76,692	オランダ 84,546	タイ 78,973	オランダ 70,100	オランダ 59,793	韓国 82,341	オランダ 83,636	韓国 69,735	韓国 50,972
4	アメリカ 57,175	オランダ 64,904	アメリカ 79,665	オランダ 65,475	タイ 54,570	アメリカ 57,808	オランダ 70,049	タイ 71,605	オランダ 57,246	タイ 39,724
5	オランダ 48,765	タイ 56,835	タイ 68,176	アメリカ 47,239	アメリカ 43,443	タイ 43,779	タイ 61,367	韓国 66,649	タイ 51,830	オランダ 37,135
6	タイ 45,623	パナマ 50,806	パナマ 45,225	パナマ 35,269	台湾 29,076	台湾 28,918	台湾 37,819	台湾 45,059	インド 49,261	台湾 30,385
7	台湾 45,016	シンガポール 25,508	台湾 35,427	台湾 26,690	パナマ 24,219	パナマ 16,014	パナマ 26,890	パナマ 43,945	台湾 37,944	ベトナム 24,047
8	シンガポール 36,868	台湾 22,287	シンガポール 35,012	シンガポール 20,610	メキシコ 20,310	インドネシア 15,834	シンガポール 24,879	シンガポール 32,336	パナマ 30,650	パナマ 23,789
9	サウジアラビア 17,973	ベトナム 15,366	ベトナム 19,681	インドネシア 17,242	インドネシア 20,011	シンガポール 15,577	ベトナム 20,351	インド 30,032	シンガポール 21,076	インド 15,372
10	香港 17,598	サウジアラビア 11,536	インドネシア 17,778	サウジアラビア 15,535	サウジアラビア 16,863	マレーシア 15,561	マレーシア 17,647	ベトナム 22,391	ベトナム 18,126	シンガポール 13,976

輸出上位10品目(最近10年)

年順位	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
1	鉄鋼 253,831	鉄鋼 245,198	鉄鋼 254,684	鉄鋼 250,622	鉄鋼 231,893	鉄鋼 177,808	鉄鋼 218,748	鉄鋼 233,854	鉄鋼 223,689	鉄鋼 207,426
2	船舶 129,181	有機化合物 93,058	有機化合物 165,230	有機化合物 119,789	有機化合物 116,676	銅及び同合金 90,819	事務用機器 111,719	銅及び同合金 124,382	銅及び同合金 117,901	銅及び同合金 125,088
3	有機化合物 109,997	事務用機器 87,178	銅及び同合金 112,277	銅及び同合金 115,600	銅及び同合金 102,888	事務用機器 89,274	有機化合物 102,988	映像機器 112,393	有機化合物 113,984	事務用機器 84,983
4	事務用機器 97,391	船舶 86,291	事務用機器 97,521	事務用機器 90,091	事務用機器 88,879	有機化合物 81,658	銅及び同合金 92,382	事務用機器 108,028	事務用機器 95,622	有機化合物 62,636
5	銅及び同合金 96,045	映像機器 80,653	映像機器 74,970	船舶 49,785	船舶 56,964	船舶 65,828	船舶 67,225	有機化合物 94,470	映像機器 55,683	船舶 54,727
6	映像機器 35,071	銅及び同合金 74,080	石油製品 54,919	映像機器 28,159	映像機器 22,845	映像機器 20,930	映像機器 61,280	船舶 64,017	船舶 52,053	荷役機械 10,562
7	石油製品 34,969	石油製品 12,323	船舶 51,000	プラスチック 13,281	石油製品 19,122	荷役機械 17,052	石油製品 18,881	荷役機械 13,697	荷役機械 16,250	映像機器 8,500
8	自動車 9,398	プラスチック 8,678	荷役機械 13,017	荷役機械 12,137	荷役機械 15,987	セメント 9,604	荷役機械 14,700	石油製品 11,948	石油製品 9,981	セメント 8,082
9	プラスチック 9,121	合成ゴム 8,173	合成ゴム 7,679	合成ゴム 8,811	プラスチック 11,051	石油製品 8,798	合成ゴム 9,573	合成ゴム 8,381	合成ゴム 8,236	合成ゴム 6,408
10	合成ゴム 8,283	荷役機械 6,972	セメント 5,861	セメント 6,748	セメント 8,651	プラスチック 8,561	プラスチック 9,093	プラスチック 7,491	プラスチック 6,145	プラスチック 5,285

③ 国際見本市への参加

県内優良中小企業の製品紹介や県内特産品の紹介、宣伝及び海外市場開拓を目的に国際見本市等へ参加している。

(商業・サービス業振興課)

事業名	実施期間	開催場所	出展品目数
ANUGA 2009	平成21年10月10日～14日	ドイツケルンメッセ	6社10品目
SIAL 2010	平成22年10月17日～21日	フランスパリ	2社2品目
KOREA FOOD EXPO 2011	平成23年11月9日～12日	韓国ソウル COEX	3社13品目
2012 日本商品直送in中国	平成24年3月2日～4日	上海展覧センター	4社22品目
香港 FOOD EXPO 2012	平成24年8月16日～18日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	8社10品目
KOREA FOOD WEEK 2012	平成24年11月6日～9日	韓国ソウル COEX	2社9品目
第10回日本商品直送in大上海	平成25年1月16日～20日	上海市メトロシティ	9社26品目
大分県産酒輸出プロモーション in韓国・ソウル	平成25年3月12日～13日	韓国ソウル COEX ほか	2社10品目
日本の観光・物産博 2013	平成25年5月17日～19日	台北駅	5社6品目
香港 FOOD EXPO 2013	平成25年8月15日～17日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	6社14品目
シンガポール「大分県銘品」フェア	平成25年10月4日～8日	リソコト ショッピングセンター	21社201品目
FHC CHINA 2013	平成25年11月13日～15日	上海新国際博覧中心	7社12品目
ユニー香港「日本食品祭」	平成26年5月8日～12日	香港ユニー太古城店	8社36品目
マカオ ニューヤオハン「日本食品フェア」	平成26年7月28日～8月10日	マカオ ニューヤオハン	7社70品目
香港 FOOD EXPO 2014	平成26年8月14日～16日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	4社39品目
北京イトーヨーカドー「九州うまかもんフェア」	平成27年1月24日～2月1日	北京イトーヨーカドー三里屯店	8社49品目
第9回中国中部投資貿易博覧会	平成27年5月18日～20日	武漢国際博覧センター	12社30品目
フード台北 2015	平成27年6月24日～27日	台北世界貿易センター	11社24品目
マカオフランチャイズエキスポ 2015	平成27年7月3日～5日	マカオベネチアンホテル	10社34品目
香港 FOOD EXPO 2015	平成27年8月13日～15日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	8社49品目
日本商品大連地区巡回展	平成28年6月9日～12日	大連市西岗区オリンピック広場	7社26品目
香港 FOOD EXPO 2016	平成28年8月11日～13日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	6社39品目
中国国際漁業博覧会	平成28年11月2日～4日	青島国際博覧中心	4社21品目
台北国際酒展	平成28年11月18日～20日	台北南港展覧館	6社25品目
香港 FOOD EXPO 2017	平成29年8月17日～19日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	4社20品目
FOOD JAPAN 2017	平成29年10月26日～28日	サンテック・シンガポール国際会議展示場	3社10品目
ユニー香港「ジャパンフェア」	平成29年11月1日～7日	香港ユニー太古城店	11社31品目
台湾 新光三越「日本商品展」	平成29年9月30日～12月17日	新光三越台北南西店等	6社24品目
香港 FOOD EXPO 2018	平成30年8月17日～19日	香港コンベンション&エキシビジョンセンター	4社22品目
台北国際酒展	平成30年11月16日～19日	台北南港展覧館	5社
Food&Hotel Thailand	平成30年9月5日～8日	Bangkok International Trade Exhibition Center	1社5品目
FHC CHINA 2018	平成30年11月12日～15日	上海市	4社
SIAL CHINA 2018	平成30年5月16日～18日	上海新国際博覧中心	4社
中国国際輸入博覧会	平成30年11月5日～10日	上海市	7社
SIAL CHINA 2019	令和元年5月14日～16日	上海新国際博覧中心	1社5品目
中国国際輸入博覧会	令和元年11月5日～10日	上海市	5社
中国国際輸入博覧会	令和2年11月5日～10日	上海市	9社

大分県内の海外展開企業数

(国際政策課)

年度	中国	その他アジア	アジア以外	計
2016	38	53	11	102
2017	38	61	11	110
2018	39	61	12	112
2019	46	62	11	119
2020	40	68	13	121

18 産業技術交流の状況

① 海外技術・文化研修員受入事業等

県では、開発途上国に対する技術協力の一環として、昭和53年度から海外技術研修員受入事業を実施した。

また、平成25年度から、ブラジル大分県人会子弟を対象とした日本語研修を実施している。

(国際政策課)

(単位：人)

国名	H21 以前	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2	計
ブラジル連邦共和国	117	1			2	1	2	2		2	2		129
フィリピン共和国	25												25
マレーシア	19												19
ボリビア共和国	9												9
ペルー共和国	9												9
アルゼンチン共和国	8	1											9
パラグアイ共和国	6												6
ネパール共和国	3												3
ホンジュラス共和国	4												4
バングラデシュ人民共和国	2												2
タンザニア連邦共和国	2												2
スリランカ民主主義共和国	2												2
インドネシア共和国	21												21
中華人民共和国	22												22
タイ王国	1												1
マラウイ共和国	1												1
コスタリカ共和国	2												2
モンゴル	8												8
カンボディア王国	2												2
ドイツ連邦共和国	1												1
ミャンマー連邦	1												1
合 計	265	2	0	0	2	1	2	2	0	2	2	-	278

※令和2年は新型コロナウイルス感染症の国際的な拡大に伴う入国制限措置により、受入を中止

② 自治体職員協力交流事業

年度	研修員名	性別	派遣元	受入期間
H16	張雪蓮	女	中国上海市人民対外友好協会	5.25～11.25
17	殷蘭	女	中国浙江省嘉興市嘉興経済開発区	5.22～3.21
18	毛曉旦	男	中国江蘇省無錫市錫山経済開発区	5.21～11.21
25	李新華	女	中国湖北省恩施土家族苗族自治州	5.19～11.24
26	熊婧	女	中国湖北省咸寧市	5.18～11.23
27	陳瑾	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.17～11.22
28	謝芳	女	中国湖北省宜昌市	5.15～11.20
29	戴立君	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.21～11.26
30	陳娟	女	中国湖北省孝感市孝南区	5.20～11.20
R1	李婷	女	中国湖北下陸長楽山工業園区管理委員会	5.19～11.20
2			※受入実績なし	

③ 海外派遣事業（農業関係）

農業の国際化・自由化に対応した、農業・農村の確立普及を図るため、農業大学校生を派遣している。

（新規就業・経営体支援課）

（単位：人）

事業名	派遣先	派遣区分	派遣年度別人数													計	
			H20迄	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	R1	2		
海外農業体験研修事業	アメリカ カリフォルニア州	農業大学校 2年生	435														435
	オランダ・ドイツ		354														354
	ドイツ		31		31	29	37	40	28	33							229
	オーストラリア											38	29	34	37	0	138
	小計		820	0	31	29	37	40	28	33	38	29	34	37	0	1,156	

19 観光の状況

① 外国人宿泊客数の動向

令和2年の外国人宿泊客数は令和元年と比べて88.2%減少した。

外国人宿泊客の国・地域別構成をみると、韓国からの宿泊客が最も多く、全体の27.1%を占める。次いで台湾が16.9%、3番目に多い香港が13.9%となった。

新型コロナウイルス感染症の影響でほとんどの期間海外渡航ができず、このような数値となった。

(観光局)

外国人宿泊客数(観光庁宿泊旅行統計調査)

単位:人

国・地域	平成27	平成28	平成29	平成30	令和1	令和2
韓国	389,600	384,350	648,850	651,370	410,760	27,610
台湾	90,730	96,210	118,180	129,720	145,230	17,210
香港	58,450	56,610	81,260	103,140	99,890	14,130
中国	56,850	69,250	79,140	97,840	99,790	12,260
欧米豪	15,580	16,180	20,070	27,250	63,570	4,950
その他外国	81,920	85,410	98,390	91,230	113,960	25,600
外国人延べ宿泊者数	773,990	827,010	1,386,930	1,442,210	1,206,780	141,980

【国・地域別出典：参考第1表(従業者数10人以上の施設)】

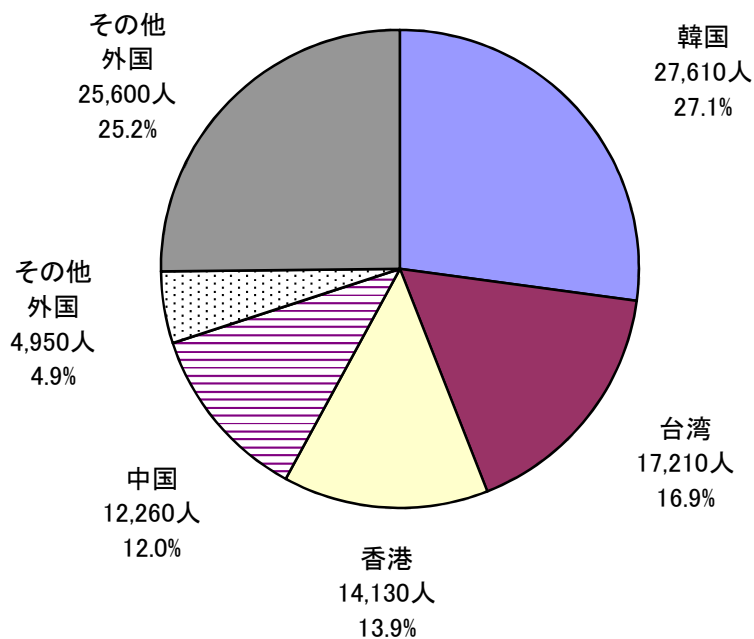
【外国人延べ宿泊客数出典：推移表 3-1. 都道府県別 外国人延べ宿泊者数 推移表(年計)】

※H26 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア(国籍(出身地)(19区分))

※H27～R2 欧米豪：アメリカ、カナダ、イギリス、ドイツ、フランス、オーストラリア、イタリア、スペイン(国籍(出身地)(21区)

※令和元年まで確報値(令和2年度は速報値)

令和2年 国地域別外国人宿泊者数比率
(参考第1表 従業者数10人以上の施設)



② 旅券発行・海外渡航

大分県における旅券の発行件数は、海外渡航者の増加とともに平成7年に初めて4万件を超え、10年旅券の発行開始や高校生の海外修学旅行が大幅に増加したことなどにより、平成12年には過去最高の46,677件の発行件数を記録した。

その後、平成13年の米国同時多発テロ、平成15年のイラク戦争やSARSの流行により海外渡航者数・旅券発行件数は全国的に激減した。SARSの終息と共に平成16年は増加に転じ、以後増減を繰り返してきた。

しかし、平成25年には、円安や中国、韓国との歴史問題等を背景に海外渡航者数が減少し、旅券発行数も大きな減少となり、この傾向は平成27年まで続いた。

平成28年は、平成7年に発行開始された10年旅券の2回目の切替発給の年にあつたことから増加した。平成29年からも海外渡航者数が引き続き増加し、特に令和元年は5月が長期連休になったことなどから、旅券発行件数が平成25年以降、最高の件数になった。しかし、令和2年は新型コロナウイルス感染症の世界的蔓延により、各国で入国制限措置が取られ海外渡航者数が大幅に減少したことから、旅券発行件数も減少した。

(国際政策課パスポート班)

(単位：件、人)

年 別	旅券発行件数 (A)				海外渡航者数 (B)				$\frac{(B)}{(A)}$	
	全 国		大 分 県		全 国		大 分 県		全 国	大 分 県
	件 数	増加率	件 数	増加率	人 数	増加率	人 数	増加率		
19	4,209,097	△ 2.2	27,235	△ 5.5	17,294,935	△ 1.4	76,647	△ 3.7	4.11	2.81
20	3,801,384	△ 9.7	23,794	△ 12.6	15,987,250	△ 7.6	68,663	△ 10.4	4.21	2.89
21	4,015,470	5.6	25,091	5.5	15,445,684	△ 3.4	67,788	△ 1.3	3.85	2.70
22	4,185,080	4.2	26,108	4.1	16,637,224	7.7	72,741	7.3	3.98	2.79
23	3,961,382	△ 5.3	27,292	4.5	16,994,200	2.1	76,286	4.9	4.29	2.80
24	3,924,008	△ 0.9	28,162	3.2	18,490,657	8.8	84,061	10.2	4.71	2.98
25	3,296,805	△ 16.0	20,688	△ 26.5	17,472,748	△ 5.5	71,918	△ 14.4	5.30	3.48
26	3,210,844	△ 2.6	20,169	△ 2.5	16,903,388	△ 3.3	67,721	△ 5.8	5.26	3.36
27	3,249,593	1.2	17,773	△ 11.9	16,213,789	△ 4.1	61,142	△ 9.7	4.99	3.44
28	3,738,380	15.0	20,566	15.7	17,116,420	5.6	65,213	6.7	4.58	3.17
29	3,959,468	5.9	22,193	7.9	17,889,292	4.5	69,085	5.9	4.52	3.11
30	4,182,207	5.6	25,472	14.8	18,954,031	6.0	77,567	12.3	4.53	3.05
R1	4,365,290	4.4	26,651	4.6	20,080,669	5.9	84,294	8.7	4.60	3.16
2	1,234,928	△ 71.7	6,128	△ 77.0	3,174,219	△ 84.2	11,899	△ 85.9	2.57	1.94

(注) (B)は出入国管理統計年報(法務省発行(毎年7月公開))による。

年代別旅券発行件数

(単位：件)

平成30年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	2,422	9.5	3,144	12.3	5,566	21.9
20～29	2,223	8.7	3,201	12.6	5,424	21.3
30～39	1,609	6.3	1,567	6.2	3,176	12.5
40～49	1,783	7.0	1,632	6.4	3,415	13.4
50～59	1,407	5.5	1,739	6.8	3,146	12.4
60～69	1,472	5.8	1,658	6.5	3,130	12.3
70～79	651	2.6	733	2.9	1,384	5.4
80歳以上	98	0.4	133	0.5	231	0.9
計	11,665	45.8	13,807	54.2	25,472	100.0

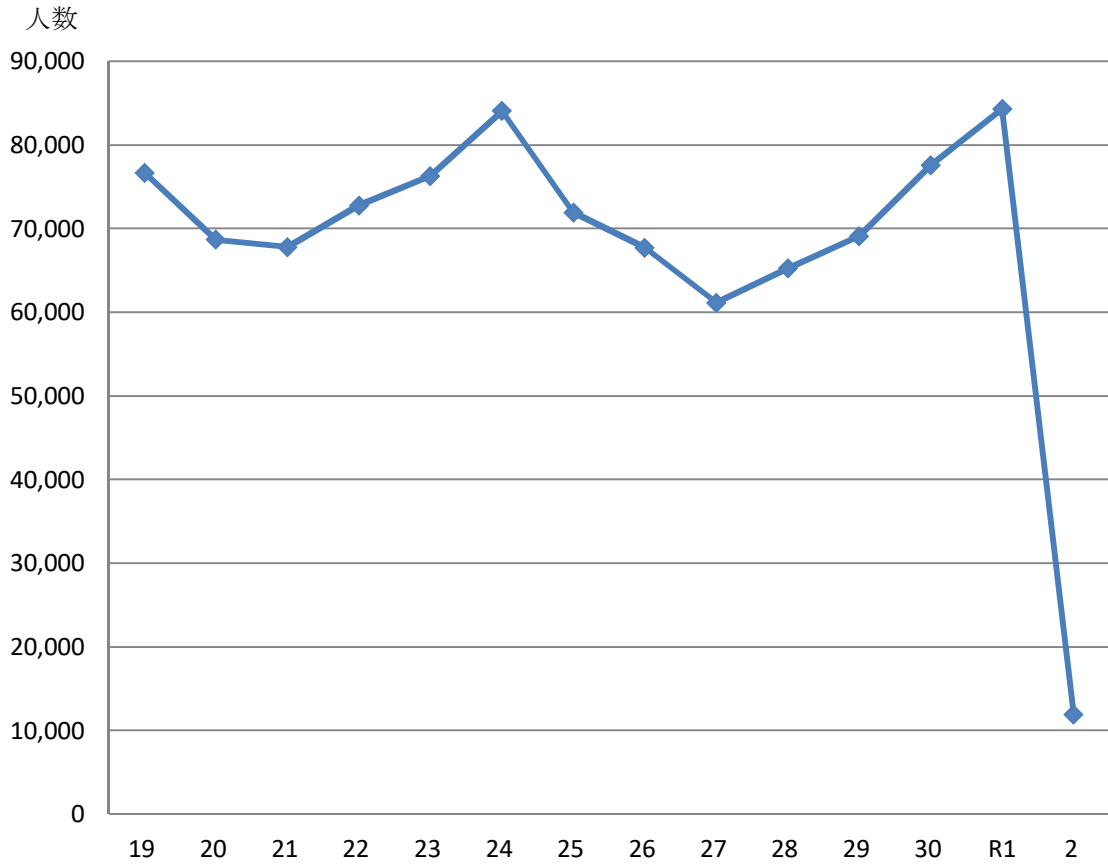
令和元年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	2,672	10.0	3,459	13.0	6,131	23.0
20～29	2,346	8.8	3,165	11.9	5,511	20.7
30～39	1,615	6.0	1,695	6.4	3,310	12.4
40～49	1,731	6.5	1,796	6.7	3,527	13.2
50～59	1,376	5.2	1,808	6.8	3,184	12.0
60～69	1,455	5.5	1,670	6.2	3,125	11.7
70～79	712	2.7	894	3.3	1,606	6.0
80歳以上	110	0.4	147	0.6	257	1.0
計	12,017	45.1	14,634	54.9	26,651	100.0

令和2年

年代別 \ 性別	男		女		計	
	件数	%	件数	%	件数	%
0～19	516	8.4	562	9.2	1,078	17.6
20～29	629	10.3	686	11.2	1,315	21.5
30～39	340	6.0	350	5.7	690	11.3
40～49	386	6.3	435	7.1	821	13.4
50～59	362	5.9	432	7.0	794	12.0
60～69	417	6.8	473	6.2	890	14.5
70～79	229	3.7	237	3.3	466	7.6
80歳以上	37	0.6	37	0.6	74	1.2
計	2,916	47.6	3,212	52.4	6,128	100.0

年次別海外渡航者数の推移(大分県)



付 属 資 料

1 国際交流関係機関等

① 国等の国際交流関係機関

機 関 名	電話・FAX番号	所在地・業務内容・HPアドレス
総務省	(代)03-5253-5111	東京都千代田区霞が関2-1-2 中央合同庁舎第2号館(〒100-8926)
自治行政局国際室	(直)03-5253-5527	地域レベルの国際化、外国青年招致事業
外務省	(代)03-3580-3311	東京都千代田区霞が関2-2-1(〒100-8919)
大臣官房総務課地方連携推進室	内線 4410	地方と外務省との連携の推進、地方自治体からの各種照会等の窓口業務
領事局政策課	内線 2333	安全な海外渡航、海外生活における福利増進に関する総合的な政策及び移住者の定着安定に関する政策
領事局海外邦人安全課	内線 2851	海外における日本人の安全対策や保護
領事局邦人テロ対策室	内線 3047	海外でのテロ・誘拐事件に関する日本人の安全対策や保護
領事局旅券課	内線 2313・5124	旅券(パスポート)に関する事務 [パスポートA to Z] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/passport/index.html
領事局外国人課	内線 3179	査証(ビザ)に関する事務及び在日外国人に関する外交政策 [日本国査証案内] http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/index.html
領事局領事サービスセンター 海外安全相談班	内線 2902・2903	海外安全情報の提供 [海外安全ホームページ] http://www.anzen.mofa.go.jp/
経済局政策課	内線 2505	主要国首脳会議(サミット)をはじめとした対外経済関係に関する外交政策
国際協力局政策課	内線 3900	ODA関係全般、独立行政法人国際協力機構の組織・運営一般
国際文化交流審議官人物交流室	内線 2391	人物交流事業の促進(国費留学生、JETプログラム、スポーツ交流など)
文部科学省	(代)03-5253-4111	東京都千代田区霞が関3-2-2(〒100-8959)
高等教育局学生・留学生課留学生交流室	内線 2479	留学生交流の推進 [ホームページ] http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/ryugaku/main4_a3.htm
法務省出入国在留管理庁	(代)03-3580-4111	東京都千代田区霞が関1-1-1(〒100-8973)
福岡出入国在留管理局	(代)092-717-5420 (FAX)092-717-5425	福岡県福岡市中央区舞鶴3-5-25 福岡第1法務総合庁舎 (〒810-0073) (入国・在留等の手続き)
外国人在留総合インフォメーションセンター	(直)0570-013904	福岡出入国在留管理局内 (日本語、英、韓、中、スペイン語等で対応可)
福岡出入国在留管理局大分出張所	(代)097-536-5006 (FAX)097-536-5030	大分県大分市荷揚町7-5 大分法務総合庁舎1階(〒870-8521)
(一財)自治体国際化協会(CLAIR)	(代)03-5213-1730 (FAX)03-5213-1741	東京都千代田区麹町1-7 相互半蔵門ビル1,6,7階(〒102-0083)
JETプログラム事業部 調整課 研修・カウンセリング課	(代)03-5213-1733 (FAX)03-5213-1743	外国青年招致事業
国際協力機構(JICA)	(代)03-5226-6660	東京都千代田区二番町5-25 二番町センタービル1~6階(〒102-8012)
九州国際センター(JICA九州総務課)	(代)093-671-6311 (FAX)093-671-0979	北九州市八幡東区平野2-2-1(〒805-8505)
日本貿易振興機構(JETRO)大分貿易情報センター	(代)097-513-1868 (FAX)097-513-1881	大分市東春日町17-19(〒870-0037) 大分ソフィアプラザビル4階
日本学生支援機構(JASSO)(本部)	(直)03-6743-6013	東京都新宿区市谷本村町10-7(〒162-0845)
国際交流基金コミュニケーションセンター	(直)03-5369-6075 (FAX)03-5369-6044	東京都新宿区四谷4-4-1(〒160-0004)
(公財)海外日系人協会	(代)045-211-1780 (FAX)045-211-1781	神奈川県横浜市中区新港2-3-1 JICA横浜国際センター2階(〒231-0001)
(公財)国際研修協力機構(JITCO)	(代)03-4306-1100 (FAX)03-4306-1112	東京都港区芝浦2-11-5 五十嵐ビルディング11階(〒108-0023)

②県内市町村の国際交流担当課

市町村名		担当課	電話番号	FAX
大 分 市		国際課	097-537-5719	536-4044
別 府 市		文化国際課	0977-21-1131	22-1919
中 津 市		総合政策課	0979-22-1111	24-7522
日 田 市		まちづくり推進課	0973-22-8356	22-8324
佐 伯 市		観光課	0972-22-4071	22-0025
臼 杵 市		秘書・総合政策課	0972-63-1111	64-0136
津 久 見 市		経営政策課	0972-82-9510	82-9520
竹 田 市		商工観光課	0974-63-4807	63-0701
豊 後 高 田 市		地域活力創造課	0978-25-6392	22-2725
杵 築 市		企画財政課	0978-62-1804	62-3293
宇 佐 市		秘書広報課	0978-27-8240	32-1138
豊 後 大 野 市		まちづくり推進課	0974-22-1001	22-3361
由 布 市		総合政策課	097-582-1111	582-3971
国 東 市		活力創生課	0978-72-5175	72-5182
東国東郡	姫 島 村	企画振興課	0978-87-2282	87-3629
速 見 郡	日 出 町	政策推進課	0977-73-3116	72-7294
玖 珠 郡	九 重 町	社会教育課	0973-76-3823	76-3826
	玖 珠 町	企画商工観光課	0973-72-1151	72-0810

③ 県内国際交流団体（令和3年3月時点）

【県・市町村・JICA等】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
公益社団法人 ツーリズムおおいた	会長 幸重 綱二	海外誘致営業課長 奥村 純一	〒870-0029 大分県大分市高砂町2番50号 OASISひろば21(3F)	大分県内における観光事業の健全な発展と振興並びに地域の活性化を図り、併せて健全な観光旅行の普及発達と国際観光の振興を促し、もって県民の生活、文化及び経済の向上発展に寄与するとともに、国際親善に寄与することを目的とする。	国内外への観光情報発信、観光客の誘致、受入態勢整備 等	TEL:097-536-6250 FAX:097-536-6251	E-mail:tourism@we-love-oita.or.jp
大分県JICA派遣専門家連絡会	会長 森 宣	城生 朋顕	879-5593 由布市狭間町医大ヶ丘1丁目1番地 大分大学医学部附属病院放射線部	JICAの技術協力の担い手として開発途上で活動した専門家のネットワークを構築することを目的とする。	国際協力の理解者として、またODA現場の体験者として、講演会等を通じて国際協力・交流の促進に貢献する。）	-	-
大分県青年海外協力協会	会長 長岡 健朗	事務局 吉田 雅子	879-1507 速見郡日出町豊岡3226-8	青年海外協力隊事業への参加経験を生かし、国際親善と世界平和に寄与すること	JICAボランティア事業、主に青年海外協力隊事業への支援、刊行物の発行、在大分県研修生、留学生との交流等	TEL:0978-62-0162 FAX:0978-62-0162	nkenro@ctb.ne.jp
大分県ユネスコ協会連盟	会長 丸尾 直彦	事務局員 津田 祐美	870-8503 大分市府内町3丁目10-1 大分県教育庁文化課内	ユネスコ憲章にのっとり、大分県におけるユネスコ活動を推進することを目的とする。	研修会の実施（大分県高等学校ユネスコクラブ等交流研修会）、募金活動の実施（東日本大震災子ども支援募金、熊本地震子ども支援募金等）、世界寺子屋運動への参加（書き損じハガキ回収運動）、日本ユネスコ協会連盟等主催行事への参加	TEL:097-506-5499 FAX:097-506-1811	a31700@pref.oita.lg.jp
公益財団法人 大分県芸術文化スポーツ振興財団(おおいた国際交流プラザ)	所長 二日市 具正	国際交流課 廣末裕子	870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター内(B1F)	県民と在住外国人の相互理解と国内外の団体との交流促進	① 県民、在住外国人に広く開放された国際交流の拠点づくりの事業 ② 在住外国人の生活支援や県民、在住外国人への情報発信の事業 ③ 国内外の国際交流団体との交流・連携と国際人材の育成の事業	TEL:097-533-4021 FAX:097-533-4052	in@emo.or.jp
JICAデスク大分	JICA九州所長 吉成 安恵	大分県国際協力推進員 井本 望	870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センター地下1階	「地域のJICA窓口」として、JICAの国際協力事業の支援、広報啓発活動事業の推進及び地方自治体・地域国際化協会等が行う国際協力事業との連携促進等を担う。地域とJICA、地域と世界を結ぶパイプ役として活動する。	① 地方自治体、地域国際化協会等と連携した国際協力事業の広報啓発活動の推進 ② 地方自治体、地域国際化協会、大学、NGO及び企業等が行う国際協力事業との連携推進 ③ 機構の開発教育（国際理解教育）支援業務の促進 ④ 機構の草の根技術協力事業及び民間連携事業の推進 ⑤ 機構のボランティア事業への参加促進、応募相談及び帰国ボランティアの社会還元活動支援 ⑥ その他、機構の事業支援	TEL:097-533-4021 FAX:097-533-4052	jicadpd-desk- oitaken@jica.go.jp
別府市国際交流推進協議会	会長 長野 恭紘	事務局員 森重 亜由美	874-8511 別府市上野口町1-15	別府市との間に姉妹都市等を提携している都市との交流をはじめ、その他の外国との交流を推進するとともに、留学生を総合的に支援し、別府市の国際化に寄与することを目的とする。	設立目的の実現を目指して、自治体交流をはじめ他国の人々との親交を深め、相互理解を増進することにより、市民の国際理解と国際認識を高揚すると共に、市内在住外国人を支援し、併せて、国際観光温泉文化都市別府市におけるグローバル化を目指して事業を展開している。	TEL:0977-21-1131 FAX:0977-22-1919	int-ma@city.beppu.lg.jp

【経済団体等】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
一般社団法人 大分県貿易協会	理事長 疋田 智昭	事務局次長 伊藤 理砂	870-0266 大分市大字大在6番地 大分国際貿易センター ビル4階	大分県の貿易を振興し、もって本県産業の発展と経済の国際化に寄与する。	①貿易に関する相談及び斡旋 ②貿易に関する情報の収集及び提供 ③貿易に関する各種調査及び研究 ④貿易に関する実務講習会、講演会、研修会等の開催 ⑤海外経済調査団の派遣及び受け入れ等	TEL:097-592-5932 FAX:097-593-3338	info@oita-fta.jp
大分県経営者協会	会長 杉原 正晴	専務理事 藤野 久信	870-0026 大分市金池町2丁目3番 4号 九州電力大分支店 本館4階	会員相互の連絡提携により、企業経営の合理化、労使の安定を図り、かつ産業平和を確立し、地方経済の発展に寄与すること。	1、例会、研究会等の開催 2、労務相談 3、調査・情報提供 4、経済団体としての諸活動	TEL:097-532-4745 FAX:097-536-3012	oita- keikyo@ruby.plala.or.jp
大分県商工会連合会	会長 森竹 治一	総務課 都留 祐也	870-0026 大分市金池町3丁目1- 64	地区内における商工会の健全な発達を図り、もって商工業の振興に寄与することを目的とする。	県内17商工会と連携して、小規模事業者の経営支援活動や地域振興活動を実施。	TEL:097-534-9507 FAX:097-537-0613	shokoren@oita- shokokai.jp
大分県中小企業団体中央会	会長 戸高 有基	総務課長 藤田 里美	870-0026 大分市金池町三丁目1 番64号	地区内における中小企業等協同組合、企業組合、協業組合、商工組合、商工組合連合会、商店街振興組合及び商店街振興組合連合会、生活衛生同業組合、共同出資会社、中小企業者が関係する社団法人・財団法人、LLP、任意グループ、新連携等(以下「組合等」という。)の組織、事業及び経営の指導並びに連絡その他、組合の健全な発達を図るために必要な事業を行い、併せて中小企業の振興を図るために必要な事業を行うことを目的とする。	(1)組合等の組織、事業及び経営の指導並びに連絡、(2)組合等の設立指導、(3)組合等の監査、(4)組合等の指導者の養成、(5)講習会、研究会及び講演会の開催、(6)情報の提供、(7)調査及び研究、(8)表彰、(9)図書、機関紙及び資料の刊行	TEL:097-536-6331 FAX:097-537-2644	info@chuokai-oita.or.jp

【ニヶ国間交流】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分・カンボジア(シェムリアップ)協会	会長 梶原 九州男	-	870-0846 大分市花園14組5	大分県とカンボジア王国および、同国シェムリアップ州との友好親善を図ることを目的とする。	①大分県とカンボジア王国および同国シェムリアップ州との友好を促進する活動を行う団体・個人への支援 ②認定NPO 法人SCHEC 大分県支部の活動への支援 ③大分県在住のカンボジア留学生への支援 ④親善訪問団の編成・派遣 ⑤会員相互の親睦 ⑥本会目的達成のために必要と認める事業	TEL:097-545-8060 FAX:097-545-8060	3801kajiwara@gmail.com
大分EU協会	会長 池辺 克城	事務局長 三浦 祐輔	870-0021 大分市府内町3丁目4 — 20 大分恒和ビル3F 大分経済同友会内	大分県とEU 各国の地域住民同士の相互理解を深め、友好親善を促進し、文化及び経済の交流に寄与することを目的とする。	駐日欧州連合代表部の大使、広報部長を招いての講演会や大分在住のEU 出身者の方の講演会をそれぞれ年1回開催している。	TEL:097-538-1866 FAX:097-533-5558	info@oita-doyukai.jp
大分華僑華人会	会長 黄 梅雄	事務局長 里中 玉佳	870-0018 大分市豊海3丁目2番1号 タイコー青果(株)内	華僑華人の社会的価値を高めるために、活動を行う非営利組織である。	2014年2月(第1回)春節祭inおおいた 2015年2月(第2回)春節祭inおおいた 2016年1月(第3回)春節祭inおおいた 2017年2月(第4回)春節祭inおおいた 2018年2月(第5回)春節祭inおおいた 2019年1月(第6回)春節祭inおおいた 2020年2月(第7回)武漢チャリティ〜春節祭inおおいた 2017年6月に大分中文学園設立 毎週大分国際交流会館(別府京町)にて主に小学生向け、聞く、話す、読む、書くのすべての言語能力を遊びの要素を取り入れながら、中国語の運用スキルを向上させることに重点におく。毎年学習の発表会や中国語スピーチ大会などにチャレンジしている。また、中国の上海、厦門、香港、瀋陽、長春の大学機関等と連携をとり、県内在住の華僑華人子女を引率し、中国への短期留学を実施している。さらに、ボランティア中国語教員を育成するため、中国「北京外国語学院」、「暨南大学」などの大学に中国語教員を派遣している。コロナ禍のため、現在、オンライン講義の実施やオンラインによる「九州杯青少年中国語スピーチコンテスト」運営及び実施に携わる協力団体として参加している。	TEL:097-533-3168 FAX:097-533-3225	ysatonaka@bm.mizobe.ac.jp
大分県インドネシア友好協会	会長 山下 栄一	事務局 原口 健治郎	870-0939 大分市中津留2丁目 6-28 1F エコミット内	本会の目的は、日本・インドネシア両国民相互の理解を深め、更に友好親善を図りつつ、文化・芸術・経済・その他、各方面における交流に努める。	・大分県在住インドネシアの人々との友好親善、交流 ・インドネシア留学生、研修生、技能実習生との交流 ・インドネシア、日本両国料理教室の開催 ・インドネシア大使及び政府経済界要人との懇談会 ・インドネシア友好親善の旅 ・APUインドネシア留学生との諸行事参加、交流 ・大分県内各種国際イベントへの参加	TEL:097-529-5026 FAX:097-529-5076	haraguchi@e-committ.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分県日華親善協会	会長 岸田 嘉夫	理事 河野 聡	874-0928 別府市的ヶ浜町5番25号 大分瓦株式会社内	日華両国民の理解と友好を深め、経済・文化の交流と相互の繁栄に寄与することを目的とする。	①協会の日常活動の推進 ②日華両国民間の人的・物的交流の促進 ③台北駐福岡経済文化辦事處との連携 ④全国連合会並びに九州各県の日華親善協会との連携 ⑤二豊日華親善協会、大分県日華友好議員連盟との協力・連携 ⑥大分県及び県内国際交流機関との連携	TEL:0977-21-2860 FAX:0977-26-1408	soumu@oitagas.com
大分県日中友好協会	会長 釘宮 馨	事務局長 樋口 秀吉	870-0022 大分市大手町3-2-9 自治労会館1F	①日本と中国両国民の相互理解と友好親善を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 ②目的実現のため、会報の発行、各種行事の推進	①中国事情と文化の研究と紹介並びに日本及び大分県の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・技術・教育など各分野にわたる、日中青少年友好交流の促進 ③各市町村と中国の各都市間の交流の促進 ④在日中国人帰国者との交流 ⑤国際交流諸団体との連携 ⑥中国語教室・スピーチコンテスト・人民中国の普及・太極拳の普及及び中国料理教室など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生・留学生の紹介 ⑧スポーツ文化交流事業 ⑨中国出版物の販売	TEL:097-576-9540 FAX:097-576-9540	oita-chu@bz04.plala.or.jp
大分県ニュージーランド友好協会	会長 西 謙二	-	874-0848 別府市大畑1組2 (ニュージーランドハウス内)	ニュージーランドとの一層の友好親善を深めるため。民間レベルでの各分野にわたる交流を積極的に促進し、地域国際化の推進に寄与するとともに、両国民間の相互理解と国際交流・国際親善に貢献するための多面的な事業活動を展開することを目的とする。	①交換留学生及び青少年等の相互交流の推進と支援・協力(ホームステイ等) ②ニュージーランドの姉妹校との交流促進支援・協力 ③国内におけるニュージーランド姉妹都市との情報交換・交流の促進 ④ニュージーランドに関する各種情報資料等の提供・協力 ⑤ロトルア市からのホームステイ等受け入れの支援・協力 ⑥その他本友好協会の事業目的を達成する為に必要な事業	TEL:0977-21-2141 FAX:0977-23-1471	kknishi@lime.ocn.ne.jp
大分県フィリピン友好協会	会長 吉武 ロドラ	書記 川辺 レア	874-0919 別府市石垣東1-1-2-501号室	①県内・国内に在住するフィリピン人で困っている人を助けること ②県内・国内に在住するフィリピン人でお互いを支えること ③祖国の貧しい所に自立支援をする ④日本で外国人でも社会貢献できるよう努力する	①、②会合を開き、交流、相談、在住フィリピン人の支援活動をする。 毎月会合あり、12月はクリスマス会	TEL:080-3374-8048	success8life@yahoo.co.jp
大分日独協会	会長 首藤 勝次	-	878-0011 竹田市大字会々々2250番地1 竹田温泉「花水月」内	文化・芸術・学問を通じ、日独両国民の相互理解を深め、友好親善を図る。	文化・芸術・学問を通じ、日独両国民の相互理解を深め、友好親善を図る。	TEL:0974-63-4807 FAX:0974-63-0701	kanko@city.taketa.lg.jp
大分日仏協会	会長 立木 桐子	事務局長 荻野 哉	870-0833 大分市上野丘東1-11 大分県立芸術文化短期大学美術科 荻野研究室内	日仏両国民の理解と親善をはかり、文化と経済の交流に貢献する。	①フランスの国情文化の紹介 ②日仏両国民の学術文芸および産業に関する資料の交換 ③フランス語講習会、講演会、音楽会等の開催、服飾、料理などの紹介 ④その他、会の目的を達成するに必要な活動	TEL:097-545-4465	sfj_oita@yahoo.co.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分日本ポルトガル協会	会長 杉村 忠彦	事務局長 渡邊 裕美	870-8504 大分市荷揚町2番31号	本会は、日本、ポルトガル両国の親善に寄与し、文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	・「ポルトガルワインのタベ」 会員に料理とポルトガルワインを提供し、会員相互の親睦を図り、ポルトガルワインや文化に対する理解を深めてもらう。 ・「オブリガータポルトガル」(協会会報誌)の発行 年に一度、当協会の活動や、ポルトガルの最新のニュースなどの情報を会報誌に掲載し、報告する。	TEL:097-537-5719 FAX:097-536-4044	oitacias@eagle.ocn.ne.jp
特定非営利活動法人 大分市日中友好協会	会長 佐藤 日出美	事務局長 森 哲也	870-0022 大分市大手町3-2-9 自治労会館1F	日本中国両国民の相互理解と友好を深め、世界の平和と繁栄に貢献すること。 そのため、各分野において具体的な活動の推進。	①中国事情と文化の研究と紹介並びに大分県・大分市の事情と文化の中国への紹介 ②産業・経済・文化・芸術・体育・学術・技術・教育など各分野にわたる友好姉妹都市間の交流の促進 ③日中青少年友好交流の促進 ④中国帰国者との交流 ⑤中国留学生との交流 ⑥中国語教室・スピーチコンテストへの参加・太極拳の普及及び中国料理教室など中国関連の諸活動の普及促進 ⑦各種研修生・留学生の紹介 ⑧文化交流事業の促進 ⑨各種国際交流事業への参加	TEL:097-576-9540 FAX:097-586-9540	oita-chu@bz04.plala.or.jp
特定非営利活動法人 大分バヤンホンゴル交流協会	理事長 亀山 哲	事務局長 福崎 智幸	879-7501 大分市大字竹中宇上長谷613-1 やすらぎ霊園内	大分県民とモンゴル総合生協学校児童生徒およびバヤンホンゴル県との相互交流に関する事業を行い、両国児童生徒の健全育成と両国県民の友好連帯を深めることを目的とする。	①モンゴル、バヤンホンゴル県と大分県の児童生徒の相互交流 ②モンゴル総合生協学校の支援 ③モンゴルおよび大分県の伝統芸能などのPR ④大分県へのモンゴル留学生との交流	TEL:097-598-0100 FAX:097-598-0101	shimazaki@yasuragi-reien.jp
中津市日韓親善協会	代表 中野 登	事務局長 伊藤 敏宏	871-0058 中津市豊田町3丁目2番地21 清輝館	日本と韓国の相互理解と友好増進を一層深めるとともに、スポーツ交流と相互の繁栄を期して世界平和に貢献することを目的とする。	○大分県日韓親善協会の事業(例、韓国語スピーチ大会他)の協賛 ○中津青年会議所と韓国青年会議所との交流支援活動 ○晋州市私立善明女子高等学校バレエ部と中津市私立東九州電谷高等学校バレエ部の応援・交流支援 ○茶道の交流支援 ○晋州市と中津市民交流の訪韓事業並びに地元企業との交流支援 ○韓国との交流親善に功績のあった方の推薦及び祭典等への招待(晋州市名誉市民安藤元博、晋州市韓日親善協会会員の本会での名誉会員就任) ◎以上、本会の目的・事業等を点検・推進・進捗等の確認のために総会(年1回)理事会(年4回)の開催	TEL:0979-22-2222 FAX:0979-22-2222	ando2222@lep.bbq.jp
日本ベトナム友好協会大分県支部	会長 気賀沢 忠夫	事務局長 甲斐 武夫	870-0921 大分市萩原3-1-15	「日本とベトナムとの親善友好を深め、経済、文化、科学技術の交流をはかり、アジアおよび世界の繁栄と平和に寄与すること」を目的とする。	①ベトナム人留学生との交流「お花見会」「ベトナム料理を楽しむ会」「焼肉・ソーマン流し」「学習交流」 ②明日香日本語学校「入学・卒業式」出席 ③ベトナム大使館・福岡総領事館との交流等 ④留学生のお世話、引越し手伝い、バイト紹介、生活用品調達等	TEL:090-3604-4424	tk1234@eri.bbq.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
大分日米協会	会長 姫野 清高	事務局長 福田 健二	870-0023 大分市長浜町2丁目7-22 株式会社マイダス コミュニケーション内	日米両国民の相互理解を深め、文化・経済・教育の交流など国際友好の増進を図り、大分県の発展に寄与することを目的とする。	本協会は非営利とし、目的達成のために次のような事業を予定している。 1. 大分県に在住する米国人との交流を図る 2. 来日した米国人名士と意見交換の場を設け交流を図る 3. 米国の文化、経済を学び理解を深めるための講演会、懇談会を開催する 4. 本協会と目的を同じくする日米両国の諸団体と連携し、友好関係を促進する 5. その他本協会の目的達成のために必要とする事業	TEL:097-536-2677 FAX:097-536-2678	ajso@midas-net.co.jp
大分 カメルーン共和国友好協会	会長 横山 朋樹	会長 横山 朋樹	870-0138 〒870-0138 大分市原川3丁目2番28号(㈱三和プレス内)	大分県、カメルーン共和国両者の親善に寄与し、文化及び経済の交流を促進することを目的とする。	ビジネスミーティングの開催 企業のカメルーン進出支援	TEL:097-558-8368 FAX:097-552-4704	tomoki-sp@beach.ocn.ne.jp

【国際交流一般】

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
NPO法人 大分県国際交流団体 地球人倶楽部	理事長 河野 祐治	事務局長 北山 雅俊	870-0024 大分市錦町2丁目6番3 2号	大分県内に在住又は、滞在する外国人若しくは日本国籍を有する外国 出身者に対して、地域との係わりに関する支援や相互交流、日本語指 導等に関する事業を実施することによって、相互の異文化理解を図り、 もって日本と諸外国との友好関係の発展と公益の増進に寄与すること。	①県内の外国人等を対象に、日本語学習の機会を提供する事業 ②県民と県内の外国人等との相互交流を推進する事業 ③県民と館内の外国人等の異文化理解を推進する事業 ④県内で開催される国際的なイベントに協力する事業	TEL:097-534-6627 FAX:097-534-6627	miyase@oct-net.ne.jp
NPO法人 ベっぐ未来塾	代表理事 川浪 佳恵	代表理事 川浪 佳恵	870-0920 別府市北浜1丁目1-1 6	「ほんとうに、いきごこちのいいべっぐ」ノーマライゼーションが図られた 地域社会をめざして、別府を知る機会の場を提供し、人と出会い、学び、 気づき、知る。の喜びを多くし、個人がよりよく変われば、周囲社会もより 良く変わる。を實踐したい。実践の継続を図るため、また行政、地方自治 との協働を求めるため、NPO法人を設立。	地域における生活情報、歴史、文化等を学び知るための事業や、 ユニバーサルデザイン思考の普及を図る事業などを行う。●保健、 医療または福祉の増進●社会教育の推進●まちづくりの推進●観 光振興●地域安全活動●学術、文化、芸術又はスポーツの振興 ●環境の保全●人権の擁護又は平和の推進●国際協力●男女 共同参画社会の形成の促進●子どもの健全育成●経済活動の活 性化 上記活動を実施するため、別府市街地、商店街内に「多機能拠点 べっぐ未来わくわくセンター【yoiya】」を建設し、コミュニティカフエ・レ ンタルスペース(ギャラリー/セミナー)・軽印刷・まちなか活性化支 援業務を展開している。(2018年2月～)	TEL:090-2399-9382	beppuyoiya@gmail.com
大分国際車いすマラソン通訳ボラ ンティア Can-do	後藤 恵子	国際渉外 衛藤 千乃	870-1136 大分市光吉4-233	車いすマラソンに参加される外国選手と、日本選手や地元の小・中学生 との交流、パラ・スポーツの普及、気持ち良くレースをしていただくため のお手伝いがしたい。	パラ・スポーツ(特に車いす)に関する知識を増やすために月1回の 研修会 外国選手が大分に入って来てから、送迎、ホテル滞在中 の車いすメンテ、食事、開・閉会式、受付、記者会見、メディア取材 の通訳、レース全般にわたる文書の翻訳、挨拶のアナウンス、各 学校・施設訪問の支援、他 県内イベント(ラグビー等)のボランティ ア要請。	TEL:097-568-1888 FAX:097-568-1888	chino.feb6@gmail.com
外国人 Life Support	代表 松下 清高	事務局 原田 みゆき	871-0112 中津市三光臼木925番 地	日本に在留する外国人が抱える様々な問題(身分関係、相続関係、雇 用、近隣関係、民事関係等)の解決を助ける。	1. 毎週土曜日の午後1時より4時まで無料相談を行っております。 2. 研修による相談員のスキルアップ。 3. 国際交流団体等との協力、共同	FAX:0979-43-5586	twitter- miyuki@w8.dion.ne.jp
公益財団法人 AFS日本協会大 分中部支部	支部長 志賀 志保子	経理 小加部 聖子	870-0874 大分市にしが丘3-17 17-11-402	公正で平和な世界の実現に必要な知識・能力・理解力育成のための異 文化体験の場を提供するため。	海外からの高校生のために 1)ホストスクール開拓 2)ホストファミリー探し 3)留学生滞在中 のサポート、日本から海外に留学を目指す高校生の為に 4)派遣 テストの会場設定、の4点を主軸にしている。	TEL:097-546-1377 FAX:097-546-1377	s-shiga@afs.or.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
公益社団法人 ガールスカウト大分県連盟	連盟長 工藤 喜賀	事務局長 石井 奈緒美	870-0938 大分市今津留2丁目12-6	少女と若い女性が自分自身と他の人々の幸福と平和のために、責任ある市民として自ら考え、行動できる人を育てる。	「自己開発」「人とのまじわり」「自然とともに」の3つを教育のポイントとし、少女たちの実行力、コミュニケーション能力、責任感を身につける活動をしている。	TEL:097-556-6808 FAX:097-556-6849	gsjota@estate.ocn.ne.jp
さくら日本語教室	代表 川野 慶子	川野 慶子	住所非公開	国際交流を推進してゆくため	①在住外国人に日本語教育の支援をする ②会員に日本語教授の方法を教える	TEL:097-528-1865 090-7163-4969	-
多文化こどもネットワークいろは	代表 立山 愛	立山 愛	874-0839 別府市南立石1区1組5-1307	外国にルーツをもつ子どもたちに対する学校内での日本語支援の取り組みは整っていないため、そうした子どもたちの現状・課題の解決に向けて、日本語支援に取り組むことを目的として設立	・外国にルーツをもつ子どもたちに対する小・中学校内での日本語指導やレベルチェック ・日本語指導に必要なテキスト、教材、指導方法の紹介 ・小・中学校内での異文化理解ワークショップ ・年4回のネットワーク会(勉強会・研修会)	TEL:080-2720-5151	mkidsiroha@gmail.com
特定非営利活動法人 おおいたNPOデザインセンター	代表理事 山下 莚三	山下莚三	870-0844 大分市古国府四丁目9番24号 コーポふじの101号室	新しい市民社会の実現に向けて、あらゆる分野や地域で活動するNPO・ボランティア団体等の公益的団体の活動基盤強化や育成することにより、又は自ら活動し、国、地方公共団体、企業、NPO等との連携協働によって、地域社会がかかえる諸問題の解決や私たちの暮らし(文化・経済・環境・教育など)の維持発展に寄与することを目的に設立。	1)NPOの活動及び運営に係る相談・助言、または推進するためのコンサルティング及びコーディネーション ★事務局支援活動/NPO法人事業承継応援プロジェクト、など (2)NPO基盤整備のための情報発信、調査研究、政策提言及び研修等企画実践事業 ★NPO法人会計基準研修会/おおいたNPO情報交換会/事務力アップセミナー&検定、など (3)地域の活性化や課題解決のために地域の経営資源等を活用して行う事業 ★コミュニティハウス創造事業、など	TEL:097-574-5258 FAX:097-574-5268	oita.npodesign@gmail.com
特定非営利活動法人 大分県海外教育支援機構	理事長 三宮 康司	-	870-0034 大分市都町1丁目3番19号 大分中央ビル7F	将来、アジアと日本、韓国と九州の経済文化交流の橋渡し役となる次世代の子供達を育成する。	毎年、韓国済州島にて「日本語スピーチコンテスト」を在済州日本国総領事館が主催、済州特別自治道韓日親善協会と当機構が共催。本コンテストで特別賞を受賞した学生を、「日本国体験ツアー」へ招待。九州での体験学習とホームステイの実施。	TEL:097-534-2277 FAX:097-515-7878	-
特定非営利活動法人 鶴崎文化研究会	理事長 野村 廣幸	事務局長 安東 忠則	870-0106 大分市鶴崎500番地	この会は、会員の友愛をもとに、相互の親睦を深めつつ、毛利空桑記念館の維持、運営と鶴崎小学校区及びその周辺6小学校区を中心とするおおいたの歴史的な文化、芸術、史跡を発掘、探求し維持する事を目的としている。	1、毛利空桑記念館の維持、運営、管理する活動 2、鶴崎の歴史、文化、芸術、史跡を掘り起こし、維持する活動 3、地域の芸術文化を形成する担い手を育成する活動 4、鶴崎を訪れる人のおもてなしとガイド、案内をする活動 5、地域の偉人を顕彰し、伝統文化を後世に残して行く活動 6、ボランティア観光ガイドを養成する活動	TEL:097-527-3343 FAX:097-527-3343	hiro1938@oct-net.ne.jp

団体名	代表	事務局		設立目的	主な活動内容	TEL FAX	E-mail
		事務局長／担当	所在				
特定非営利活動法人 森と海の共生・ネットワーク	会長 諫本 信義	事務局長 谷口 世志子	877-1222 日田市小河内町2951番地	地球環境の保全を図り、森や海の自然と共生している人々に対して豊かな自然環境と調和した地域開発に関する事業を行い、豊かな森と豊かな海を創り守ることに寄与する。	・フルボ酸鉄化合物の研究及び実証実験 ・サクラのテング果病に関する調査 ・地域環境の美化活動	TEL:0973-24-9547 FAX:0973-24-9547	isamoto@hita-net.jp
日本語ボランティア ひまわり	代表 深田 美春	代表 深田 美春	870-0108 大分市三佐987-2	大分在住の外国人に日本語支援をすることで、日本文化を理解させ、彼らの生活が円滑にいくようサポートし、多文化共生社会に貢献する	〈日本語教室〉 各教室で日本語指導 ・鶴崎教室（鶴崎公民館） 月4回（土）10:00～11:30 ・明野教室（明治明野公民館） 月4回（水）14:00～15:30 ・年少者教室（学校内） 随時 ・こども日本語教室（コンパルホール） 毎（土）14:00～15:40	TEL:097-527-2614 FAX:097-527-2614	nihongo_himawari_oita@yahoo.co.jp
HAPPY LINK	森川 寿子	森川 寿子	佐伯市	多文化共生、国際交流・協力、異文化理解、地域活性、地域交流などを目的とし、各種イベントや研修会、勉強会、WSなどを不定期で開催。	①国際協力 ・使用済みトナー・インクカートリッジ、ベルマーク、書き損じはがき、古本、CD等の回収・ NPO法人シャプラニール(市民による海外協力の会)への寄付 ②イベント企画 ・交流会、講演会、上映会、音楽会など様々なイベントを不定期で開催 ③勉強会 ・国際理解や地域の課題、社会問題など幅広く学び合う ④その他 ・他団体のサポート等	TEL:090-4510-7909	kotobuki214@hotmail.co.jp
フレンドシップフォース 大分	会長 田部 朋二	事務局長 志賀 喜久美	878-0011 竹田市会々1636-23	クラブ相互のホームステイや受け入れ(世界50ヶ国「550クラブ」)～原則1週 これらの交換を通じて 国際親善及び民間平和外交の促進を図ることを目的とする。	・世界550クラブとの交流を行う。基本一年受け入れ1クラブ(1週間)、渡航1クラブ以上(1週間以上)～経費は個人持ち。 ・諸外国に組織されているフレンドシップフォース(略:FF)のクラブとの交流を目的に渡航し、メンバー宅にホームステイし、交流する。 ・国内のFFメンバーの会員相互の親睦を図る。 ・FFメンバー間の相互理解及び国際親善に役立つ事業を行う。 ・その他、会の目的による事業及び活動をする。	TEL:0974-62-4793 FAX:0974-62-4793	tomochan@spice.ocn.ne.jp
べぷはち Beppu Rainbow Society	代表 神 智子	代表 神 智子	別府市	多様性を認め合い、多文化交流の輪を広げることを目的として設立。	1月:新春カルタ取り、福笑い大会 2月:節分 3月:ひな祭り 4月:お花見 7月:七夕 9月:運動会 その他、料理教室など	TEL:070-6595-4466	bepu8.rainbow@gmail.com
一般社団法人 外国人留学就労支援協会	代表理事 松見俊信	代表理事 松見俊信	870-0021 大分市府内町1丁目6番27号 府内中央ビル303号	外国人の留学と就労を支援する	①介護福祉士留学生の受け入れ紹介活動 ②外国人介護人材受入・定着支援事業 ③受け入れ国との交流並びに受け入れ外国人の支援	TEL:097-578-6460 FAX:097-578-6460	ays.matsumi@gmail.com

2 大分県海外戦略（2019～2021）【抜粋】

第1章 大分県海外戦略（2019～2021）の策定について

1 戦略策定の趣旨

本県では、長期総合計画「安心・活力・発展プラン2005」（平成17年11月策定、平成24年1月改定）に基づき、本県の海外施策の取り組むべき方向性を示す羅針盤として、平成23年5月に「大分県海外戦略」を策定しました。

その後、平成27年10月には、当時の経済社会情勢の変化等を踏まえた戦略「大分県海外戦略（2015～2018）」が策定されましたが、この度、戦略の計画期間が最終年度を迎えるにあたり、海外との人や物の交流が大変盛んになった実績を踏まえながら、海外情勢を巡る環境変化を見定め、県内等の新たな要素についても考慮のうえ、次期戦略「大分県海外戦略（2019～2021）」を策定することとしました。

2 戦略の性格・役割

この戦略は、「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」という基本的理念のもと、「海外の活力を取り込む」、「海外の人材を取り込む」など4つの基本戦略からなるものであり、戦略の役割としては、次の事項に基づく、県の海外施策の羅針盤となるものです。

- ① 県の海外施策を体系的かつ有機的なものとして構築するための方針
- ② 毎年度の県の海外施策の大まかな実施基準
- ③ 海外情勢に詳しい企業経営者や独立行政法人日本貿易振興機構（以下「ジェトロ」という。）等の有識者の意見を十分に取入れた戦略
- ④ 変化の激しい海外情勢に柔軟に対応できるような幅を持った戦略

3 計画期間

計画期間は2019年度から2021年度までとします。

4 策定の背景

＜海外情勢を巡る環境変化＞

① 少子高齢化・人口減少による国内市場の縮小

少子高齢化により日本の人口は2008年をピークとして減少に転じ、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計では2050年に1億人を下回ると予測されています。これに伴い、今後国内市場は縮小に向かうことが予想されます。

② 経済・社会のグローバル化

世界経済は、TPPや日EU・EPA、RCEPなど新たな交易の枠組みへの動きが進んでおり、ヒト・モノ・情報・資本等が国境を越えて交流し発展するグローバル化の流れは、今後とも拡大するものと見込まれます。

③ ASEAN諸国との経済関係の深化

6億人超の人口を抱えるASEAN地域は消費市場、生産拠点としての魅力を高めていて、日本企業による投資額では中国を上回る傾向で推移しています。経済共同体（AEC）を設立し、域内の人、物、サービスの自由化を進める同地域は今後も経済発展が期待され、有望な投資先・貿易相手として引き続き注目されています。

④ 訪日観光客の急増

政府は、「観光先進国」への新たな国づくりに向けて、平成28年3月に『明日の日本を支える観光ビジョン』を策定し、訪日外国人旅行者数を2020年に4,000万人、2030年に6,000万人と目標を定めました。日本全体の訪日観光客数は、2017年は2,869万人と6年連続で前年を上回っており、2018年上半期も1,590万人と前年同期比15.6%増と過去最高を更新しています。

航空路線の新規就航や増便、チャーター便の就航による航空座席供給量の増加に加え、日本政府観光局（JNTO）などが継続的に展開している訪日旅行プロモーションの効果も相まって堅調に推移しています。

⑤外国人労働者の受入れ拡大

国では、全国的な人手不足の深刻化を踏まえ、平成30年6月、骨太の方針（＝経済財政運営と改革の基本方針2018）において、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人材に対して就労を目的とする新たな在留資格を創設することとし、準備作業を進めています。

⑥様々なリスク要因

グローバル化と技術革新が急速な進展を見せている中、国際テロ組織、サイバー攻撃といった脅威が高まっているほか、伝染病や地震、水害の自然災害など、世界各地において多様なリスクが顕在化しています。

<県内等の新たな要素>

①ラグビーワールドカップ2019など国際的ビッグイベントの開催

- ・2019年9月から11月にかけて、ラグビーワールドカップ2019が全国12会場で開催され、本県でもプール戦3試合、準々決勝2試合の計5試合が開催されます。また、プール戦で来県する全6チームが、県内で公認チームキャンプを実施することになっています。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会は、日本に世界中からの注目が集まることから、本県にとっても、全世界に向けた情報発信ができる大きなチャンスであるため、参加する国やチームの事前キャンプの誘致を市町村と連携して取り組んでいます。

②おおいた留学生ビジネスセンター（通称SPARKLE）の開設

- ・人口当たり留学生数で全国トップクラスの本県では、留学生の県内就職や起業の支援、県内企業と留学生の協働による海外ビジネス展開等の拠点として、2016年10月におおいた留学生ビジネスセンターを開設しました。

5 策定の主なポイント

新規及び拡充する取組は以下のとおりです。

①農林水産物の輸出強化

- ・養殖ブリは健康志向の高まる北米において、さらなる消費拡大のため米系量販店に販路を拡大します。
- ・牛肉は日本食の広がる台湾や、「和牛」としてマーケットの広がりが期待できる米国での販路を拡大します。
- ・乾しいたけは、有機JAS認証乾しいたけの需要が高いEUを中心に販路を拡大します。
- ・青果物は、日田梨が牽引して高糖度甘しょ（甘太くん）をASEAN各国へ展開させるとともに、柑橘のロシア（サハリン）での販路拡大を図ります。

②酒類・加工品・工芸品の輸出強化

- ・県内企業の海外事業活動や支援ニーズの多様化を踏まえ、企業毎の海外戦略に対応した販路開拓を支援します。
- ・別府竹製品協同組合や日田げた組合等の産地組合による、海外でのブランド確立や販路開拓を支援します。

③海外誘客（インバウンド）の推進

- ・ラグビーワールドカップ2019など、ビッグイベントを契機とした欧米・大洋州など新たなマーケットの取り込みを図ります。
- ・観光客数が増加しているアジア圏については、リピーター、個人旅行者、高所得者層を国・地域別にターゲットを決めて誘客します。
- ・インバウンド消費の獲得に向けたキャッシュレス化を加速させます。
- ・韓国線の利用促進による定着と台湾その他アジア地域からの路線誘致に努めます。

④企業の海外展開支援とリスク対応

- ・海外に拠点を持つジェットロ等支援機関・団体や地域商社等と連携し、大分県アジアビジネス研究会等の場を活用した実践的な情報、機会の提供を行います。

- ・留学生OBなど大分ゆかりの人材を活用したネットワーク構築により、県内企業の海外との技術・サービス交流及び海外展開を支援します。【再掲】
- ⑤**新たな海外プロモーションの展開**
 - ・新たな販路開拓等に向け、ASEAN諸国を中心に戦略的トップセールスを実施します。
 - ・これまでのトップセールス実施地域（上海、香港、台湾等）で築いたネットワークを活用した大分フェアを実施します。
 - ・世界温泉地サミットのレガシーとして温泉の楽しみ方や癒しの効果などの情報発信を行うとともに、サミットに参加した各国の温泉地との連携を継続します。
- ⑥**海外広報の強化**
 - ・ラグビーワールドカップ2019等に向けた海外メディアツアーを実施します。
- ⑦**留学生等に対する支援と県内定着促進**
 - ・おおいた留学生ビジネスセンターを拠点とした留学生等の起業・就職による県内定着を促進します。
- ⑧**海外ネットワークづくり**
 - ・留学生OBなど大分ゆかりの人材を活用したネットワーク構築により、県内企業の海外との技術・サービス交流及び海外展開を支援します。
- ⑨**外国人の受入れ環境整備**
 - ・「大分県外国人材受入れ・共生のための対応策協議会」を設置し、県と市町村が足並みをそろえ対応策を策定して、外国人の円滑な受入を進めていきます。
 - ・市町村等と連携して実態把握・役割分担を行ったうえで、外国人総合相談センターの設置や日本語研修の充実など必要な支援を行います。
 - ・企業向けに外国人材の制度に関するセミナーを開催し、企業の制度理解を促進します。
- ⑩**外国人への医療・防災対策**
 - ・県内在住の外国人を「外国人防災モニター（仮称）」に任命し、災害発生時において外国人観光客や在住外国人に対し、多言語で迅速かつ正確な災害情報発信を行います。
- ⑪**スポーツ交流の促進**
 - ・ラグビーワールドカップ2019を通じて、ラグビーの魅力と感動を世界のラグビーファンとともに分かち合い、その経験及び交流を次代へと繋げます（教育プログラムを活用した観戦機会の提供、国際試合等の誘致など。）
 - ・東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ等による来県国との交流継承を図ります。
- ⑫**UNESCO、FAO等の国際機関等との連携**
 - ・「マレガ・プロジェクト」による調査研究を進めるとともに、国際シンポジウムの開催等により、大分の歴史を国内外に発信する取組を推進します。
- ⑬**グローバル社会を生き抜くための「総合力」の育成**
 - ・ラグビーワールドカップ2019で来県する海外代表チームとの交流等によるグローバル人材育成を行います。

第2章 海外戦略の体系

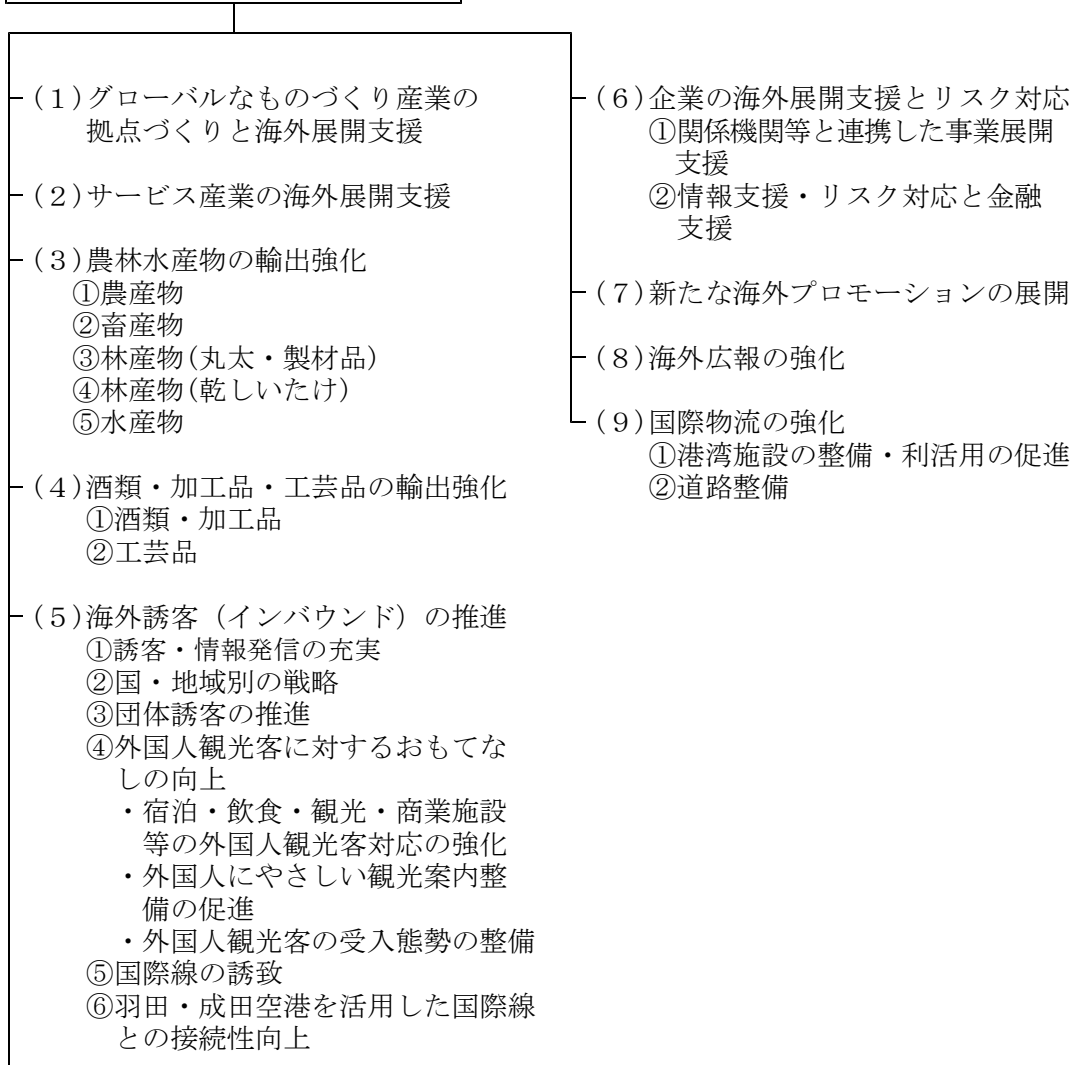
1 海外戦略の柱

戦略の策定にあたっては、「海外の成長を取り込みつつ共に発展する」という基本的理念と、海外の活力や人材を取り込むなどの4つの柱に基づいて「海外に開かれた、飛躍する大分県」を実現していきます。

- 戦略 1 海外の活力を取り込む
- 戦略 2 海外の人材を取り込む
- 戦略 3 国際交流・国際貢献の推進
- 戦略 4 国際人材の育成・活用

2 海外戦略の体系

戦略1 海外の活力を取り込む



戦略2 海外の人材を取り込む

- (1) 留学生に対する支援と県内定着促進
 - ① 留学生に対する支援と地域活動の促進
 - ② 留学生の県内定着促進
- (2) 海外ネットワークづくり
- (3) 外国人の受入れ環境整備
 - ① 多文化共生の地域づくり
 - ② 外国人材の適正・円滑な受入れの促進
- (4) 外国人の人権・子どもの教育環境
 - ① 地域社会への意識啓発
 - ② 外国人児童生徒の教育環境の充実
- (5) 外国人への医療・防災対策
 - ① 医療対応の円滑化
 - ② 防災対策

戦略3 国際交流・国際貢献の推進

- (1) 国際交流・国際貢献の推進
 - ① 国際交流 ② 国際貢献
- (2) 芸術文化交流の促進
 - ① 県立美術館と県立総合文化センター
 - ② 地域に根ざした世界に発信する芸術文化イベント
- (3) スポーツ交流の促進
 - ① 大分国際車いすマラソン大会
 - ② 別府大分毎日マラソン大会
 - ③ ラグビーワールドカップ2019/東京2020オリンピック・パラリンピック
- (4) 国東半島宇佐地域の世界農業遺産を通じた国際交流
- (5) UNESCO、FAO等の国際機関等との連携

戦略4 国際人材の育成・活用

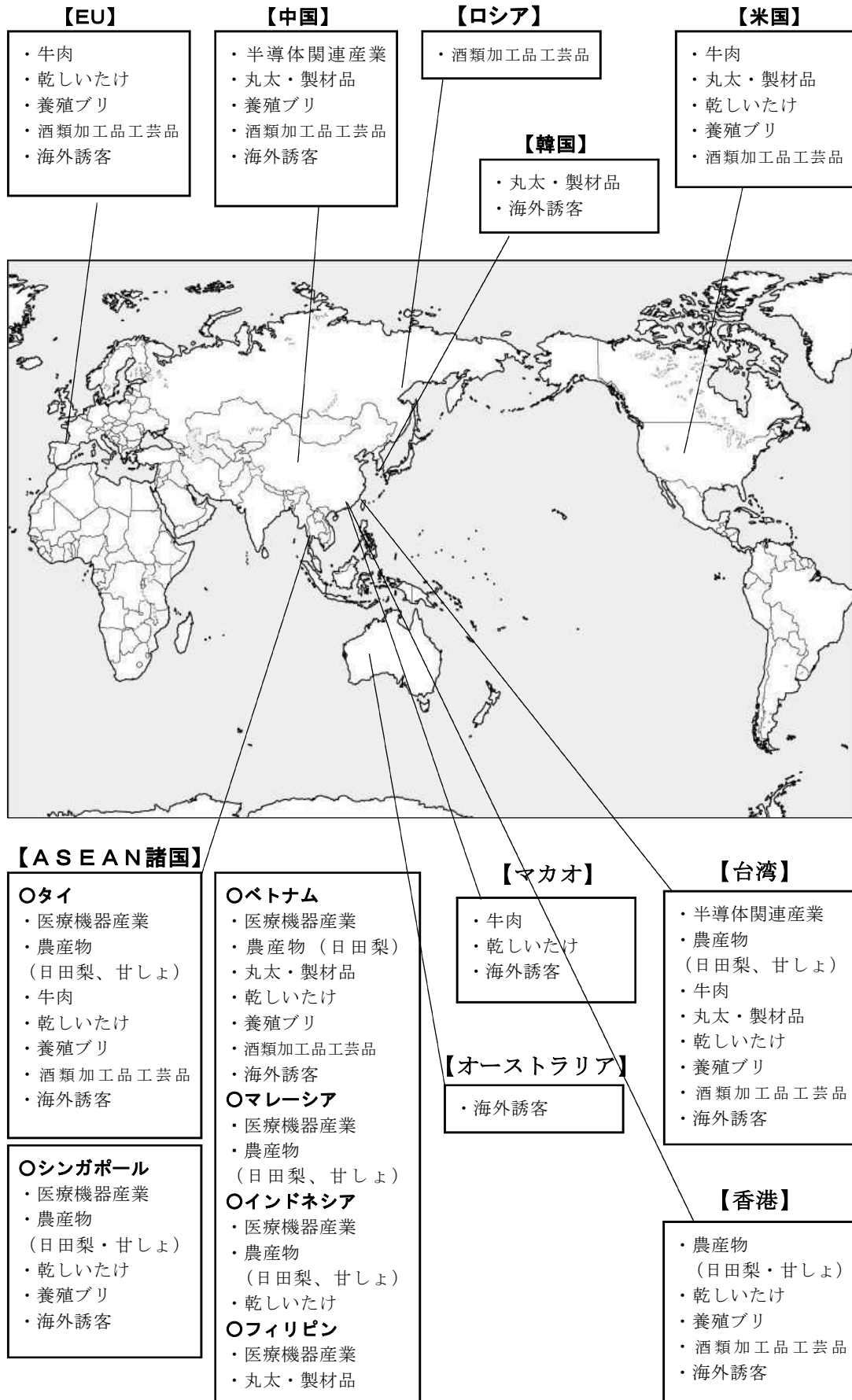
- (1) グローバル社会を生き抜くための「総合力」の育成
- (2) 大学における国際人材の育成
 - ① 大学生の海外留学促進
 - ② 県立看護科学大学
 - ③ 県立芸術文化短期大学
- (3) 県内企業の国際人材の育成・活用
- (4) 職員の人材育成・活用

3 分野別にターゲットとする国・地域

各分野におけるターゲットとする国・地域は次の別表のとおりです。

<別表>

		ものづくり産業の海外展開		県産品の輸出							海外誘客
		半導体製品	医療機器産業	農林水産物					酒類加工品 工艺品		
				日田梨	かんしょ (甘太くん)	牛肉	丸太製材品	乾しいたけ		養殖ブリ	
東アジア	韓国						○				○
	中国(本土)	○					○		○	○	○
	香港			○	○				○	○	○
	(新)マカオ					○			○		
	台湾	○		○	○	○	○	○	○	○	○
アセアン諸国	タイ		○	○	○	○		○	○	○	○
	シンガポール		○	○	○			○	○		○
	ベトナム		○	○			○	○	○	○	○
	マレーシア		○	○	○						○
	インドネシア		○	○	○				○		
	フィリピン		○				○				
欧米・大洋州	EU					○		○	○	○	○
	(新)ロシア									○	
	米国					○	○	○	○	○	
	(新)オーストラリア										○



大分県の国際交流・協力の現状

令和2年度版

編集・発行 大分県企画振興部国際政策課

〒870-8501 大分市大手町3丁目1-1

Tel: 097-506-2045 Fax: 097-506-1723

e-mail: a10140@pref.oita.lg.jp